

第2回
芦屋のまちづくりについての市民アンケート
調査結果報告書

令和2年7月

目 次

1 調査概要	1
2 結果の要約	5
3 アンケート調査結果	7
I. あなた（回答者）ご自身についておたずねします。	7
◆1 年代	7
◆2 性別	8
◆3 現在の居住地	9
II. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。	10
問1 13項目の施策目標の評価.....	10
問2 力を入れて取り組むべき施策目標	38
問3 市政の現状	44
III. お住まいの地域で生活やすみやすさについておたずねします。	46
問4 定住意向	46
問5 地域活動や行事への参加.....	48
問6 近所の子どもと接する機会	50
問7 相談できる人や場所の有無	52
問8 まちなみや緑の景観について感じること	54
問9 まちなかの緑を守り育てる活動への参加頻度.....	56
問10 市内の公園の利用頻度	58
問11 自然災害の発生に対する日頃からの備え	60
問12 地球温暖化防止に向けた取り組み	62
問13 市内移動の利便性	64
問14 夫婦間での分担についての理想と現実	66
問15 市役所手続きの利便性.....	72
IV. 健康づくりについておたずねします。	74
問16 運動の習慣	74

問 17 健康診断受診の頻度.....	76
問 18 適正体重(BMI 値 18.5~25)の維持.....	78
V. 文化的なふれあいや学びについておたずねします。	80
問 19 文化的資源の認知.....	80
問 20 文化に触れる体験のための外出頻度	85
問 21 自分の学びのため機会の頻度.....	87
VI. これからの公共施設等についておたずねします。	89
問 22 芦屋市の公共施設の利用頻度	89
問 23 公共施設の維持管理費に対する利用者負担増への意向	91
問 24 公共施設の削減に対する意向.....	93
問 25 公共施設の最適配置に対する適当な手法	95
VII. まちづくり全般についておたずねします。	98
問 26 自由記述.....	98
参考資料.....	107

1 調査概要

(1) 調査の目的

令和3年度(2021年度)から10年間のまちづくりの指針となる総合計画の策定に向け、施策の進捗状況の評価や指標値の把握のため、「市民意識調査」を実施した。

(2) 調査方法

①調査対象	芦屋市在住の18歳以上の市民3,000人 (令和2年(2020年)2月29日現在の住民基本台帳登録者)
②調査対象の抽出方法	過去の市民意識調査における年代別の回答傾向を踏まえ、想定される回答サンプル数の年代別・地区別の構成比が実際の芦屋市の人口構成に近似するように抽出サンプル数を想定した上で、住民基本台帳から無作為抽出した。また、抽出にあたり令和元年度調査の対象者との重複を避けた
③調査方法	1. 郵送による配布・回収(督促状を1回送付) 2. パソコン・スマートフォン等によりWEBで回答 (郵送によるアンケート票にWEB回答の案内状を同封)
④調査期間	令和2年(2020年)3月18日(水)～3月31日(火)

(3) 配布・回収

	件数	備考
①対象者数	3,000	
②有効配布数	2,995	未配達5件
③有効回答数	1,430	用紙回収:1,177件(無効3件除く), WEB回収:253件
④有効回収率	47.7%	③有効回答数÷②有効配布数

[過去の調査との回答状況の比較]

	配布数(未配達数)	有効回収数	有効回収率(%)
平成16年度(2004年度)調査	2,000(15件)	1,203	60.6
平成20年度(2008年度)調査	3,000(15件)	1,811	60.7
平成24年度(2012年度)調査	2,000(11件)	1,015	51.0
平成26年度(2014年度)調査	3,000(11件)	1,426	47.7
平成29年度(2017年度)調査	3,000(3件)	1,611	53.7
令和元年度(2019年度)調査①	3,000(11件)	1,377	46.1
令和元年度(2019年度)調査②	3,000(5件)	1,430	47.7

(4) 性別・年代別回答状況

従来のアンケートでは、若年層の回答率が低く、高齢層の回答率が高い傾向がみられるため、過去の年代階層別の回答率を考慮して、前回調査に引き続き、年代別の抽出数を設定した。結果として性別・年代別の構成比においては、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

性別	年代	母集団		配布数		回答者	
		実数	比率	実数	比率	実数	比率
男性	10歳代	966	1.2	78	2.6	19	1.3
	20歳代	3,468	4.3	280	9.3	67	4.7
	30歳代	4,011	5.0	243	8.1	85	5.9
	40歳代	6,520	8.1	291	9.7	104	7.3
	50歳代	6,617	8.2	293	9.8	105	7.3
	60歳代	5,388	6.7	167	5.6	94	6.6
	70歳代	5,518	6.8	174	5.8	113	7.9
	80歳以上	3,220	4.0	71	2.4	52	3.6
	不明・無回答	-	-	-	-	1	0.1
	計	35,708	44.2	1,597	53.2	640	44.8
女性	10歳代	873	1.1	55	1.8	22	1.5
	20歳代	3,898	4.8	247	8.2	83	5.8
	30歳代	4,886	6.0	146	4.9	64	4.5
	40歳代	8,115	10.0	229	7.6	139	9.7
	50歳代	7,849	9.7	239	8.0	142	9.9
	60歳代	6,471	8.0	159	5.3	115	8.0
	70歳代	7,205	8.9	187	6.2	129	9.0
	80歳以上	5,825	7.2	141	4.7	81	5.7
	不明・無回答	-	-	-	-	1	0.1
	計	45,122	55.8	1,403	46.8	776	54.3
左記に当てはまらない	10歳代	-	-	-	-	0	0.0
	20歳代	-	-	-	-	2	0.1
	30歳代	-	-	-	-	0	0.0
	40歳代	-	-	-	-	0	0.0
	50歳代	-	-	-	-	0	0.0
	60歳代	-	-	-	-	0	0.0
	70歳代	-	-	-	-	0	0.0
	80歳以上	-	-	-	-	0	0.0
	不明・無回答	-	-	-	-	0	0.0
	計	-	-	-	-	2	0.1
不明・無回答	10歳代	-	-	-	-	0	0.0
	20歳代	-	-	-	-	1	0.1
	30歳代	-	-	-	-	1	0.1
	40歳代	-	-	-	-	0	0.0
	50歳代	-	-	-	-	0	0.0
	60歳代	-	-	-	-	0	0.0
	70歳代	-	-	-	-	3	0.2
	80歳以上	-	-	-	-	0	0.0
	不明・無回答	-	-	-	-	7	0.5
	計	-	-	-	-	12	0.8
計	10歳代	1,839	2.3	133	4.4	41	2.9
	20歳代	7,366	9.1	527	17.6	153	10.7
	30歳代	8,897	11.0	389	13.0	150	10.5
	40歳代	14,635	18.1	520	17.3	243	17.0
	50歳代	14,466	17.9	532	17.7	247	17.3
	60歳代	11,859	14.7	326	10.9	209	14.6
	70歳代	12,723	15.7	361	12.0	245	17.1
	80歳以上	9,045	11.2	212	7.1	133	9.3
	不明・無回答	-	-	-	-	9	0.6
	計	80,830	100.0	3,000	100.0	1,430	100.0

※「10歳代」は、実際の人口から10～17歳を除いた数値。令和2年2月29日現在。

(5) 地区別回答状況

地区別の構成比について母集団と回答者の比率を比較すると、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

地区	母集団		回答者	
	実数	比率	実数	比率
奥池地区	1,151	1.5	23	1.6
山手小学校区（奥池地区除く）	15,907	20.2	272	19.0
岩園小学校区	11,085	14.1	208	14.5
朝日ヶ丘小学校区	5,695	7.2	122	8.5
精道小学校区	11,161	14.2	215	15.0
宮川小学校区	9,528	12.1	173	12.1
打出浜小学校区	8,256	10.5	161	11.3
浜風小学校区	6,379	8.1	98	6.9
潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	4,915	6.2	79	5.5
南芦屋浜地区	4,613	5.9	69	4.8
不明・無回答	-	-	10	0.7
合計	78,690	100.0	1,430	100.0

※「母集団」は、各地区の実際の人口から0～17歳を除いた数値。令和2年2月29日現在。

(6) 回答方法別

回答方法別の構成比を比較すると、市全体では、郵送が約80%、WEBが約20%となっている。

また、性別・年代別・地区別それぞれについて、属性別の合計を100としたときの回答方法別の比率を比較すると、年代別では、30歳代以下において30%以上がWEB回答を行っている。また、地区別では、朝日ヶ丘小学校区、宮川小学校区、打出浜小学校区において20～25%がWEB回答を行っている。

	郵送		WEB		合計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
市全体	1,177	82.3	253	17.7	1,430	100.0

性別	郵送		WEB	
	実数	比率	実数	比率
男性	503	78.6	137	21.4
女性	661	85.2	115	14.8
左記に当てはまらない	1	50.0	1	50.0
不明・無回答	12	100.0	0	0.0

年代	郵送		WEB	
	実数	比率	実数	比率
10歳代	26	63.4	15	36.6
20歳代	103	67.3	50	32.7
30歳代	101	67.3	49	32.7
40歳代	189	77.8	54	22.2
50歳代	189	76.5	58	23.5
60歳代	193	92.3	16	7.7
70歳代	234	95.5	11	4.5
80歳以上	133	100.0	0	0.0
不明・無回答	9	100.0	0	0.0

地区	郵送		WEB	
	実数	比率	実数	比率
奥池地区	20	87.0	3	13.0
山手小学校区（奥池地区除く）	238	87.5	34	12.5
岩園小学校区	169	81.3	39	18.8
朝日ヶ丘小学校区	91	74.6	31	25.4
精道小学校区	177	82.3	38	17.7
宮川小学校区	132	76.3	41	23.7
打出浜小学校	124	77.0	37	23.0
浜風小学校区	88	89.8	10	10.2
潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	68	86.1	11	13.9
南芦屋浜地区	60	87.0	9	13.0
不明・無回答	10	100.0	0	0.0

（7）分析についての注意点

- 集計・分析においては、実数とともに、特記しない限り有効回答数（N=1,430）を母数とした出現率（％）を算出している。
- 集計結果において、出現率の値はすべて小数第2位を四捨五入して表記しているため、合計値が100%にならない場合がある。またいくつかの選択肢の回答を合計して「肯定的意見」や「否定的意見」として集約する場合、グラフ上の出現率（％）の合計と異なる場合がある（記述の％は、出現率を単純に合算するのではなく、改めて回答実数の合計値を母数で除して算出しているため）。
- 「2つ以上を選択」の複数回答設問については、回答者数を母数として出現率を算出しているため、出現率の合計が100%を超える場合がある。
- 属性別のクロス集計のうち、年代別の「10歳代」（41件）、地区別の「奥池地区」（23件）について、サンプル数が少なく統計的に意味があるとはいえないため、集計数値は示すが分析コメントでは結果に触れない。
- 報告書における「前回調査」は令和元年5月に実施した市民アンケートを指す。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

2 結果の要約

(1) 芦屋市のまちづくりへの評価

- まちづくりへの評価では、「住宅都市の魅力」「良好な生活環境と魅力的な暮らし」「持続可能なインフラ整備」「日常の安全安心」など、住宅環境としての評価が高い。また、学びや文化に対する評価も高い。

[満足度上位5項目]

- ⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている
 - ⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている
 - ⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる
 - ⑧日常の安全安心が確保されている
 - ③生涯を通じた学びの文化が醸成されている
- 今後、特に力を入れて取り組むべき施策としては、「災害に強い安全なまちづくり」が最も多く、「健全で効率的な行財政運営」、「誰にとっても心地よいまちづくり」、「出産・育児」と続いている。また、満足度の高い「持続可能なインフラ整備」についても求められている。

[重要度上位5項目]

- ⑦災害に強い安全なまちづくりが進んでいる
 - ⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている
 - ④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる
 - ①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
 - ⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる
- 市政に関しては、約7割の回答者が肯定的（「とてもうまくいっている」「まあうまくいっている」の合計）に評価している。

(2) 生活や住み心地

- 芦屋市への定住意向（「今の場所に住み続けたい」と「市内の他の場所で住み続けたい」の合計）は8割を上回る一方で、若い世代では一定の転出意向もある。
- 地域活動への参加は、約4割であり、まちなかの緑の保全・育成に限ると2割強となっている。活動に参加している年代は、70歳代がそれぞれ50%以上、30%以上と最も高い。
- 子どもと接する機会は、「あいさつをすることがある」が最も高く45%以上であり、30歳代、40歳代については、「一緒に地域活動等をする」と「会話をすることがある」を合わせた割合が、それぞれ25%、35%を上回っている。
- 家族や親族以外で相談できる人や場所が「ある」との回答は6割を上回っている。
- まちなみやまちなかの緑などの景観について、『良い』（「良い」「どちらかといえば良い」の合計）との回答は9割を上回っている。
- 市内の公園について、『年数回以上利用している』（「月1回以上」「年数回程度」の合計）が5割を上回っている。30歳代、40歳代は、『年数回以上利用している』が7割前後であり、「月1回以上」が、それぞれ55%、35%を上回っている。
- 自然災害に対する備えは、「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が約8割と最も高く、

次いで「自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している」が55%を上回っている。

- 地球温暖化防止に向けた取り組みは、「買い物には、マイバッグを持っていく」が最も高く75%を上回っており、60歳代以上は、どの項目においても45%を上回っている。
- 市内移動の利便性について、肯定的意見（「便利」「どちらかといえば便利」の合計）は約7割である一方で、南芦屋浜地区では45%を下回っている。
- 夫婦間での分担は、全ての設問において、理想よりも現実の方が「同程度・適宜分担」が低い傾向にある。また、理想、現実ともに、「生活費の負担」は男性、「家事」、「育児・子育て」は女性が担うとの割合が高い傾向がみられる。
- 市役所手続きの利便性では、肯定的意見（「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」の合計）が65%を上回っている。

（3）健康づくり

- 運動の習慣については、『月1回以上の運動習慣がある』（「週3回以上」「週1回以上」「月1回以上」の合計）が約65%である。60歳代以上は『月1回以上の運動習慣がある』が70%前後であり、「週3回以上」「週1回以上」の割合がそれぞれ30%前後と高くなっている。
- 健康診断受診については、「年1回以上」が7割で最も高いが、続いて高い項目は「受けていない」が1割強となっている。
- 適正体重については、維持している人が最も高く7割を上回っている。男性では適正体重以上が約20%、女性では適正体重以下が約15%みられる。

（4）文化的なふれあいや学び

- 文化的資源の認知度について、5割弱の「会下山遺跡」を除く5か所は半数を上回っているが、年代が下がるほど認知度が下がる資源がみられる。
- 文化に触れる体験のための外出について「外出していない」が1割を下回る一方で、自分の学びのための学習会・セミナー参加などの機会について、「参加していない」は4割強となっている。

（5）これからの公共施設等

- 公共施設の利用者（「毎日」「週に数回」「月に数回」「半年に数回」「年に数回」の合計）は、7割を上回っている。
- 利用料増額について、肯定的意見（「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計）と「どちらともいえない」が4割弱で同程度となっている。
- 施設の削減については、肯定的意見（「削減を積極的に進めるべきである」「削減はやむを得ない」の合計）が半数を上回っている。
- 最適配置手法については、民間活力の導入が適当と回答した割合が最も高い。

（6）自由記述

- 自由意見欄には、1,430件の回収票のうち514件に延べ844件の意見・提案等が記載されていた。
- 項目別に分類すると、「持続可能なインフラ整備」が最も多く、「住宅都市の魅力」「まちづくり全体」「良好な生活環境と魅力的な暮らし」「人口減少社会に対応した行財政運営」に関する内容が続いている。

3 アンケート調査結果

I. あなた（回答者）ご自身についておたずねします。

◆1 あなたの年齢は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上 不明・無回答

◆年代別では、50歳代が17.3%で最も高く、70歳代が17.1%、40歳代が17.0%と続いている。

	項目	回答数	割合
1	10歳代	41	2.9
2	20歳代	153	10.7
3	30歳代	150	10.5
4	40歳代	243	17.0
5	50歳代	247	17.3
6	60歳代	209	14.6
7	70歳代	245	17.1
8	80歳以上	133	9.3
	不明・無回答	9	0.6
	合計	1,430	100.0

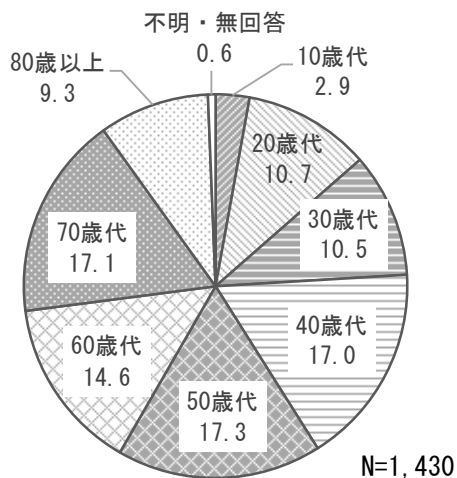


図1 年齢

◆地区別では、朝日ヶ丘小学校区、精道小学校区、潮見小学校区は、30歳以下の合計が25%以上、浜風小学校区、潮見小学校区、南芦屋浜地区は、70歳以上が30%以上となっている。

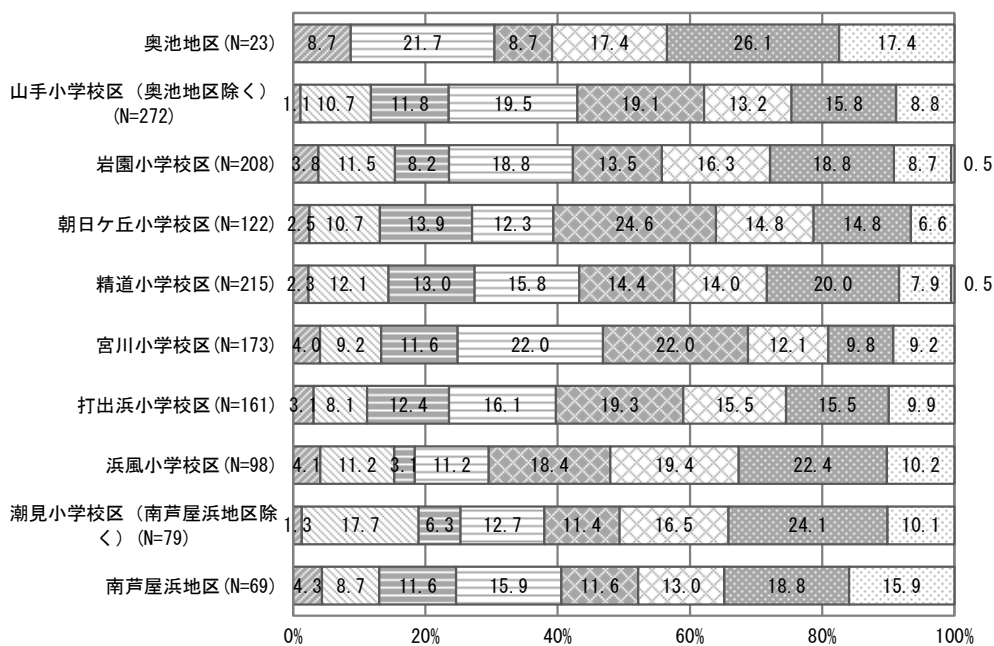


図2 年齢（地区別）

◆2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

男性
 女性
 左記に当てはまらない
 不明・無回答

◆性別では、女性が54.3%、男性が44.8%であり、女性の割合が高い。

	項目	回答数	割合
1	男性	640	44.8
2	女性	776	54.3
3	左記に当てはまらない	2	0.1
	不明・無回答	12	0.8
	合計	1,430	100.0

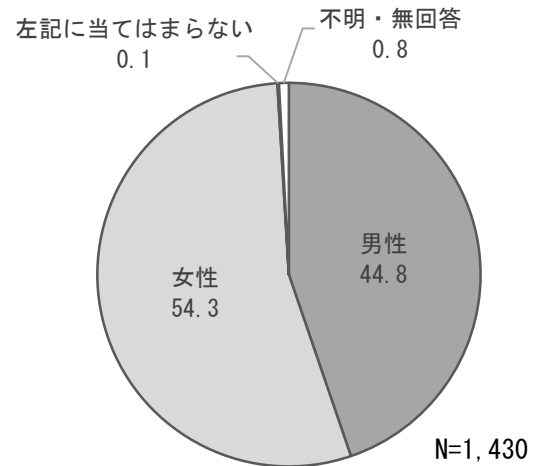


図3 性別

◆地区別では、山手小学校区が特に女性の割合が高い。

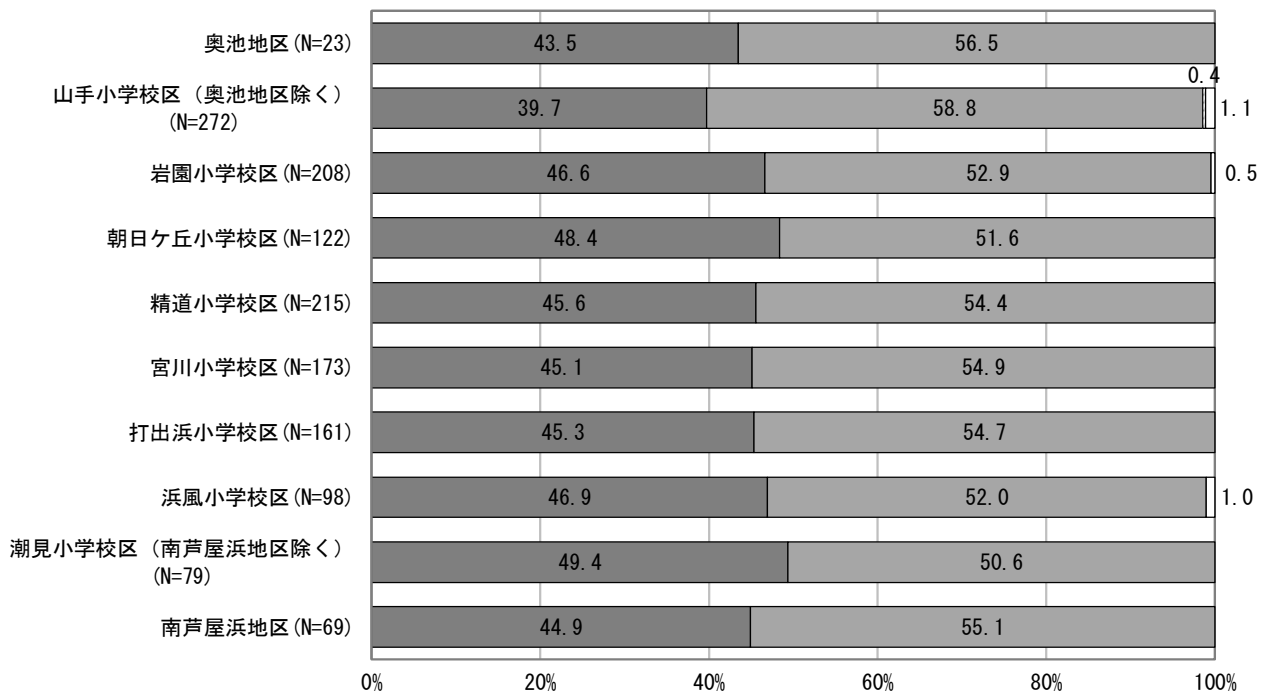
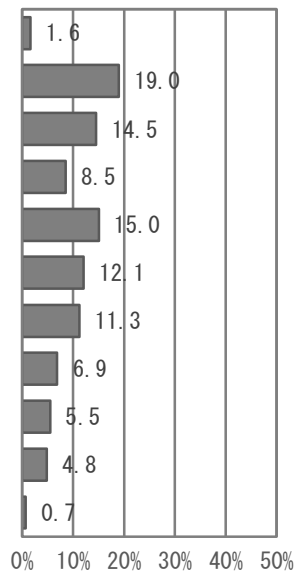


図4 性別 (地区別)

◆3 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。校区番号1～10から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

◆「山手小学校区」が19.0%と最も高く、「精道小学校区」が15.0%、「岩園小学校区」が14.5%、「宮川小学校区」が12.1%と続いている。

	項目	回答数	割合
1	奥池地区	23	1.6
2	山手小学校区（奥池地区除く）	272	19.0
3	岩園小学校区	208	14.5
4	朝日ヶ丘小学校区	122	8.5
5	精道小学校区	215	15.0
6	宮川小学校区	173	12.1
7	打出浜小学校	161	11.3
8	浜風小学校区	98	6.9
9	潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	79	5.5
10	南芦屋浜地区	69	4.8
	不明・無回答	10	0.7
	合計	1,430	100.0



N=1,430

図5 居住地区

Ⅱ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

問1 次ページの表に示す13の項目は、第5次芦屋市総合計画（令和3年度～令和12年度）の基本構想に掲げる施策の目標です。13項目それぞれについて、芦屋市の現状をどのように感じていますか。①～⑬の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1～5から1つずつ選び、数字に○をつけてください。※直感的に選択してください。

- ◆ 「満足」「やや満足」を合わせた肯定的意見は「⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている」が最も高く、「⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている」、「⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる」、「⑧日常の安全安心が確保されている」と続いている。
- ◆ 「わからない」との回答が1割を下回っているのは、上記4項目のみとなっている。
- ◆ 「やや不満」「不満」を合わせた否定的意見は「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」「⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている」「⑦災害に強いまちづくりが進んでいる」「⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる」と続いている。

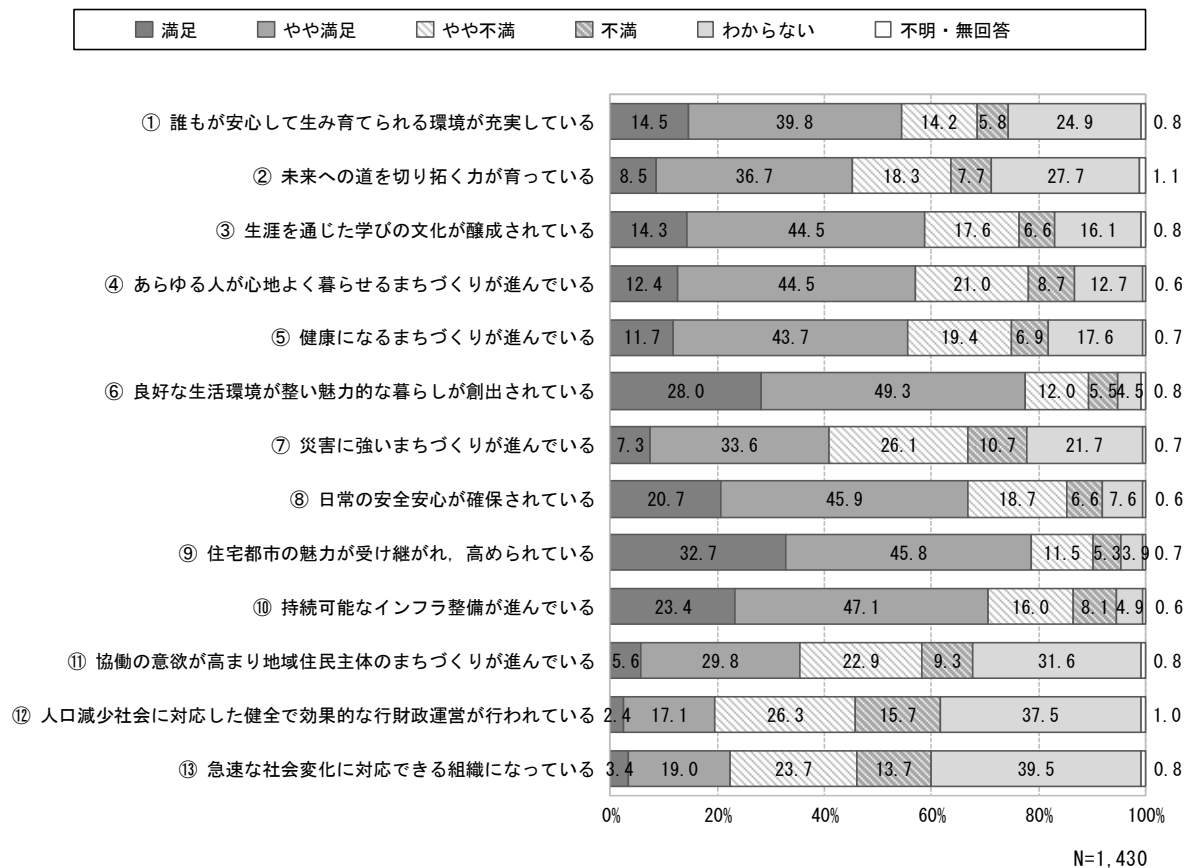


図6 施策目標の評価

施策目標（13項目）ごとの集計

■ 評点と重要度による散布図の提示

13項目の施策目標について、

- ・縦軸を満足度とし、「満足」に4点、「やや満足」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均した評点を示す。
- ・横軸を重要度とし、問2において13項目の中から選ばれた、今後重要と考える分野（3つ選択）の出現率を示す。

■ 評点と重要度からみた施策への評価

上記の散布図を平均値で4象限に区分し、相対的な位置づけを明らかにする。

象限A…満足度が高く、重要度が低い／施策が評価され、緊急性は低いと意識される分野

象限B…満足度・重要度ともに高い／施策が評価されているが、さらに発展が求められる分野

象限C…満足度・重要度ともに低い／施策への評価は低く、関心も低い分野

象限D…満足度が低く、重要度が高い／施策への評価が低く、重点的な取組が求められる分野

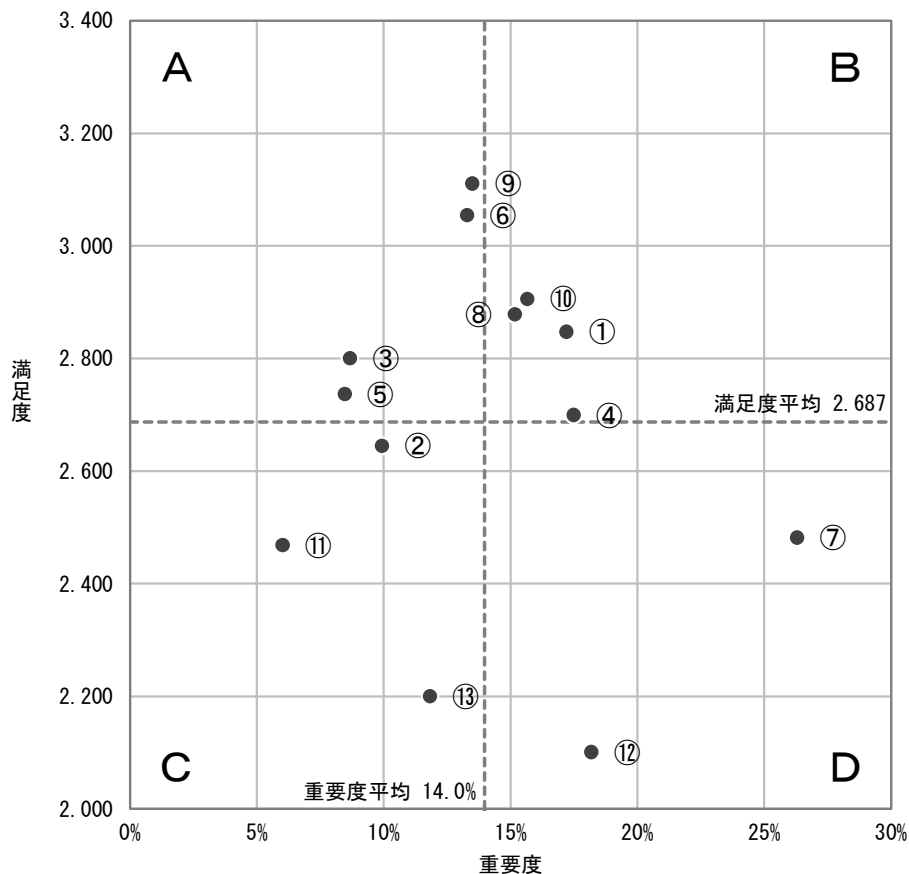


図 7 満足度と重要度の散布図

①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している

◆「やや満足」が 39.8%と最も高く、「満足」14.5%と合わせると、54.3%が肯定的意見となっており、「やや不満」14.2%、「不満」5.8%を合わせた否定的意見 20.0%の 2.5 倍を上回っている。

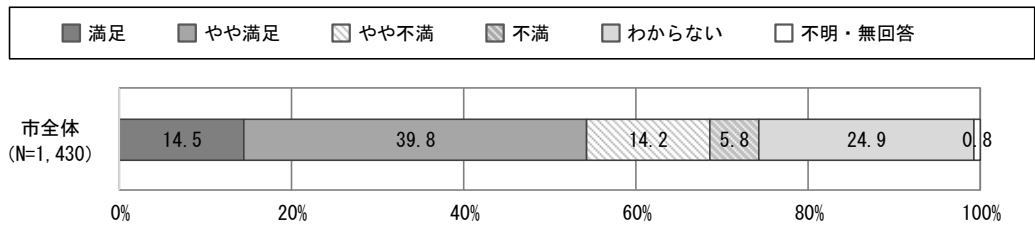


図 8 施策目標の評価（施策目標①）

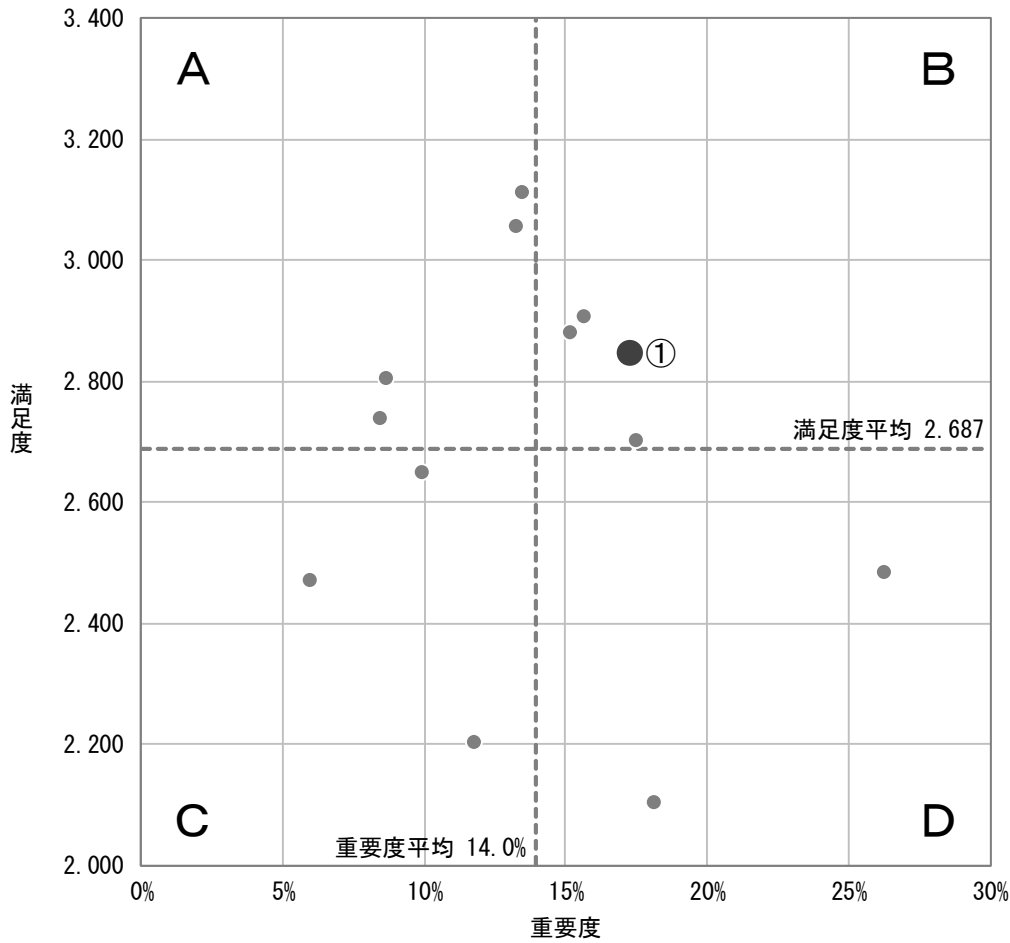


図 9 満足度と重要度の散布図（施策目標①）

◆性別では、大きな差はみられないが、男性は「やや満足」、女性は「わからない」の割合が高い。

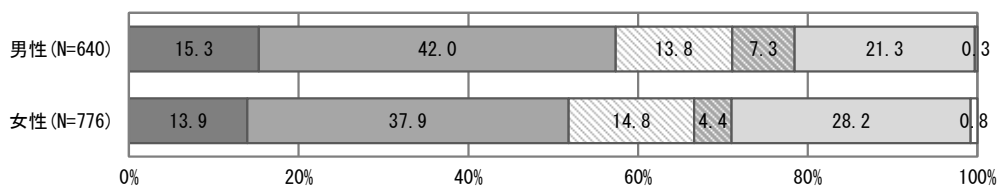


図 10 施策目標の評価（施策目標①：性別）

◆年代別では、30歳代の「やや不満」、20歳代、80歳以上の「わからない」の割合が高い。

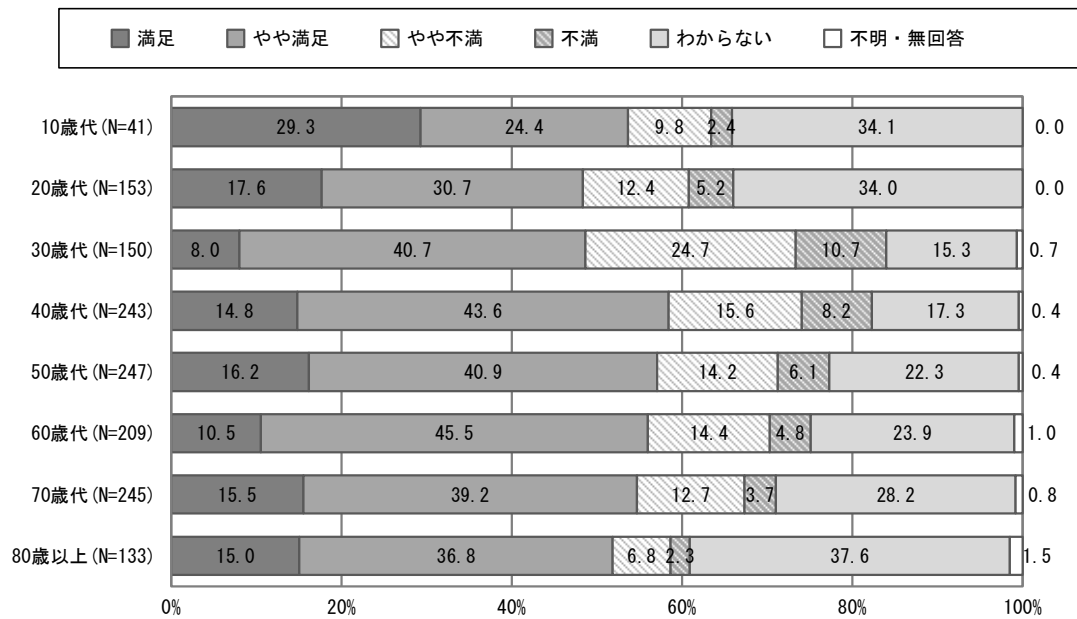


図 11 施策目標の評価（施策目標①：年代別）

◆地区別で大きな差はみられないが、潮見小学校区では「不満」の回答がみられなかった。

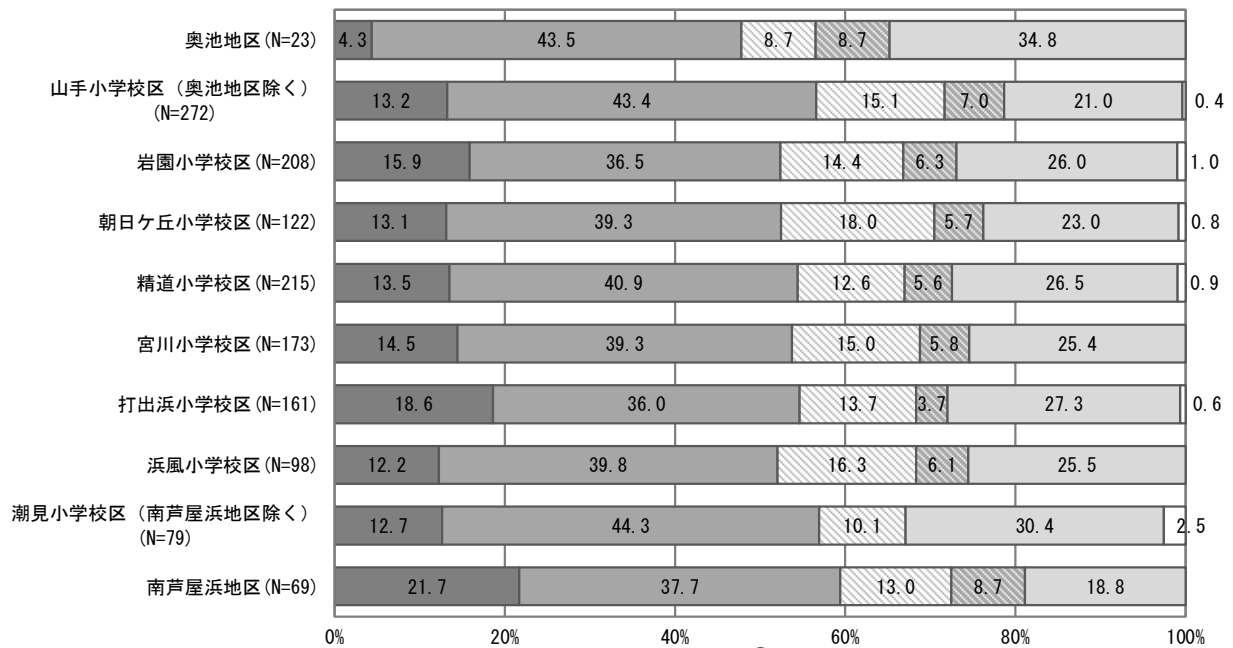


図 12 施策目標の評価（施策目標①：地区別）

②未来への道を切り拓く力が育っている

◆「やや満足」が36.7%と最も高く、「満足」8.5%と合わせると、45.2%が肯定的意見となっており、「やや不満」18.3%、「不満」7.7%を合わせた否定的意見26.0%より高い。

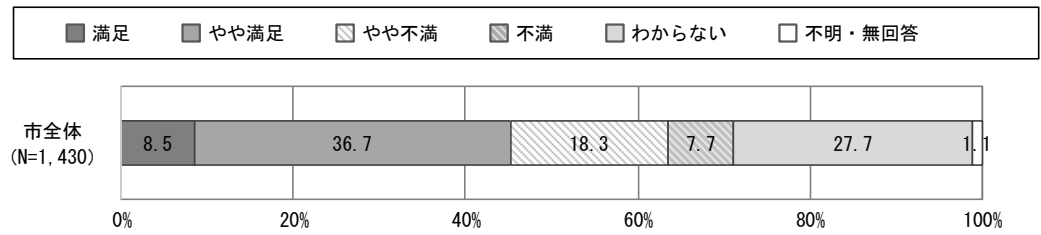


図 13 施策目標の評価（施策目標②）

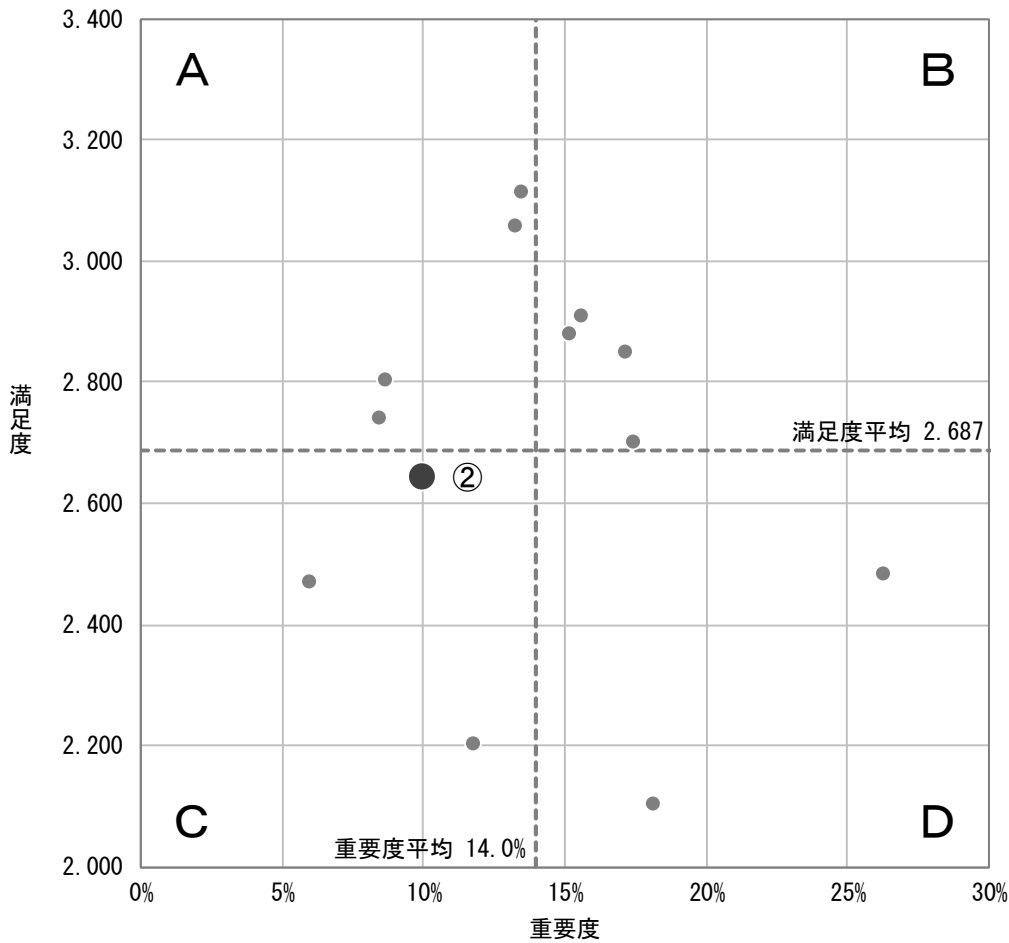


図 14 満足度と重要度の散布図（施策目標②）

◆性別では、肯定的意見に大きな差はみられないが、男性は否定的意見が高く、女性は「わからない」の割合が高い。

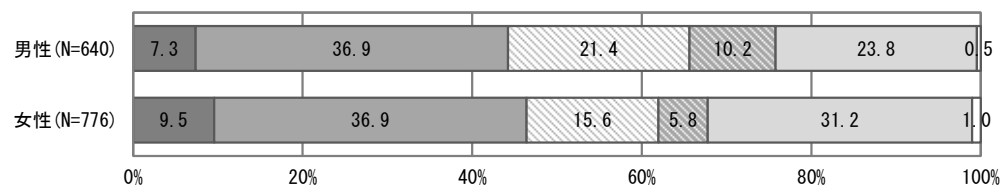


図 15 施策目標の評価（施策目標②：性別）

- ◆年代別では、肯定的意見について、20歳代が最も高く、30歳代が最も低い。
- ◆「満足」については、30歳代、60歳代が低い。

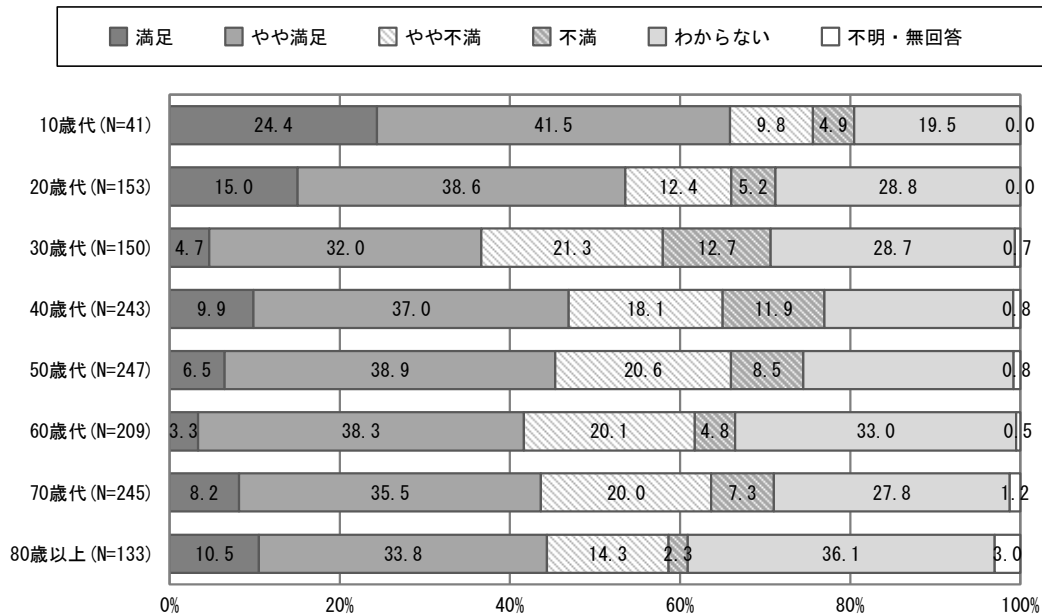


図 16 施策目標の評価（施策目標②：年代別）

- ◆地区別では、肯定的意見について潮見小学校区が最も高く、打出浜小学校区が最も低い。

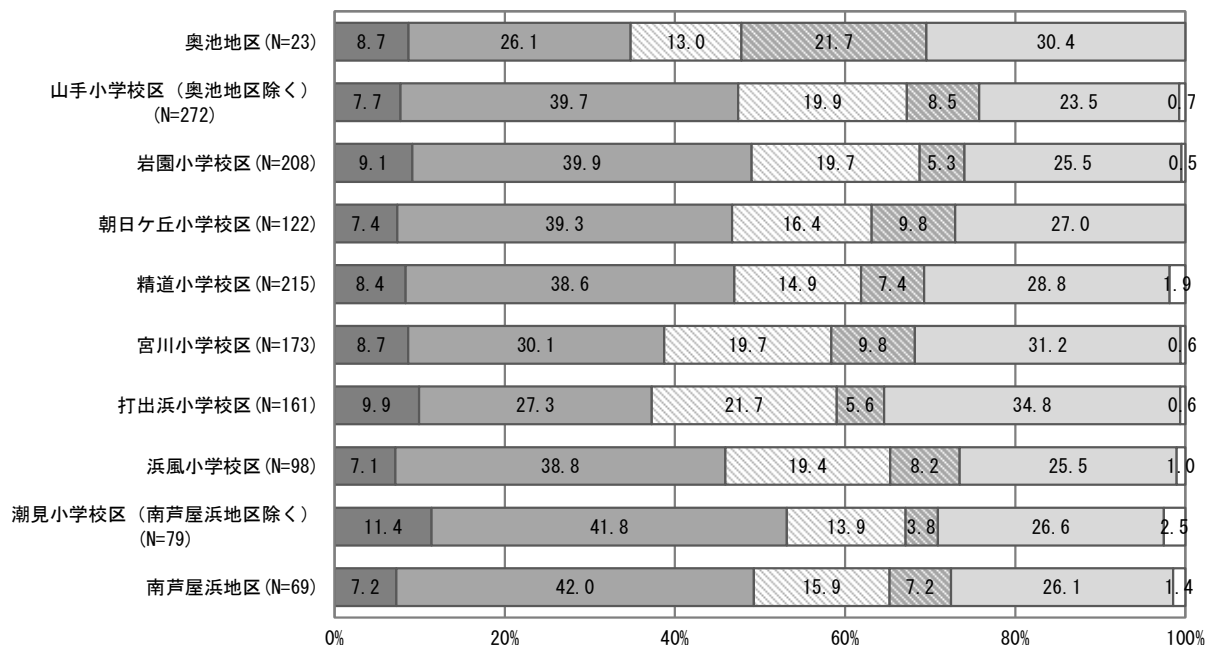


図 17 施策目標の評価（施策目標②：地区別）

③生涯を通じた学びの文化が醸成されている

◆「やや満足」が 44.5%と最も高く、「満足」14.3%と合わせると、58.8%が肯定的意見となっており、「やや不満」17.6%、「不満」6.6%を合わせた否定的意見 24.2%の 2 倍を上回っている。

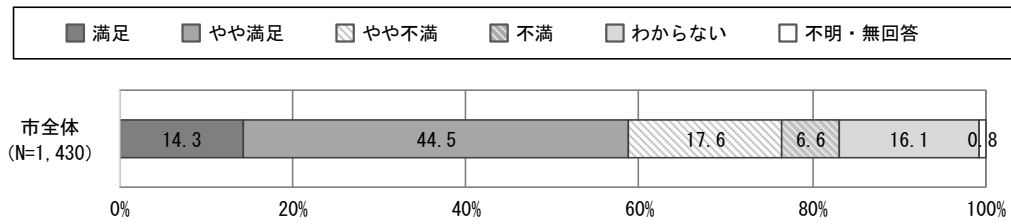


図 18 施策目標の評価（施策目標③）

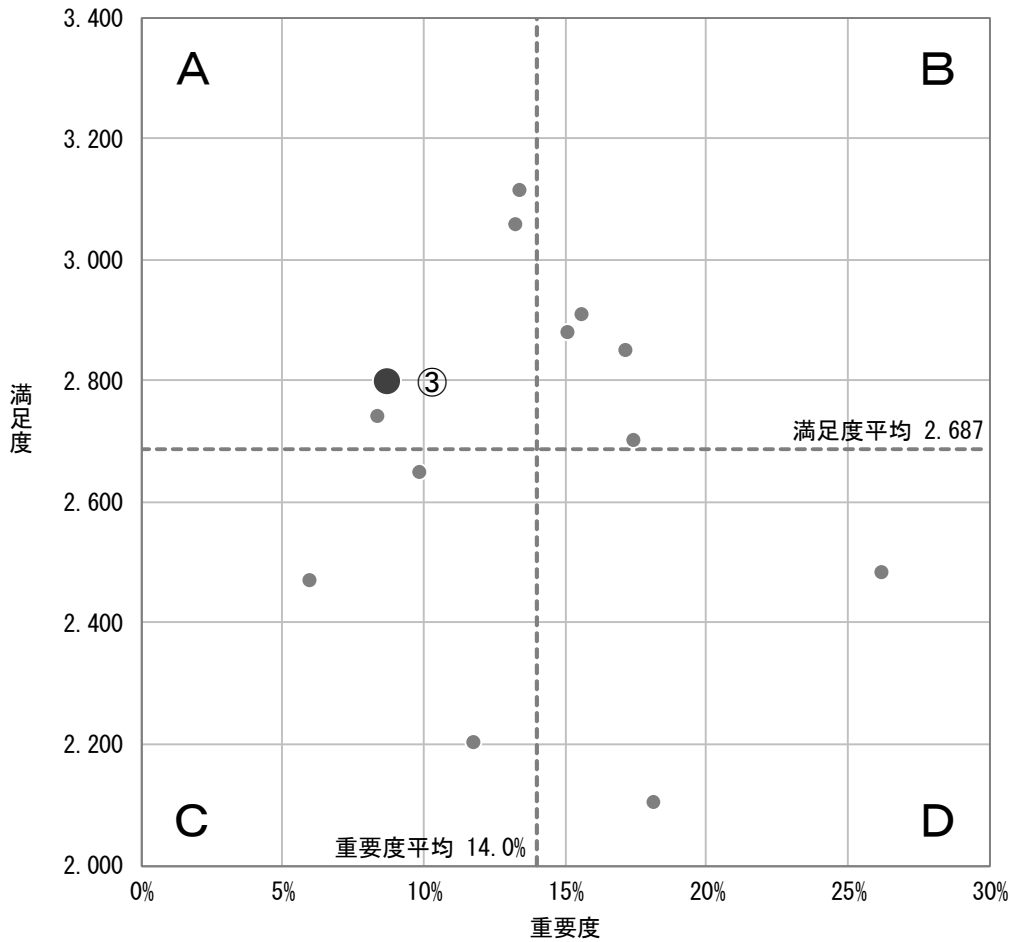


図 19 満足度と重要度の散布図（施策目標③）

◆性別では、大きな差はみられないが、肯定的意見について、女性の方が高い。

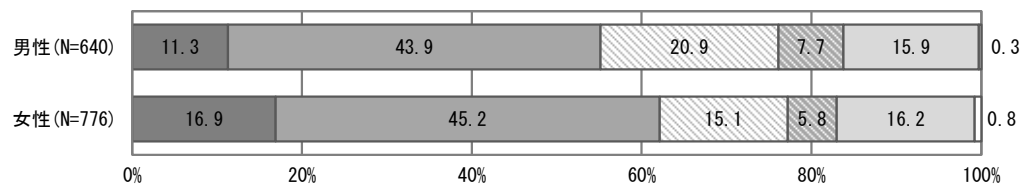


図 20 施策目標の評価（施策目標③：性別）

◆年代別では、肯定的意見について、80歳以上が最も高く、30歳代が最も低い。

◆「満足」については、30歳代が低い。

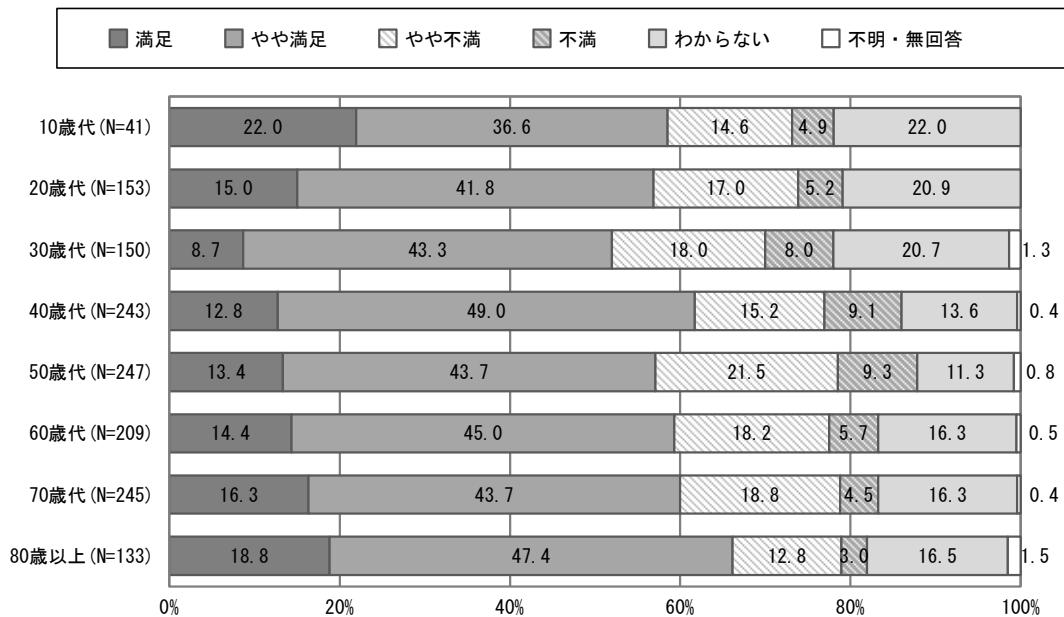


図 21 施策目標の評価（施策目標③：年代別）

◆地区別では、肯定的意見について潮見小学校区が最も高く、岩園小学校区が最も低い。

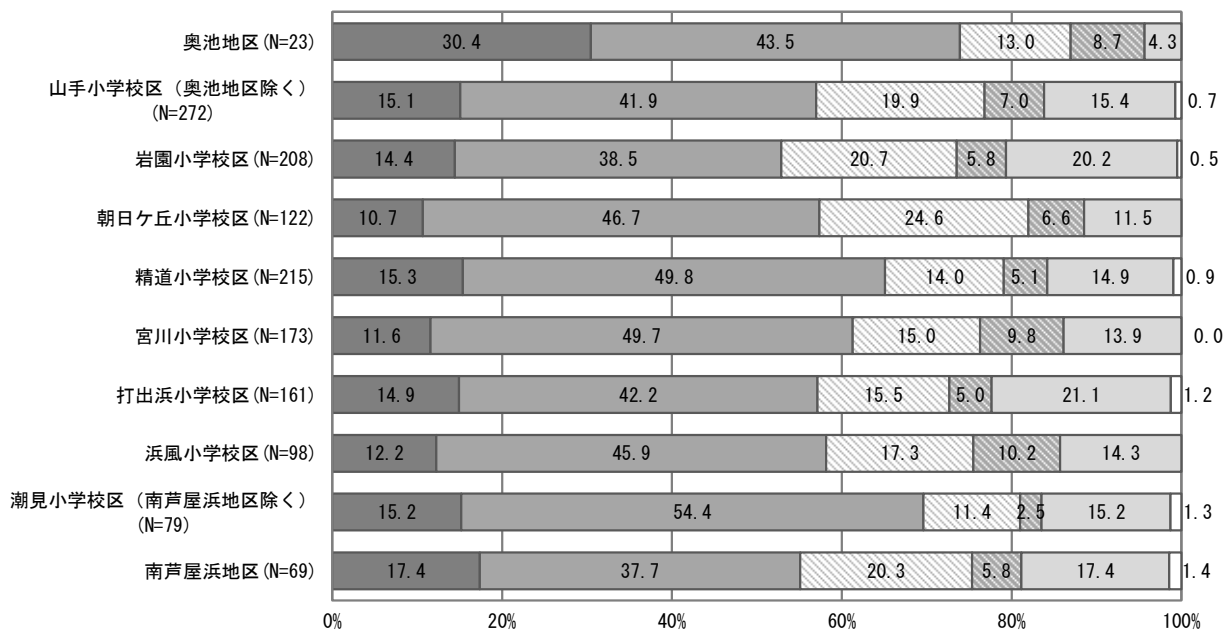


図 22 施策目標の評価（施策目標③：地区別）

④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる

◆「やや満足」が 44.5%と最も高く、「満足」12.4%と合わせると、56.9%が肯定的意見となっており、「やや不満」21.0%、「不満」8.7%を合わせた否定的意見 29.7%より高い。

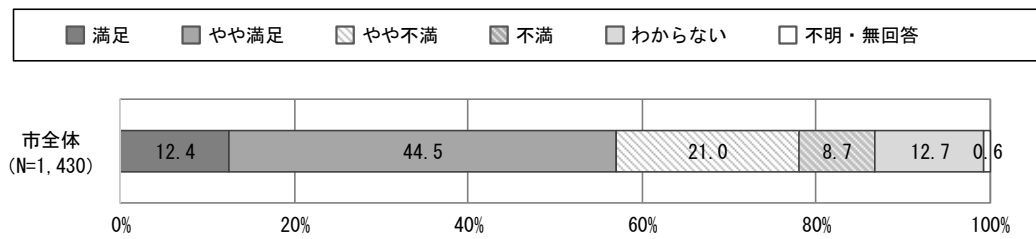


図 23 施策目標の評価（施策目標④）

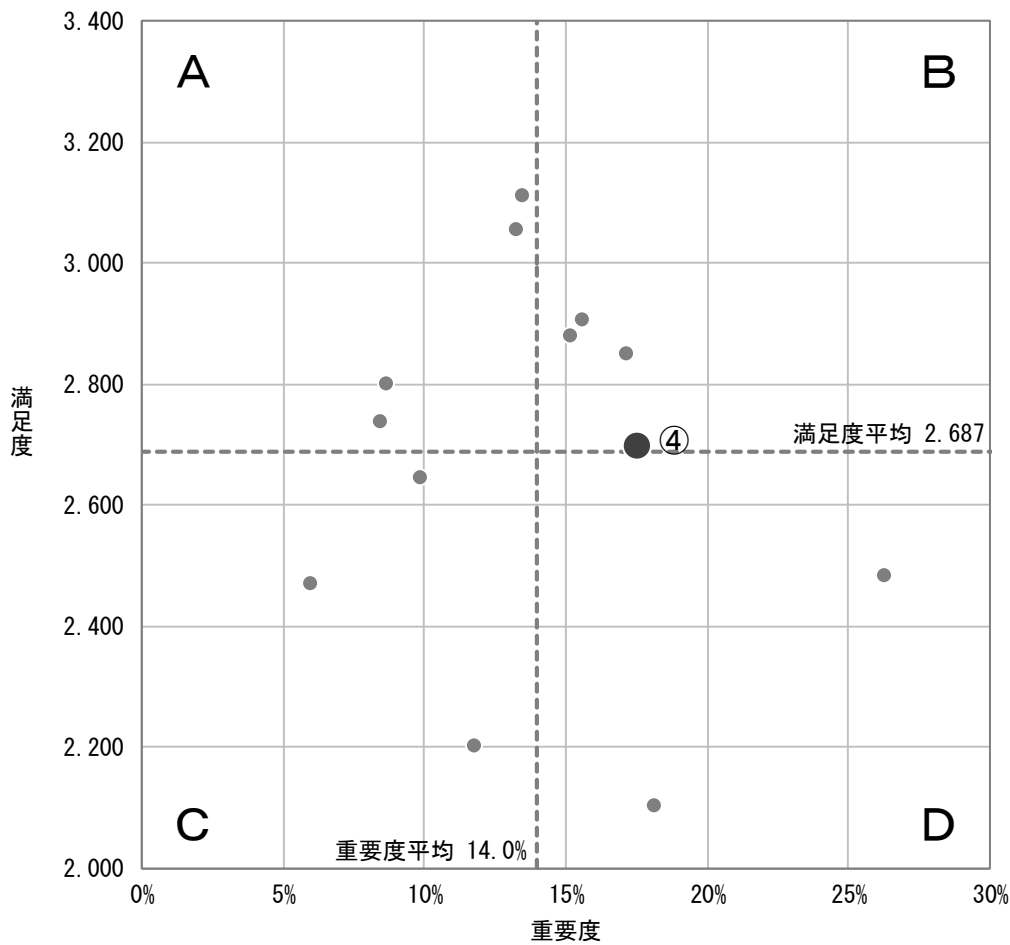


図 24 満足度と重要度の散布図（施策目標④）

◆性別では、大きな差はみられない。



図 25 施策目標の評価（施策目標④：性別）

◆年代別では、肯定的意見について20歳代が最も高く、30歳代が最も低い。

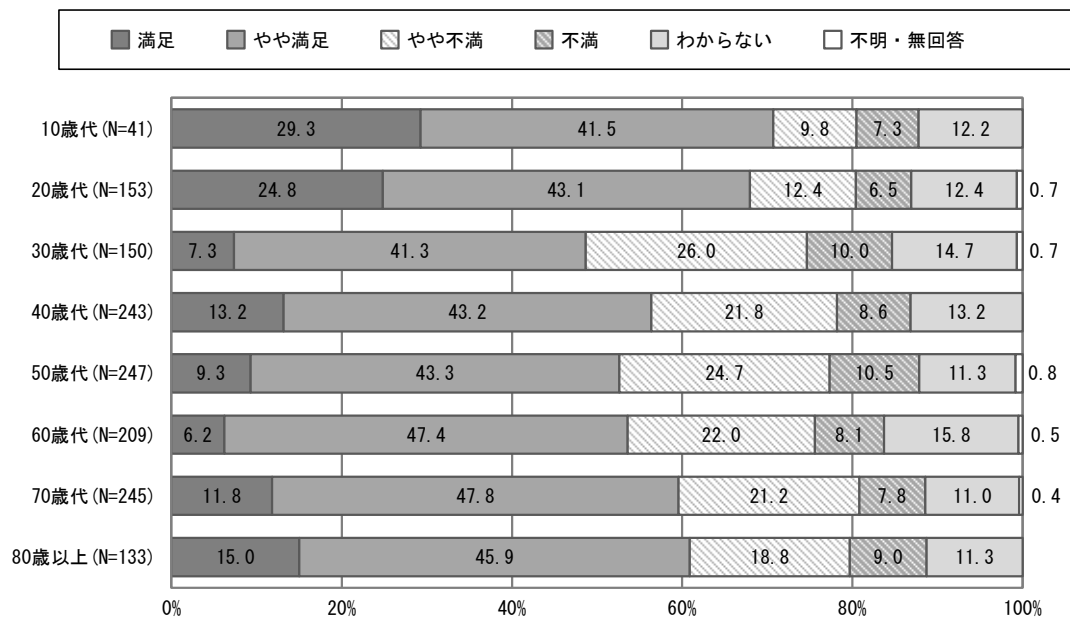


図 26 施策目標の評価（施策目標④：年代別）

◆地区別では、肯定的意見について潮見小学校区が最も高く、宮川小学校区が最も低い。

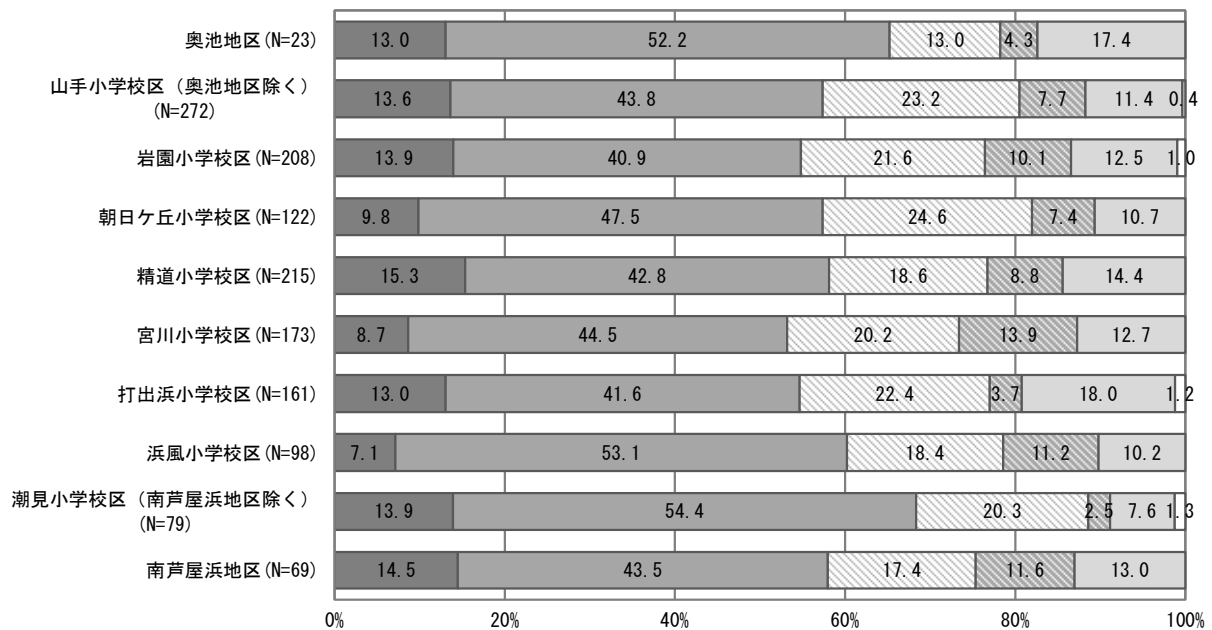


図 27 施策目標の評価（施策目標④：地区別）

⑤健康になるまちづくりが進んでいる

◆「やや満足」が 43.7%と最も高く、「満足」11.7%と合わせると、55.4%が肯定的意見となっており、「やや不満」19.4%、「不満」6.9%を合わせた否定的意見 26.3%の 2 倍を上回っている。

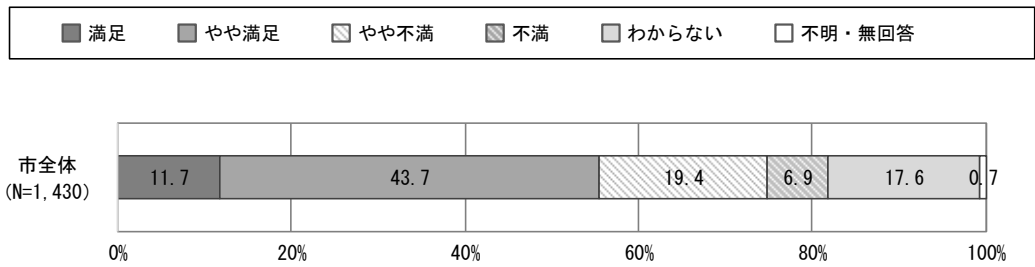


図 28 施策目標の評価（施策目標⑤）

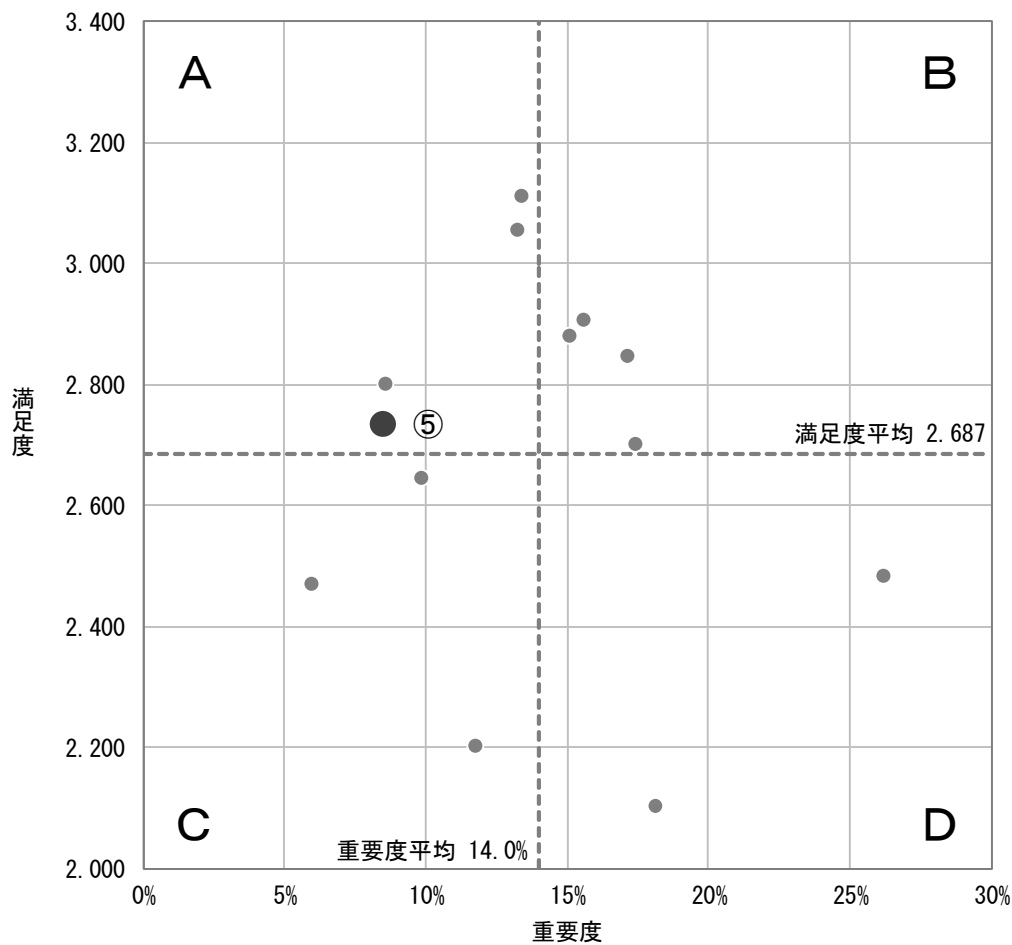


図 29 満足度と重要度の散布図（施策目標⑤）

◆性別では、大きな差はみられない。

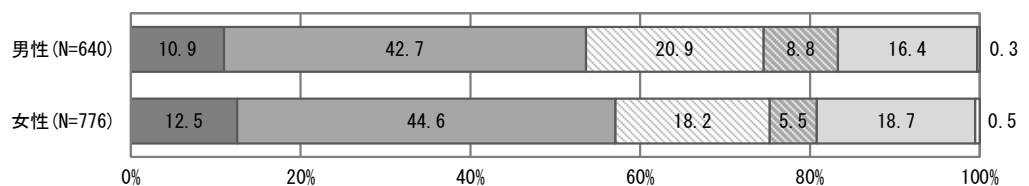


図 30 施策目標の評価（施策目標⑤：性別）

◆年代別では、肯定的意見について、30歳代が最も低く、50%を下回っている。

◆「満足」について、20歳代、80歳以上が高い。

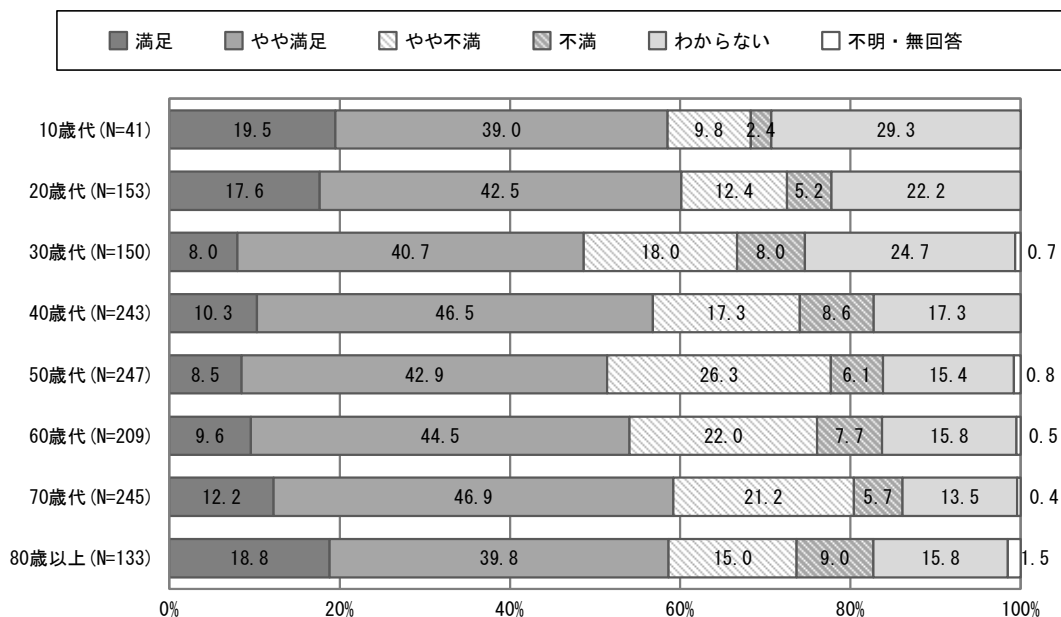


図 31 施策目標の評価（施策目標⑤：年代別）

◆地区別では、肯定的意見について精道小学校区が最も高く、岩園小学校区が最も低い。

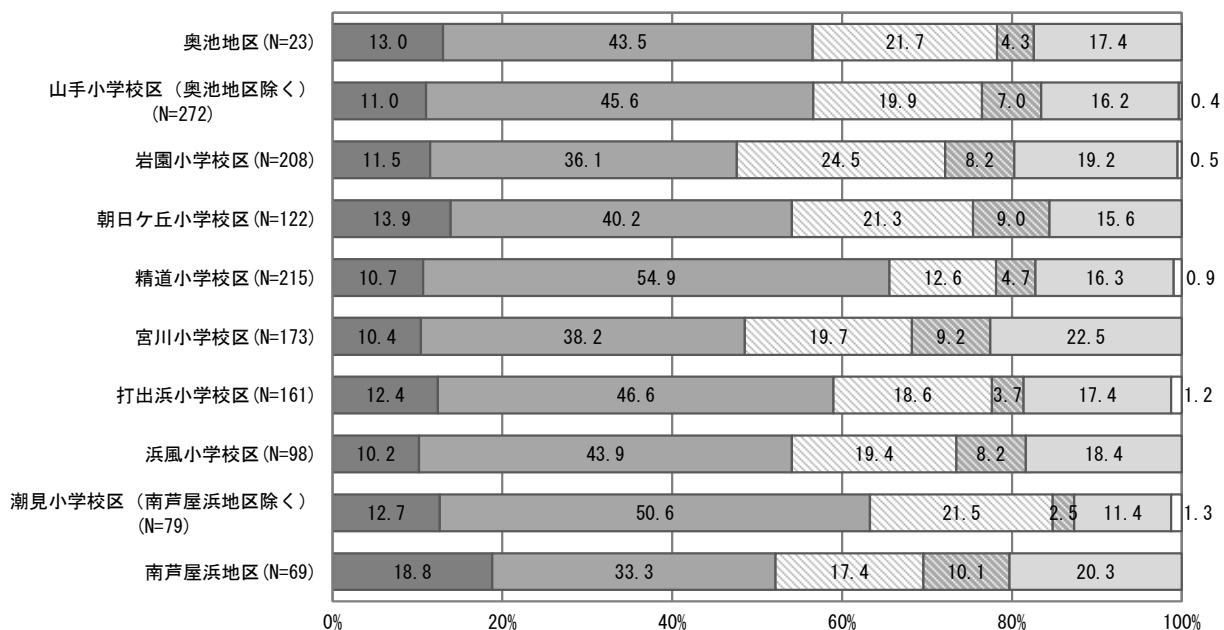


図 32 施策目標の評価（施策目標⑤：地区別）

⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている

◆「やや満足」が49.3%と最も高く、「満足」28.0%と合わせると、77.3%が肯定的意見となっており、「やや不満」12.0%、「不満」5.5%を合わせた否定的意見17.5%の4倍を上回っている。

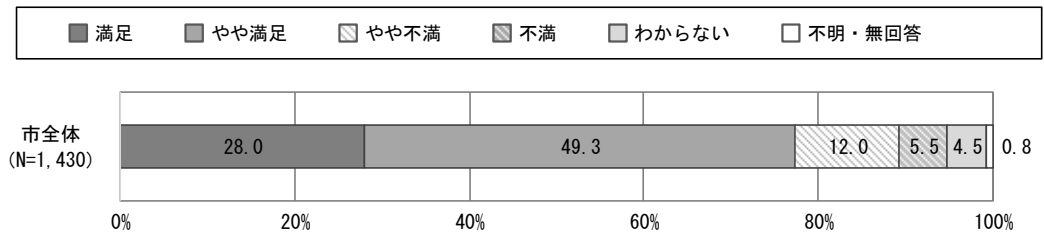


図 33 施策目標の評価（施策目標⑥）

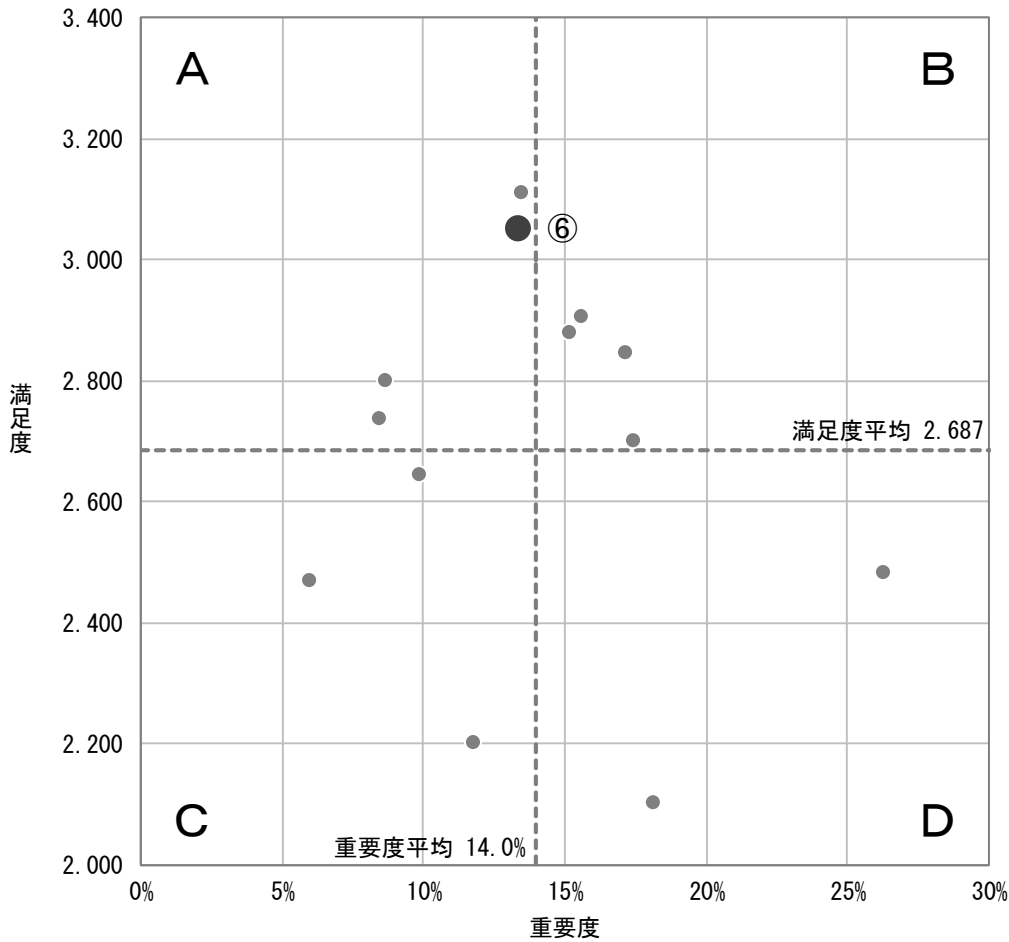


図 34 満足度と重要度の散布図（施策目標⑥）

◆性別では、男性は否定的意見が高く、女性は肯定的意見が高い。

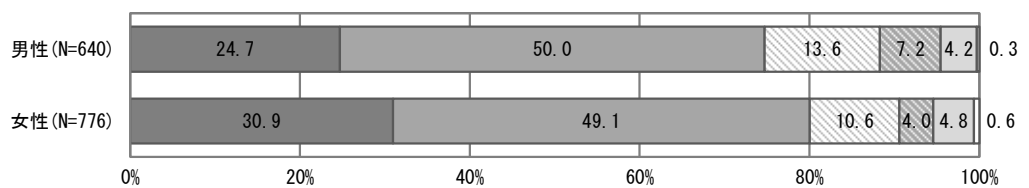


図 35 施策目標の評価（施策目標⑥：性別）

◆年代別では、肯定的意見について20歳代が最も高く、それ以外の年代において大きな差はみられない。

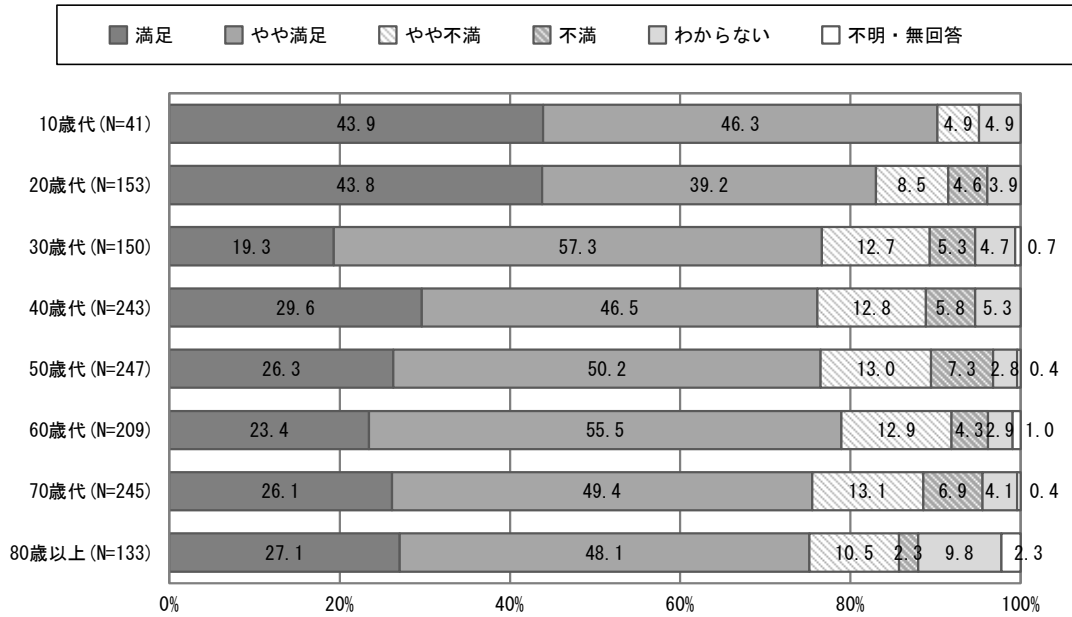


図 36 施策目標の評価（施策目標⑥：年代別）

◆地区別では、肯定的意見について大きな差はみられないが、岩園小学校区が最も高く、浜風小学校区が最も低い。

◆「満足」については、南芦屋浜地区が最も高く、潮見小学校区が最も低い。

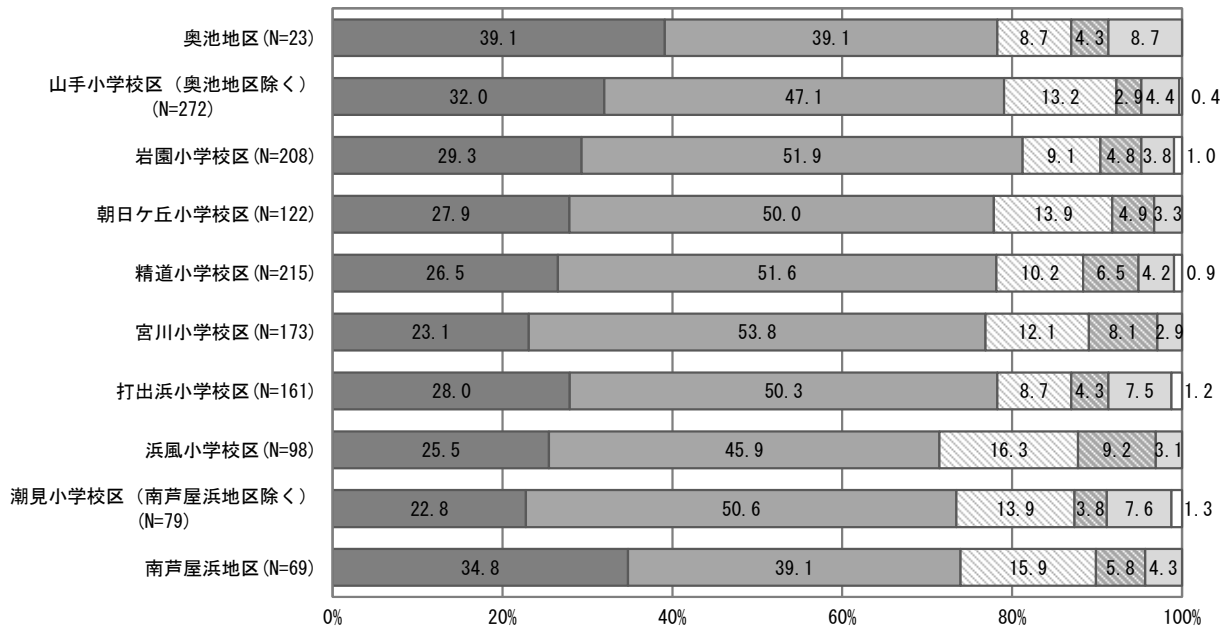


図 37 施策目標の評価（施策目標⑥：地区別）

⑦災害に強いまちづくりが進んでいる

◆「やや満足」が33.6%と最も高く、「満足」7.3%と合わせると、40.9%が肯定的意見となっており、「やや不満」26.1%、「不満」10.7%を合わせた否定的意見36.8%より高い。

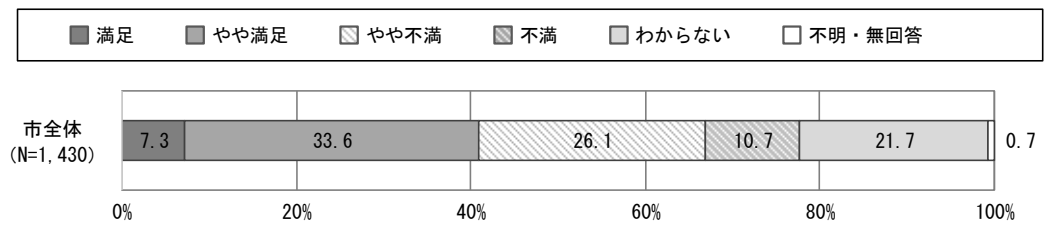


図 38 施策目標の評価（施策目標⑦）

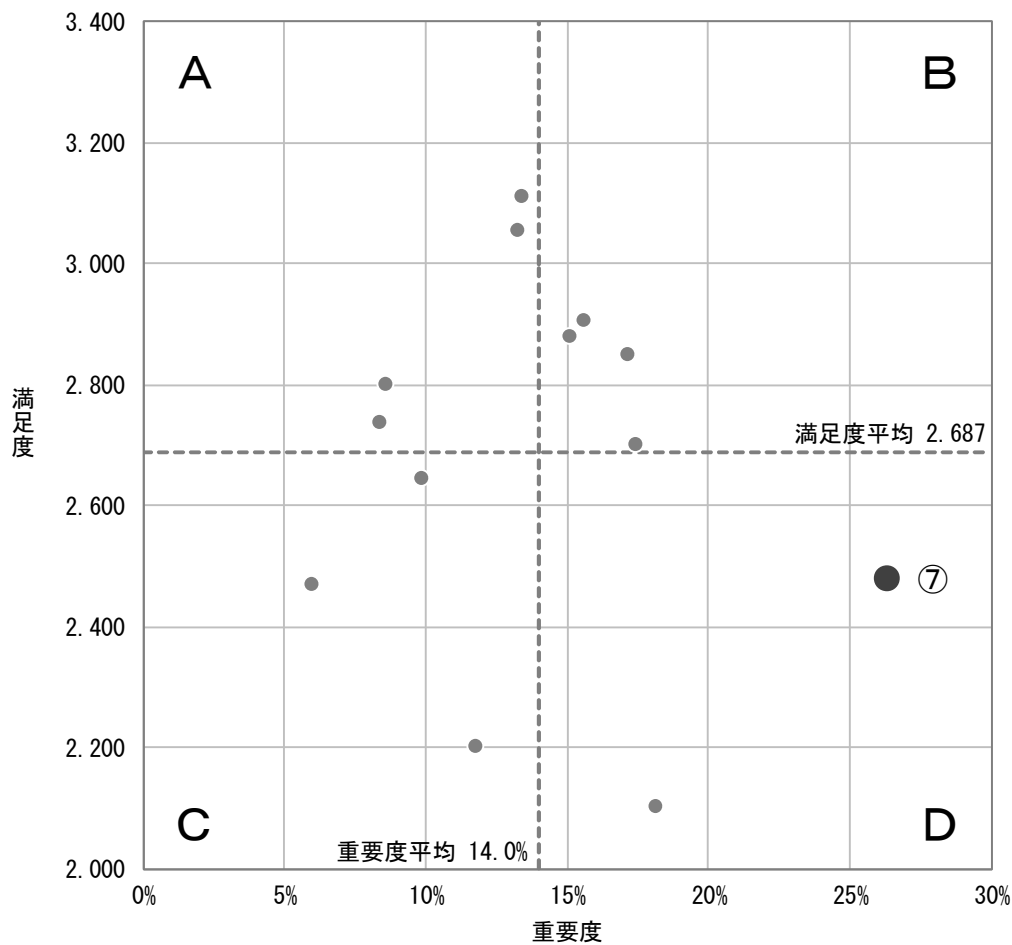


図 39 満足度と重要度の散布図（施策目標⑦）

◆性別では、男性は、肯定的意見より否定的意見の方が高い。

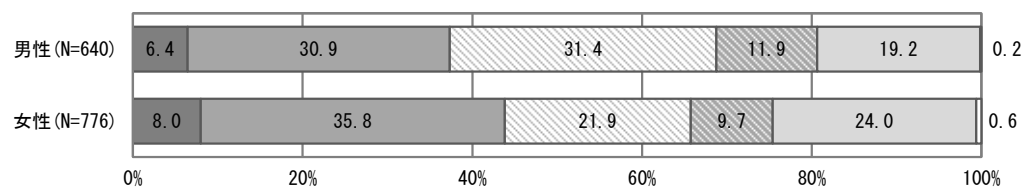


図 40 施策目標の評価（施策目標⑦：性別）

◆年代別では、否定的意見について40歳代が最も高く、80歳以上が最も低い。

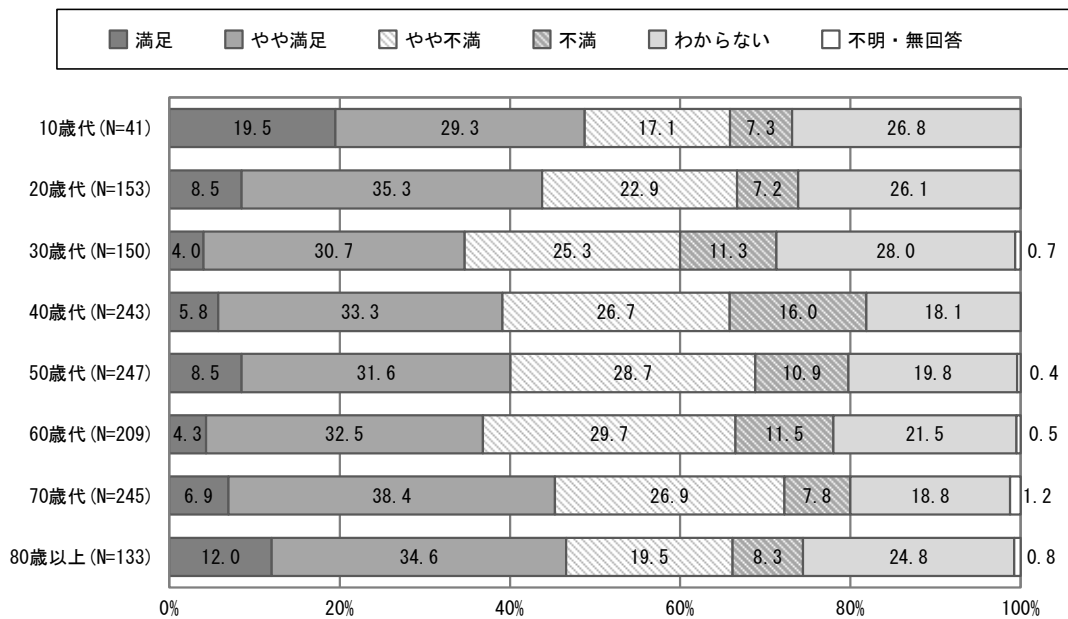


図 41 施策目標の評価（施策目標⑦：年代別）

◆地区別では、否定的意見について南芦屋浜小学校区が最も高く、朝日ヶ丘小学校区が最も低い。

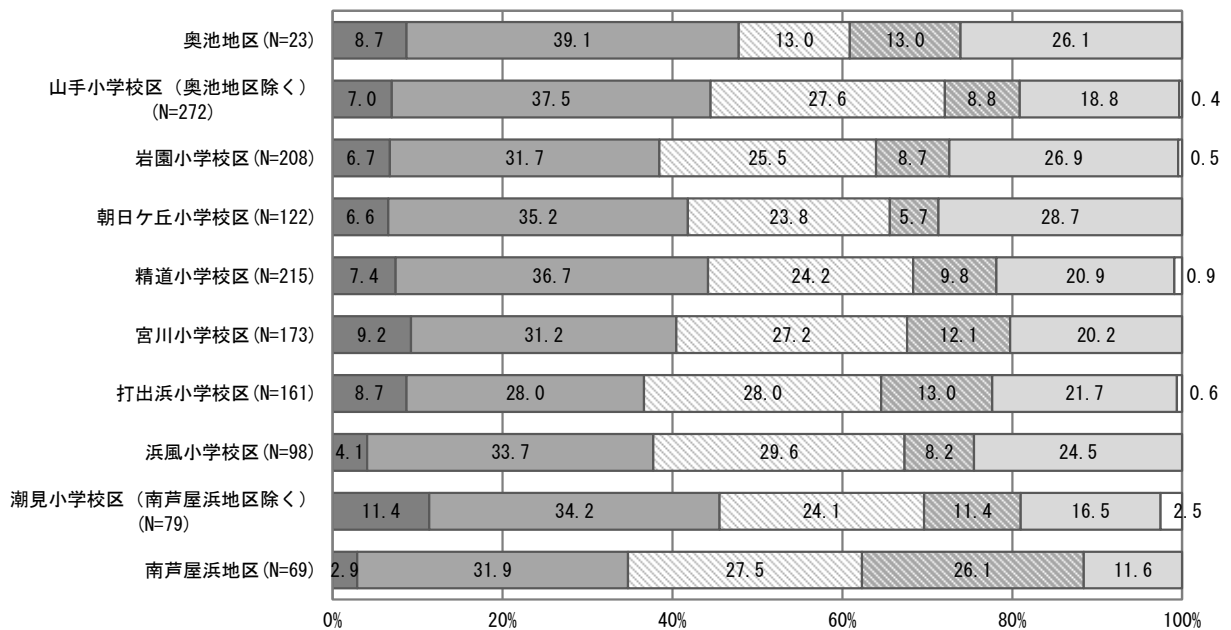


図 42 施策目標の評価（施策目標⑦：地区別）

⑧日常の安全安心が確保されている

◆「やや満足」が 45.9%と最も高く、「満足」20.7%と合わせると、66.6%が肯定的意見となっており、「やや不満」18.7%、「不満」6.6%を合わせた否定的意見 25.3%の 2.5 倍を上回っている。

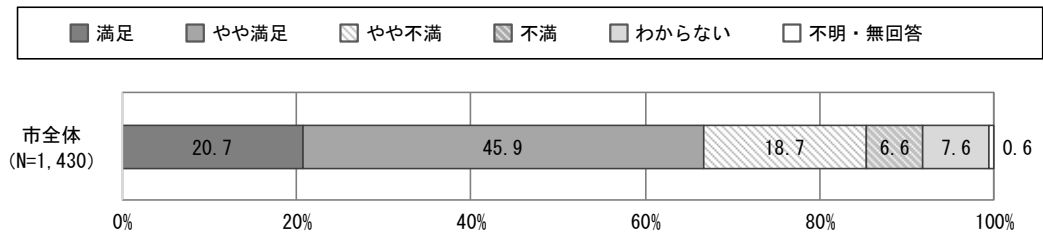


図 43 施策目標の評価（施策目標⑧）

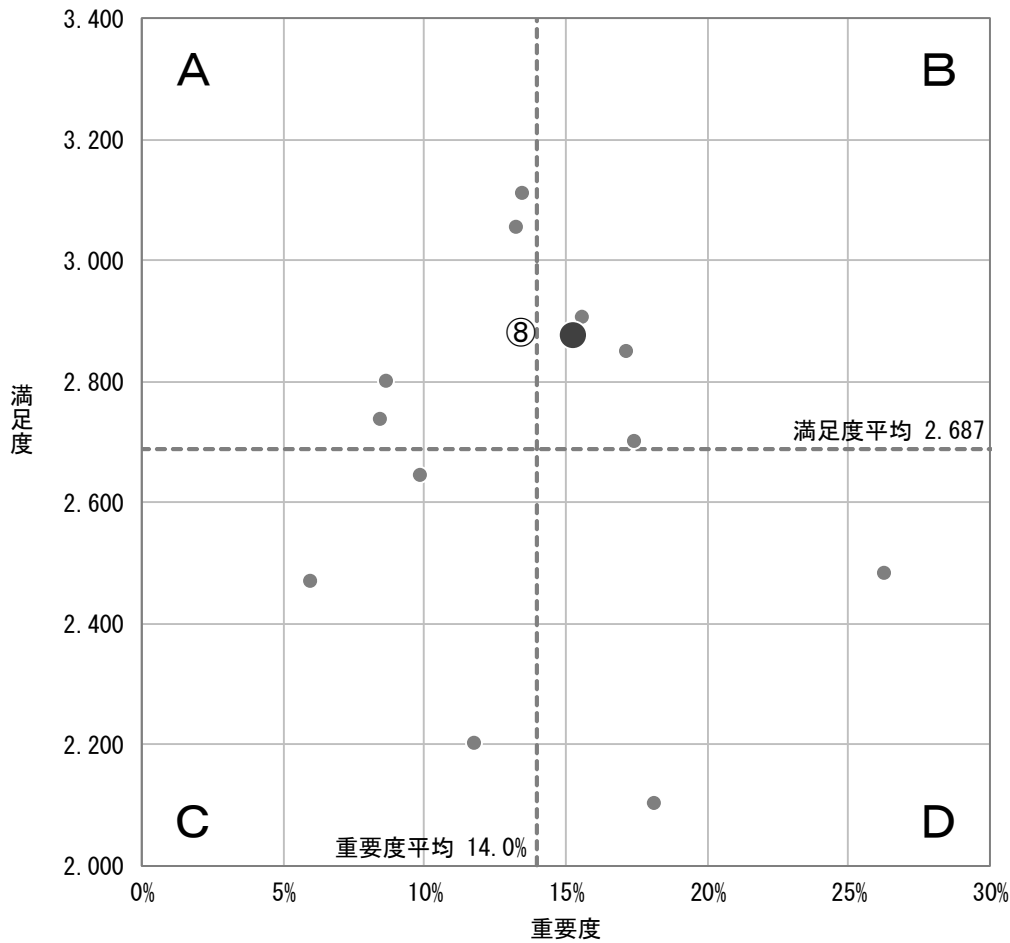


図 44 満足度と重要度の散布図（施策目標⑧）

◆性別では、大きな差はみられない。

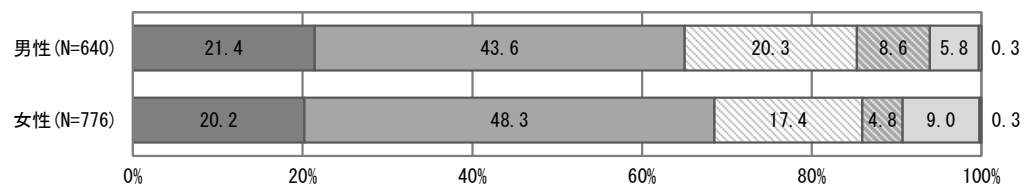


図 45 施策目標の評価（施策目標⑧：性別）

- ◆年代別では、肯定的意見に大きな差はみられないが、否定的意見について60歳代が最も高い。
- ◆「満足」については、20歳代が最も高く、60歳代が最も低い。

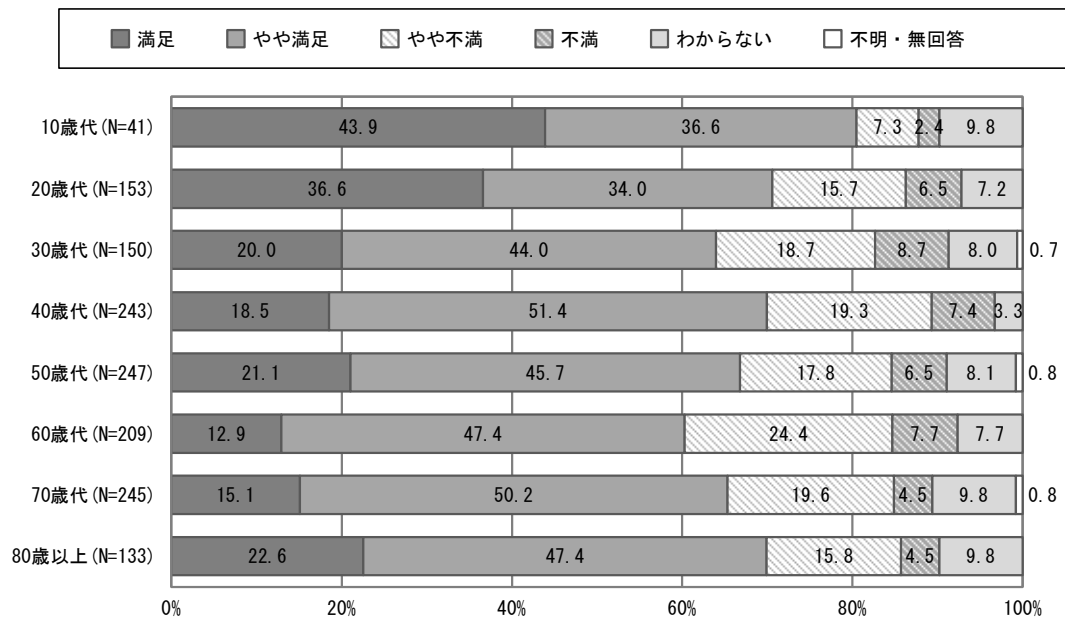


図 46 施策目標の評価（施策目標③：年代別）

- ◆地区別では、肯定的意見について、南芦屋浜地区が最も高く、宮川小学校区が最も低い。

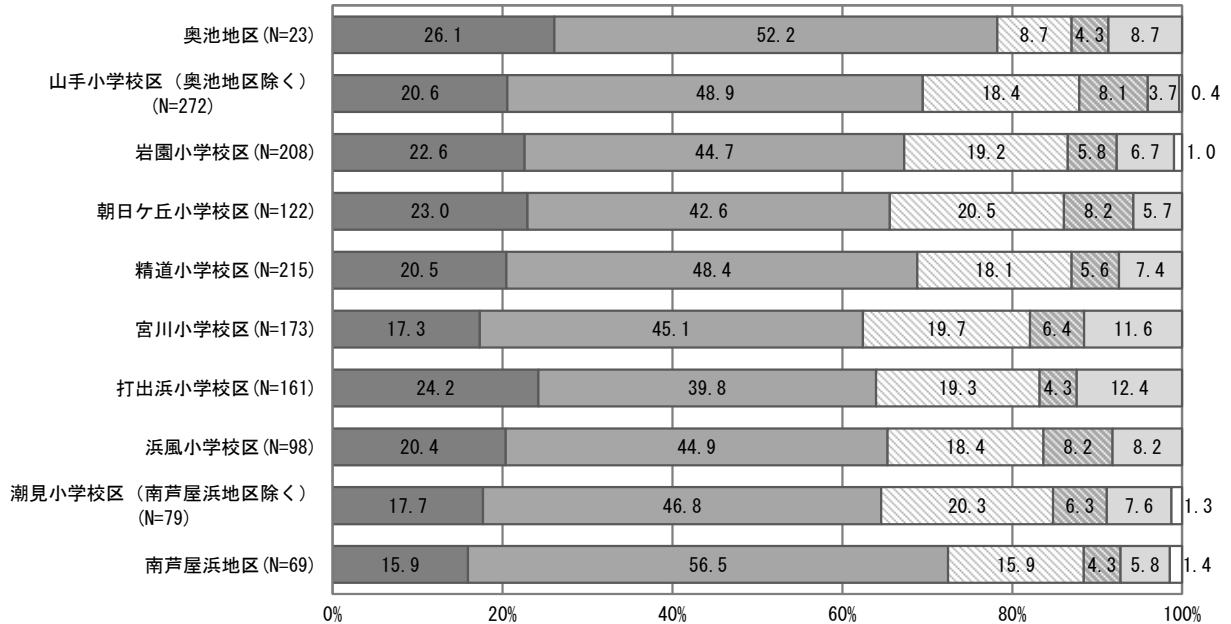


図 47 施策目標の評価（施策目標③：地区別）

⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている

◆「やや満足」が 45.8%と最も高く、「満足」32.7%と合わせると、78.5%が肯定的意見となっており、「やや不満」11.5%、「不満」5.3%を合わせた否定的意見 16.8%の 4.5 倍を上回っている。

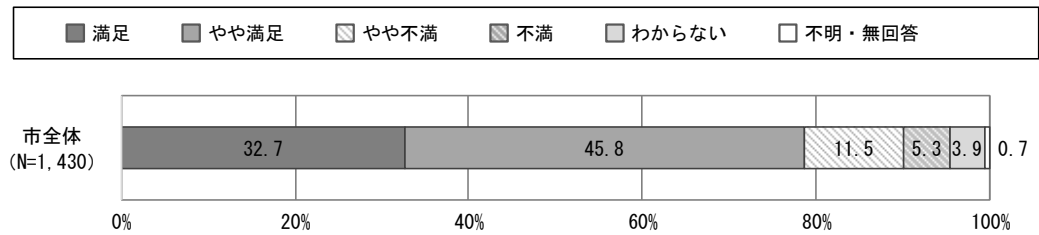


図 48 施策目標の評価（施策目標⑨）

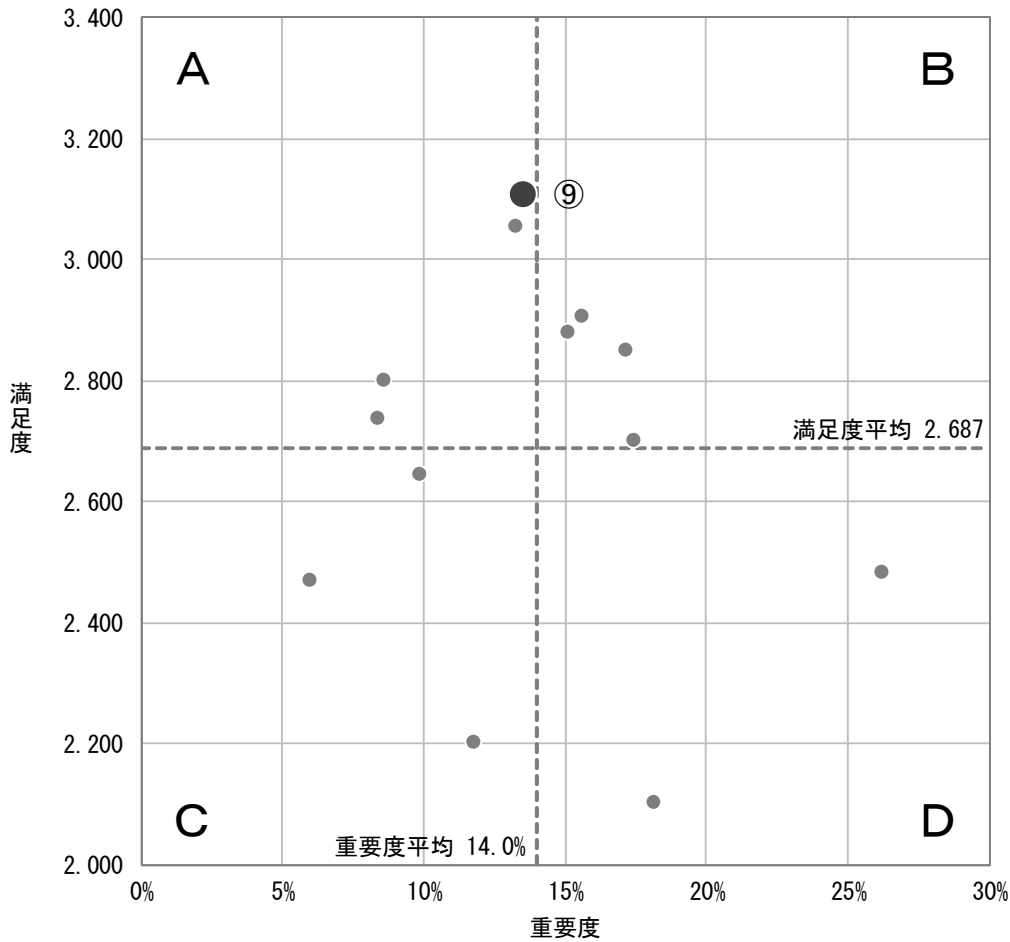


図 49 満足度と重要度の散布図（施策目標⑨）

◆性別では、大きな差はみられない。

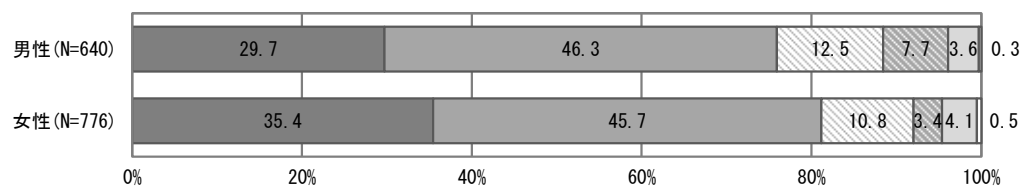


図 50 施策目標の評価（施策目標⑨：性別）

◆年代別では、肯定的意見に大きな差はみられないが、「満足」について20歳代が最も高く、60歳代が最も低い。

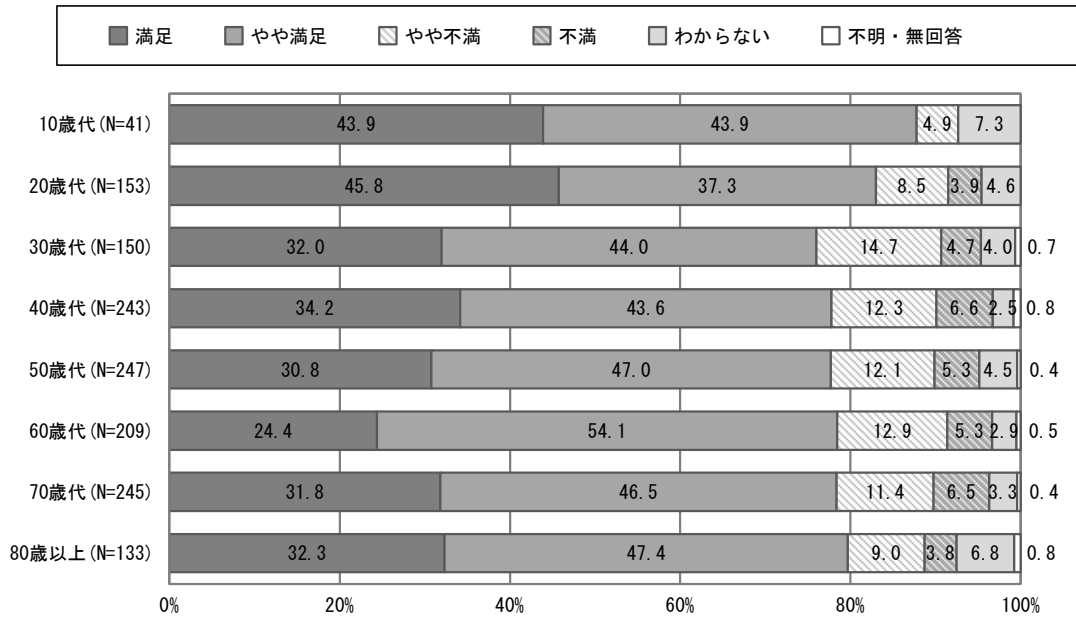


図 51 施策目標の評価（施策目標⑨：年代別）

◆地区別では、肯定的意見について、浜風小学校区が最も高く、宮川小学校区が最も低い。

◆南芦屋浜地区では「不満」の回答がみられなかった

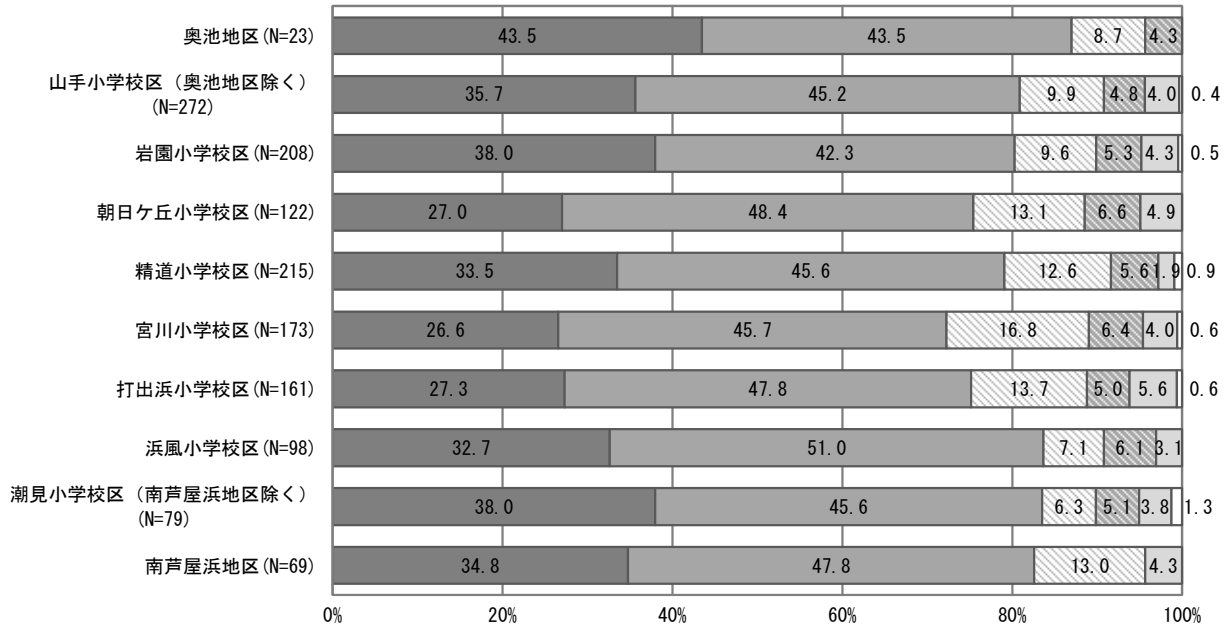


図 52 施策目標の評価（施策目標⑨：地区別）

⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる

◆「やや満足」が47.1%と最も高く、「満足」23.4%と合わせると、70.5%が肯定的意見となっており、「やや不満」16.0%、「不満」8.1%を合わせた否定的意見24.1%の2倍を上回っている。

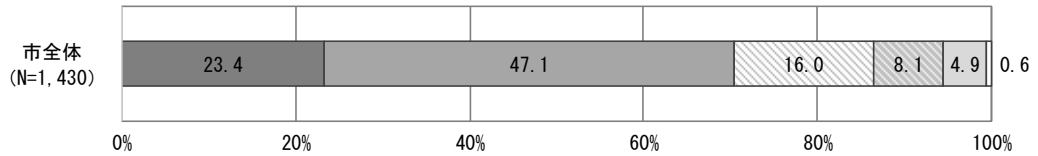


図 53 施策目標の評価（施策目標⑩）

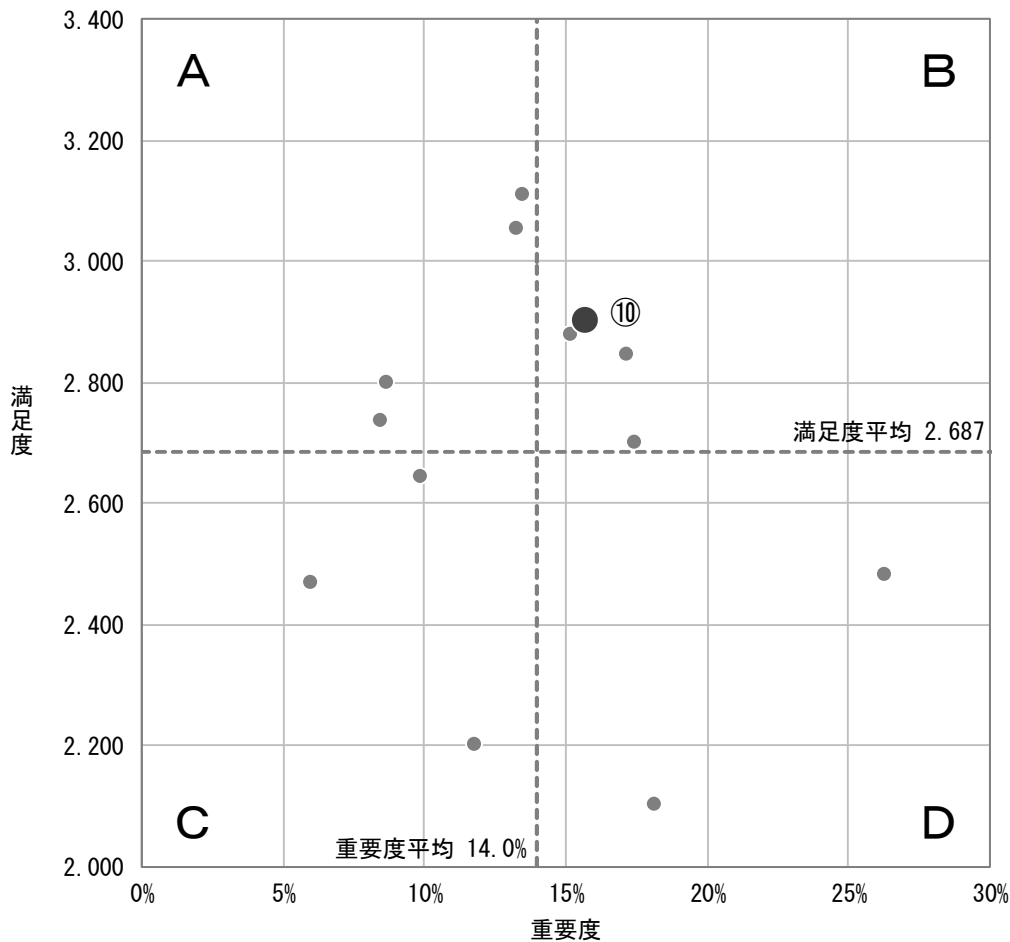


図 54 満足度と重要度の散布図（施策目標⑩）

◆性別では、否定的意見について、男性の方が高い。

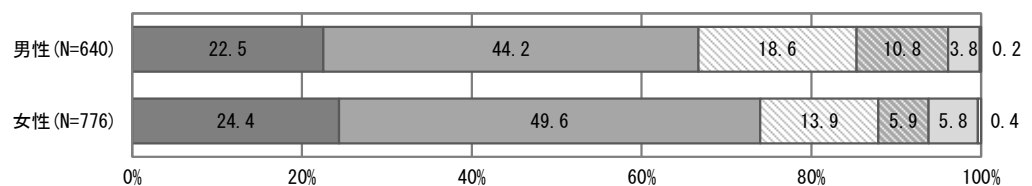


図 55 施策目標の評価（施策目標⑩：性別）

◆年代別では、否定的意見について、60歳代が最も高く、80歳以上が最も低い。

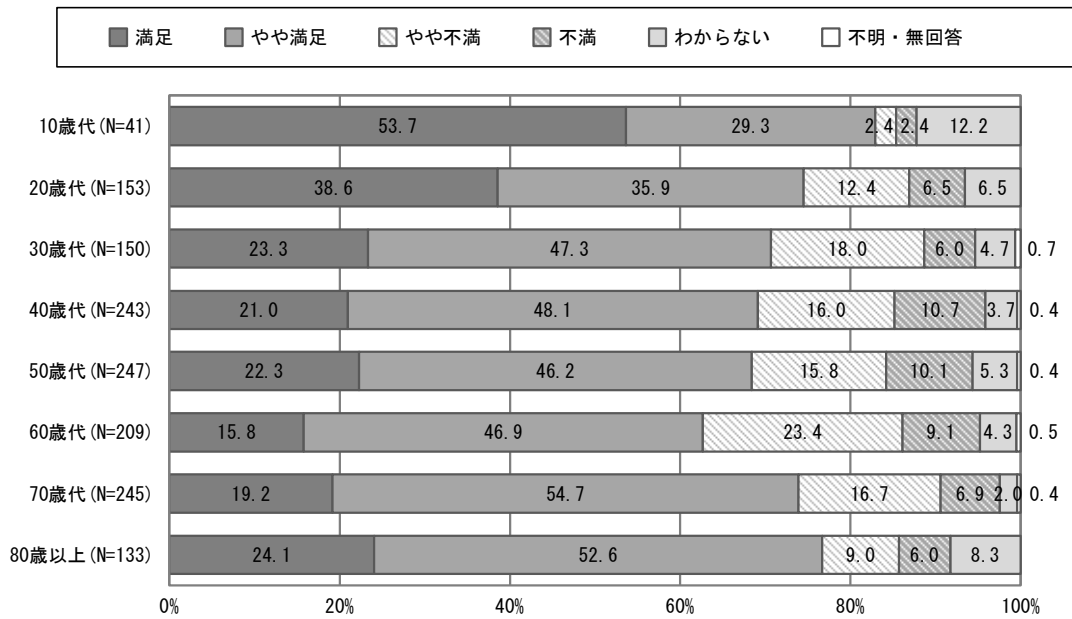


図 56 施策目標の評価（施策目標⑩：年代別）

◆地区別では、大きな差はみられないが、肯定的意見について、南芦屋浜地区が最も高く、浜風小学校が最も低い。

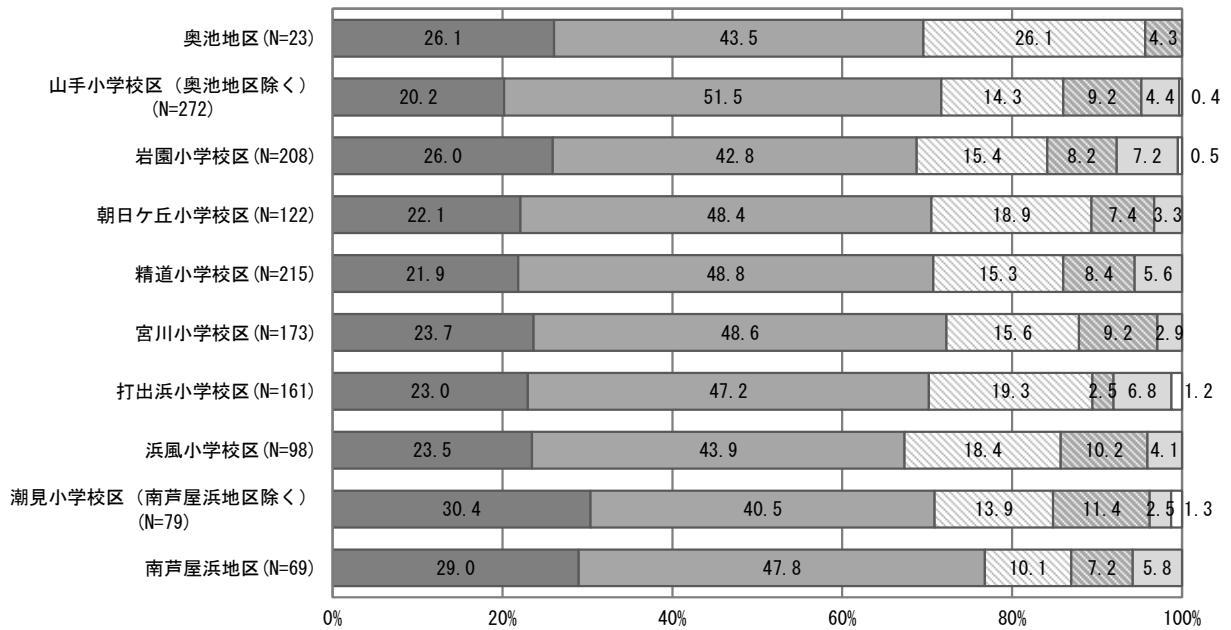


図 57 施策目標の評価（施策目標⑩：地区別）

①協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる

- ◆ 「わからない」が31.6%と最も高い。
- ◆ 「満足」5.6%、「やや満足」29.8%を合わせた肯定的意見35.4%は、「やや不満」22.9%、「不満」9.3%を合わせた否定的意見32.2%より高い。

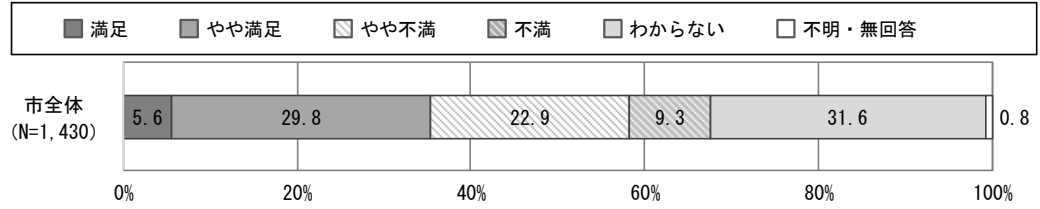


図 58 施策目標の評価（施策目標①）

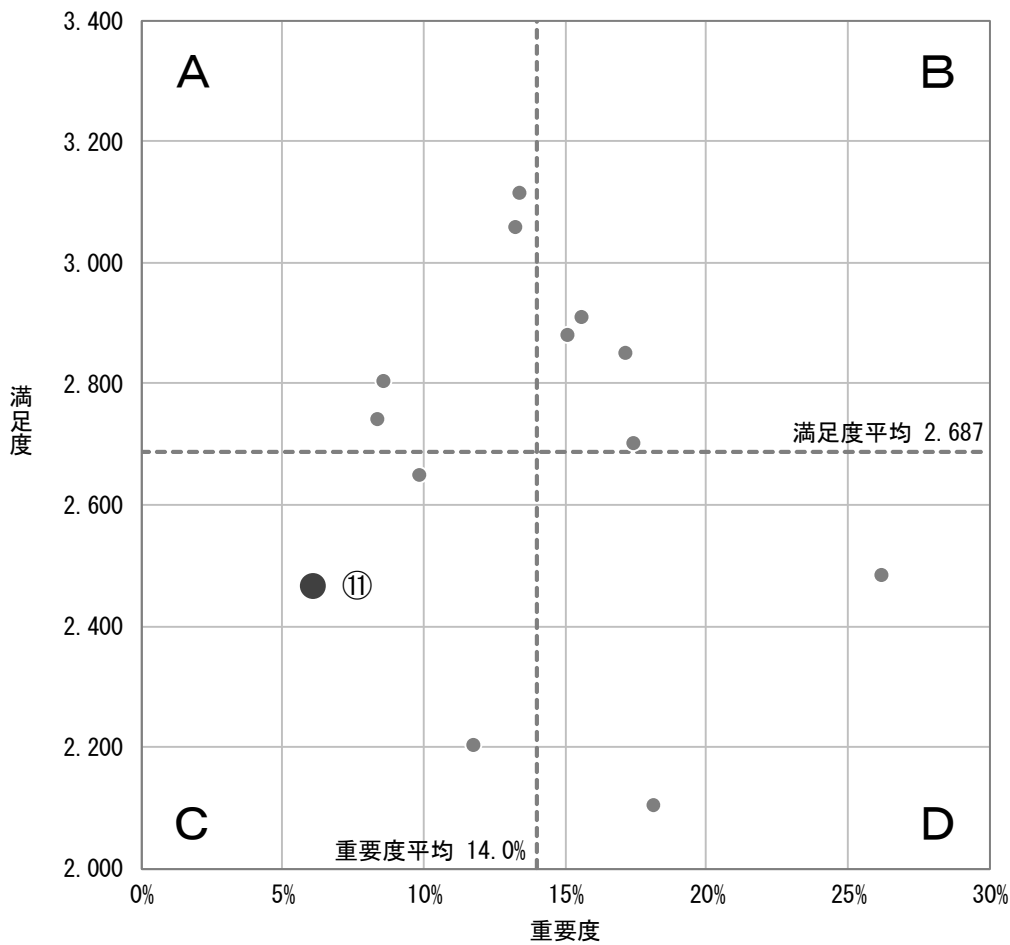


図 59 満足度と重要度の散布図（施策目標①）

- ◆ 性別では、男性は肯定的意見よりも否定的意見の方が高く、女性は否定的意見よりも肯定的意見の方が高い。

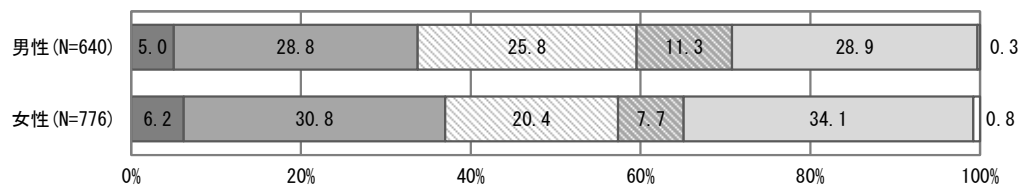


図 60 施策目標の評価（施策目標①：性別）

◆年代別で大きな差はみられないが、50歳代、60歳代は、肯定的意見よりも否定的意見の方が高い。

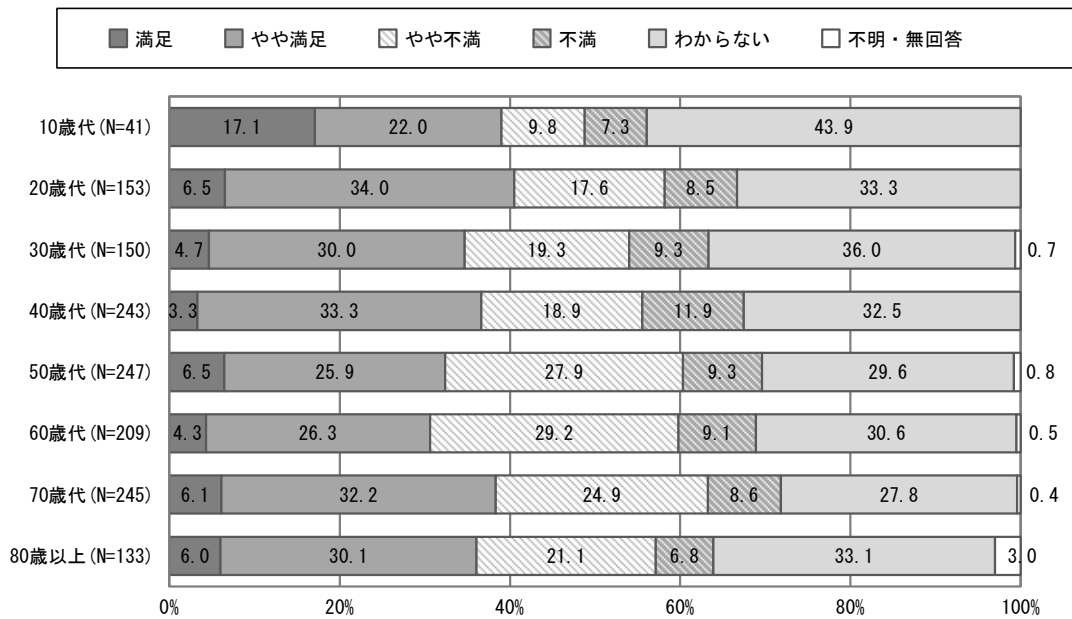


図 61 施策目標の評価（施策目標⑪：年代別）

◆地区別で大きな差はみられないが、山手小学校区、精道小学校区において、肯定的意見よりも否定的意見の方が高い。

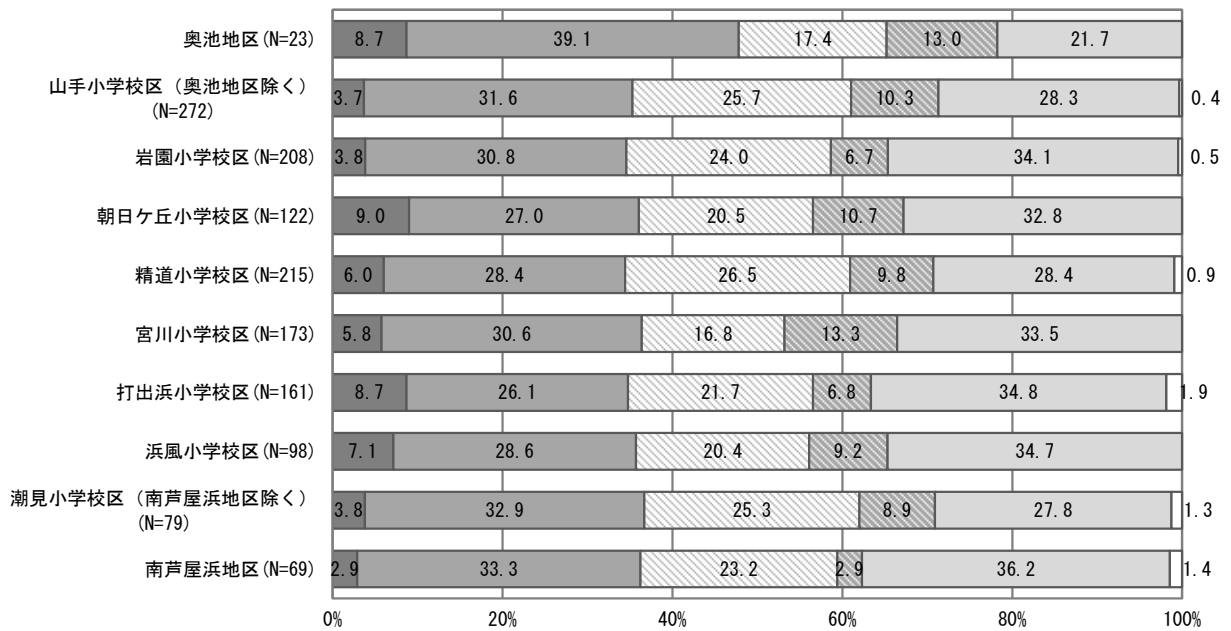


図 62 施策目標の評価（施策目標⑪：地区別）

⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている

- ◆「わからない」が37.5%と最も高い。
- ◆「やや不満」26.3%、「不満」15.7%を合わせた否定的意見42.0%は、「満足」2.4%、「やや満足」17.1%を合わせた肯定的意見19.5%より高い。

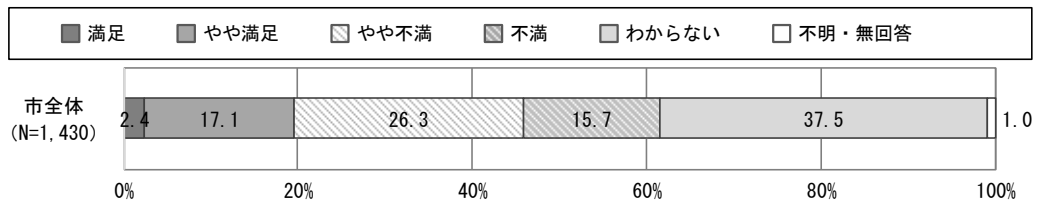


図 63 施策目標の評価（施策目標⑫）

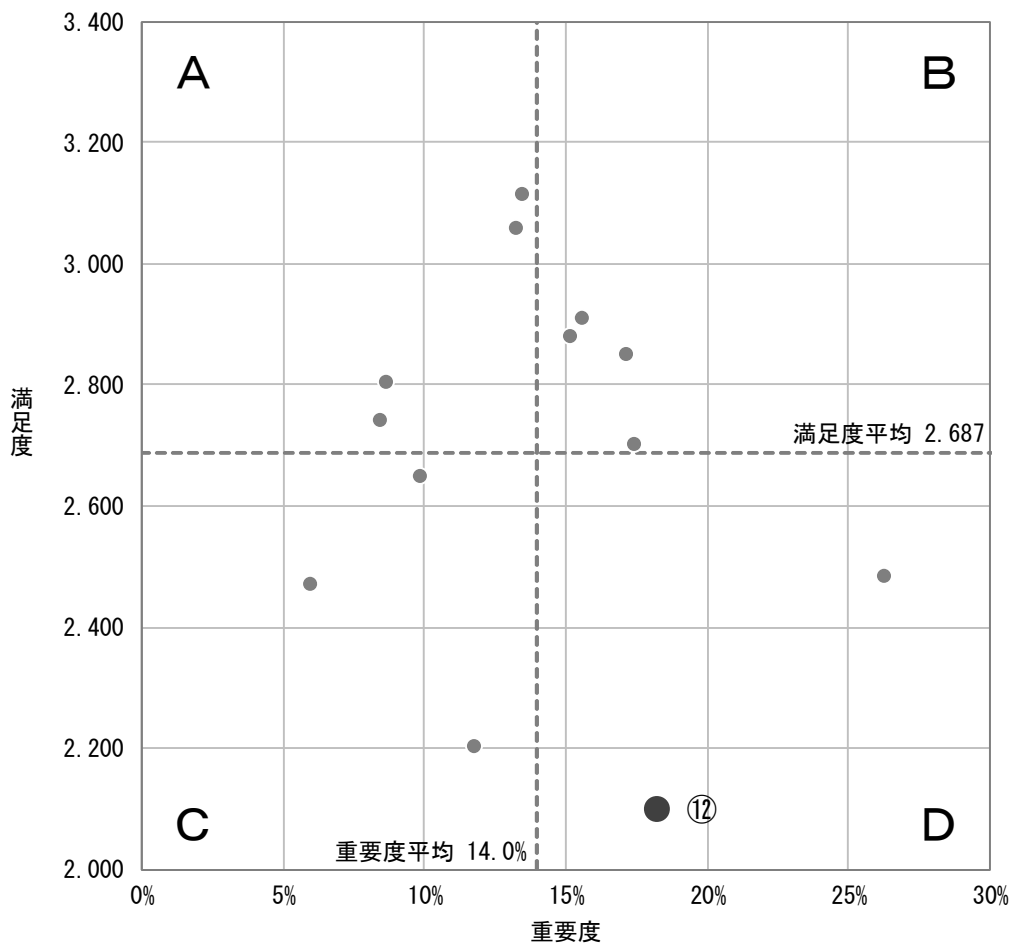


図 64 満足度と重要度の散布図（施策目標⑫）

- ◆性別では、否定的意見について、女性よりも男性の方が高い。
- ◆女性は、肯定的意見、否定的意見と比べ、「わからない」が最も高い。

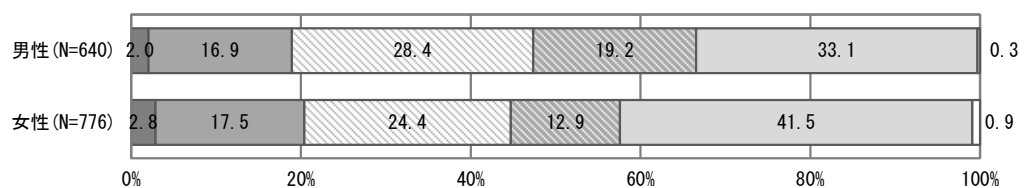


図 65 施策目標の評価（施策目標⑫：性別）

- ◆年代別では、否定的意見について、50歳代が最も高く、80歳以上が最も低い。
- ◆20歳代、70歳代、80歳以上は、肯定的意見、否定的意見と比べ、「わからない」が最も高い。

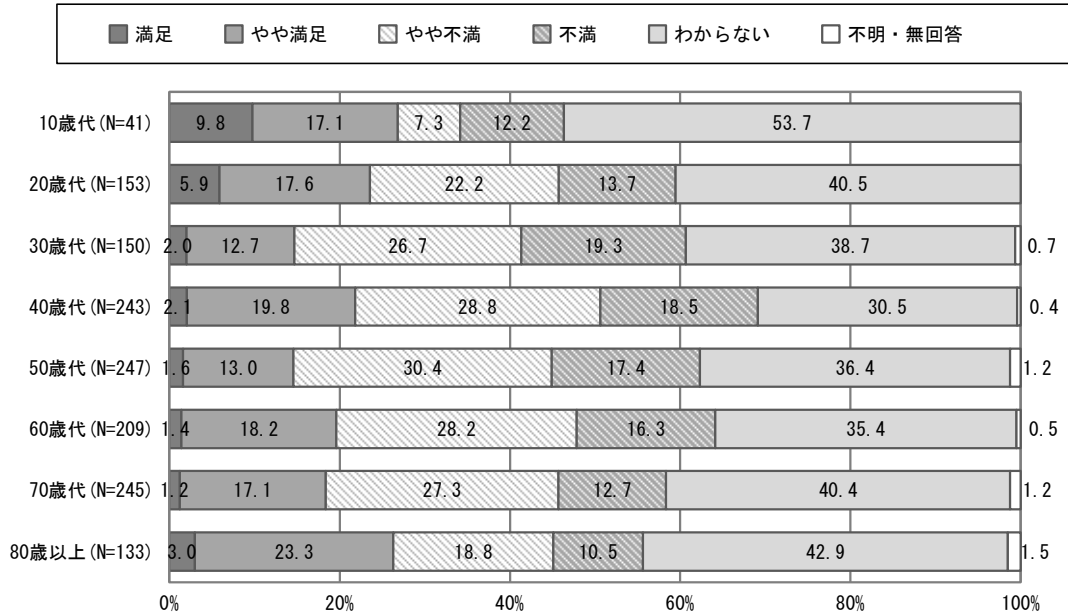


図 66 施策目標の評価（施策目標⑫：年代別）

- ◆地区別では、否定的意見について、山手小学校区が最も高く、打出浜小学校区が最も低い。
- ◆打出浜小学校区、南芦屋浜地区は、肯定的意見、否定的意見と比べ、「わからない」が最も高い。

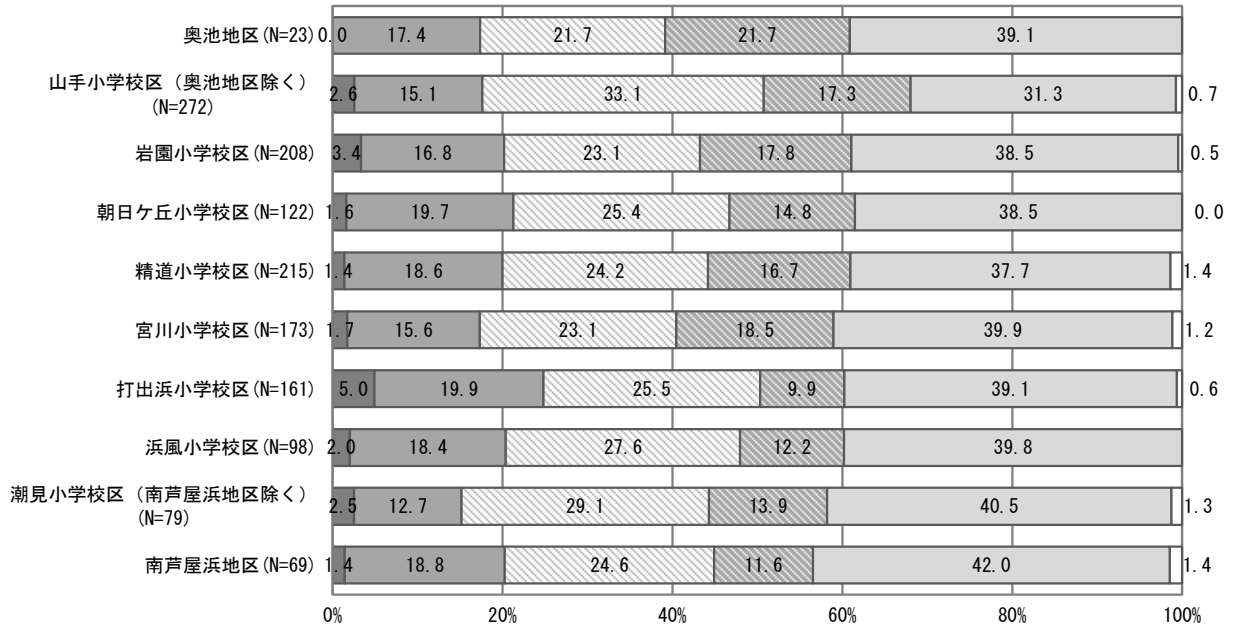


図 67 施策目標の評価（施策目標⑫：地区別）

⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている

- ◆ 「わからない」が39.5%と最も高い。
- ◆ 「やや不満」23.7%、「不満」13.7%を合わせた否定的意見37.4%は、「満足」3.4%、「やや満足」19.0%を合わせた肯定的意見22.3%より高い。

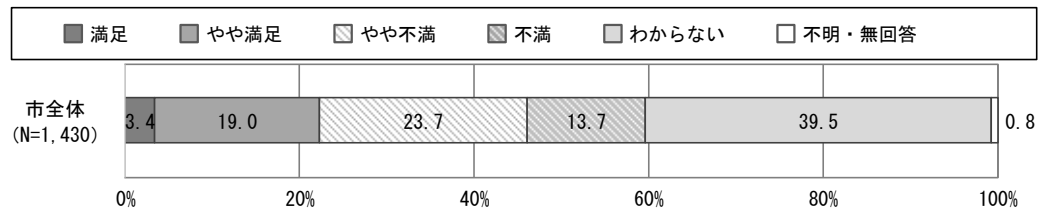


図 68 施策目標の評価（施策目標⑬）

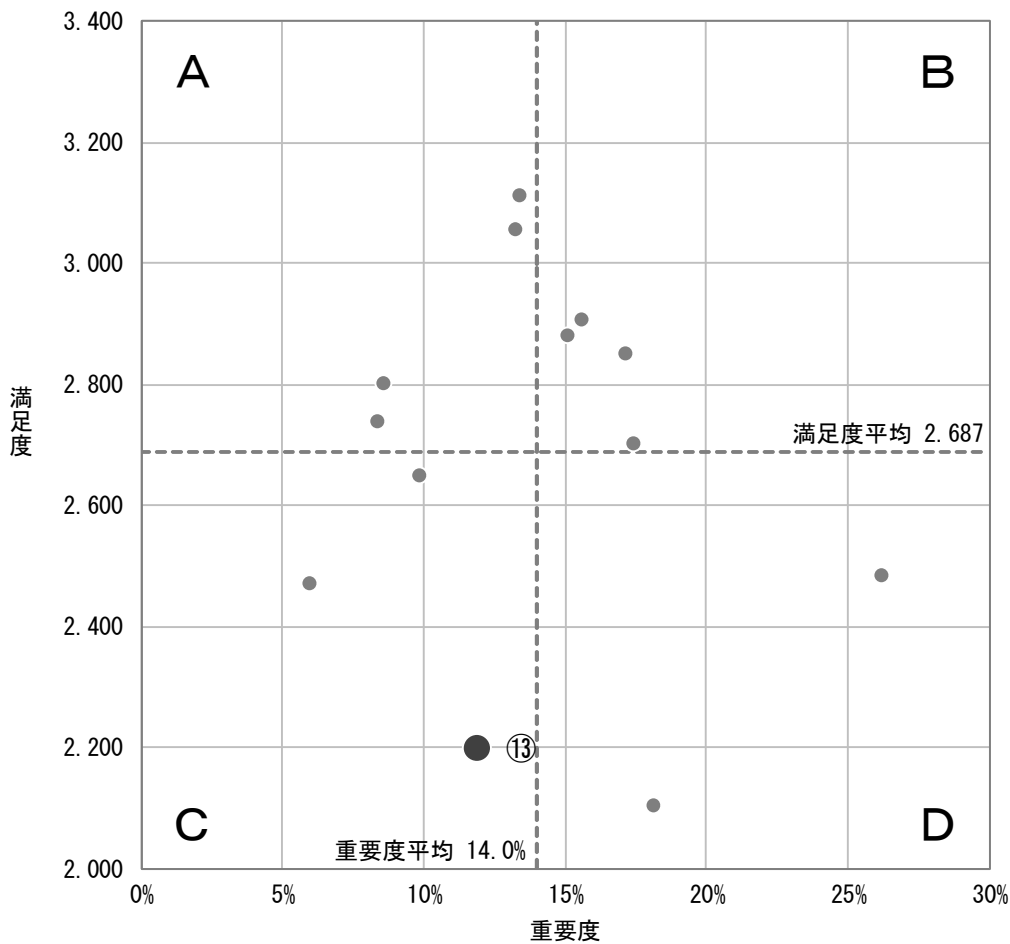


図 69 満足度と重要度の散布図（施策目標⑬）

- ◆ 性別では、否定的意見について、男性の方が高い。
- ◆ 女性は、肯定的意見、否定的意見と比べ、「わからない」が最も高い。

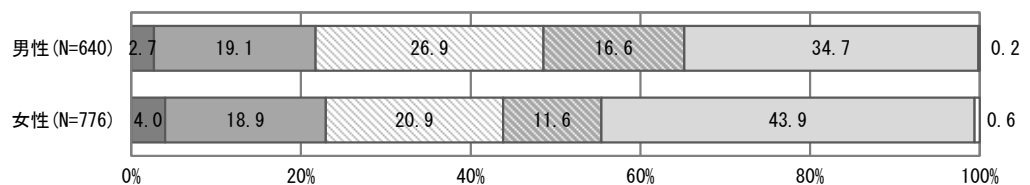


図 70 施策目標の評価（施策目標⑬：性別）

- ◆年代別では、否定的意見について、50歳代が最も高く、80歳以上が最も低い。
- ◆20歳代、30歳代、80歳以上は、肯定的意見、否定的意見と比べ、「わからない」が最も高い。

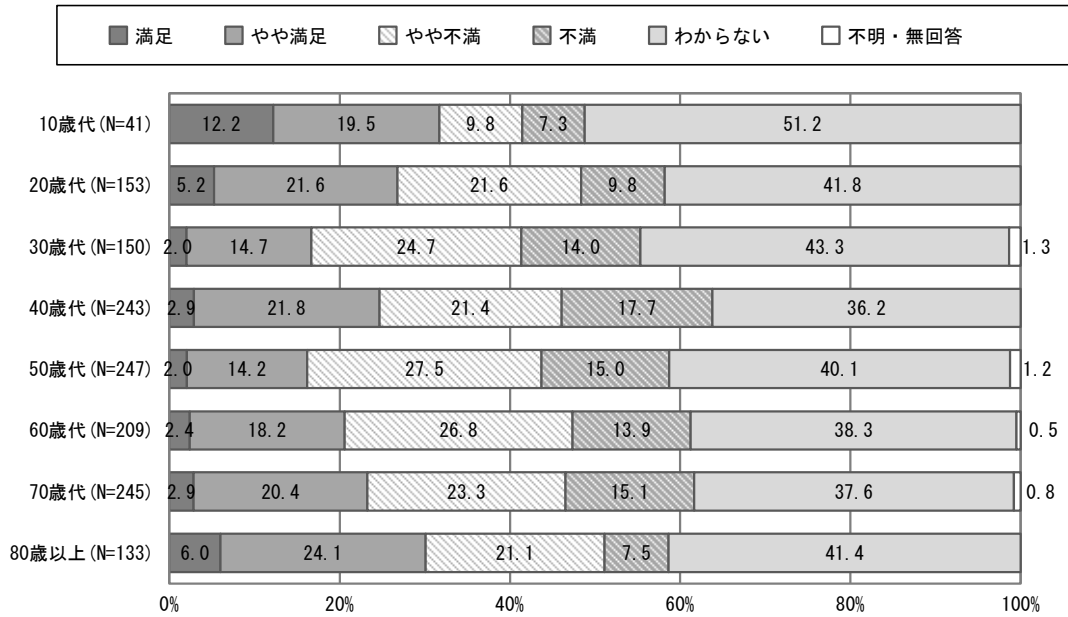


図 71 施策目標の評価（施策目標⑬：年代別）

- ◆地区別では、肯定的意見について浜風小学校区が最も高く、打出浜小学校区が最も低い。
- ◆岩園小学校区、朝日ヶ丘小学校区、宮川小学校区、打出浜小学校区、潮見小学校区、南芦屋浜地区は、肯定的意見、否定的意見と比べ、「わからない」が最も高い。

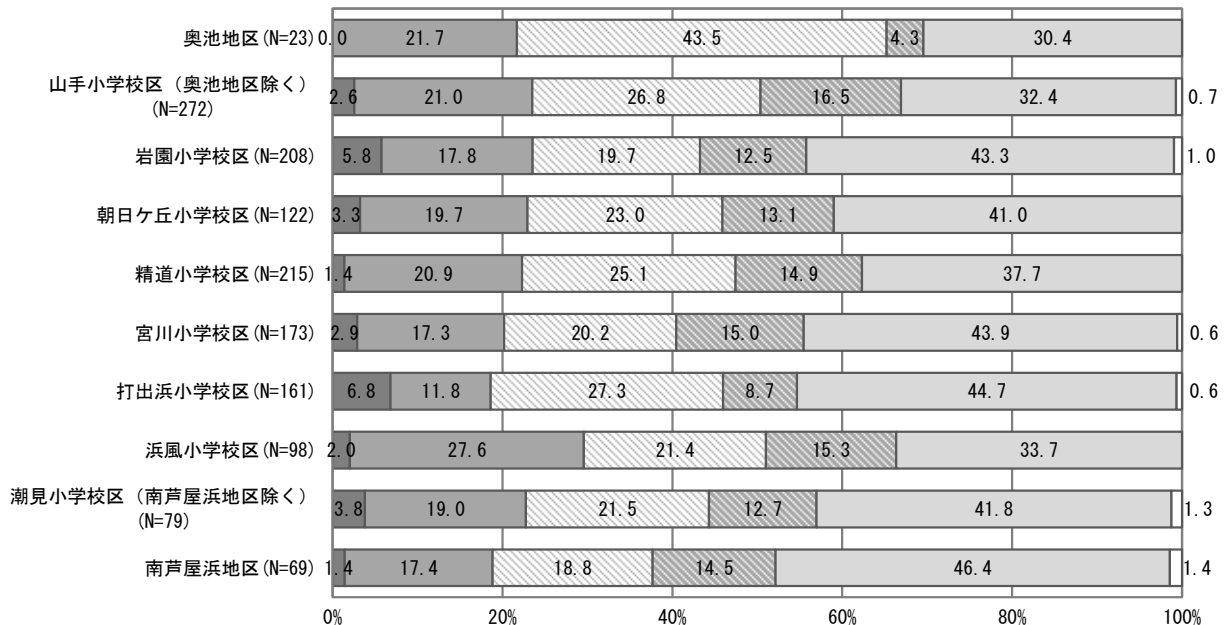


図 72 施策目標の評価（施策目標⑬：地区別）

問2 問1にある13の施策目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後特に力を入れて取り組むべきと思われる番号を問1の表の中から3つ以内で選んで、下記に数字をご記入ください。また、理由やご意見をお聞かせください。

◆ 「⑦災害に強い安全なまちづくりが進んでいる」が26.3%と最も高く、「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」が18.2%、「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が17.5%、「①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している」が17.2%と続いている。

	項目	回答数	割合
①	誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	246	17.2
②	未来への道を切り拓く力が育っている	142	9.9
③	生涯を通じた学びの文化が醸成されている	124	8.7
④	あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	250	17.5
⑤	健康になるまちづくりが進んでいる	121	8.5
⑥	良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	190	13.3
⑦	災害に強いまちづくりが進んでいる	376	26.3
⑧	日常の安全安心が確保されている	217	15.2
⑨	住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	193	13.5
⑩	持続可能なインフラ整備が進んでいる	224	15.7
⑪	協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる	86	6.0
⑫	人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	260	18.2
⑬	急速な社会変化に対応できる組織になっている	169	11.8
	不明・無回答	330	23.1
	合計	1,430	100.0

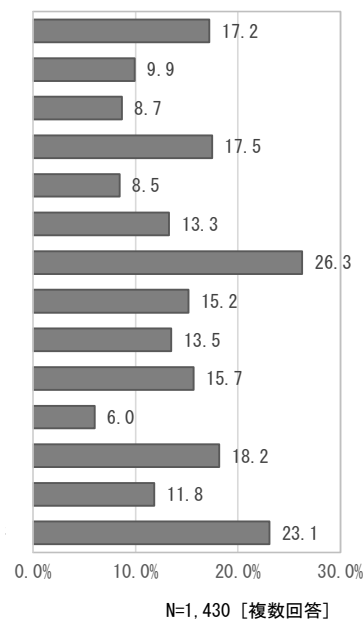


図 73 力を入れて取り組むべき施策目標

- ◆性別では、男女ともに「⑦災害に強いまちづくりが進んでいる」が最も高く、次いで、男性は「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」、女性は「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が高い。
- ◆年代別では、30歳代は「①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している」、それ以外の年代では「⑦災害に強いまちづくりが進んでいる」が最も高い。
- ◆地区別では、岩園小学校区は「⑧日常の安全安心が確保されている」、浜風小学校区は「⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる」、それ以外の地区では、「⑦災害に強いまちづくりが進んでいる」が最も高い。

(位)

	⑦	⑫	④	①	⑩	⑧	⑨	⑥	⑬	②	③	⑤	⑪
	災害に強いまちづくりが進んでいる	人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	持続可能なインフラ整備が進んでいる	日常の安全安心が確保されている	住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	良質な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	急速な社会変化に対応できる組織になっている	未来への道を切り拓く力が育っている	生涯を通じた学びの文化が醸成されている	健康になるまちづくりが進んでいる	協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる
市全体 (N=1,377)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
性別													
男性 (N=587)	1	2	7	4	3	5	6	9	8	10	11	12	13
女性 (N=775)	1	4	2	3	7	5	8	6	9	11	12	10	13
年代別													
10歳代 (N=25)	1	7	4	2	4	3	8	8	8	4	8	12	12
20歳代 (N=111)	1	2	6	2	4	5	10	8	7	9	12	11	13
30歳代 (N=177)	2	3	4	1	6	5	8	7	10	8	11	12	13
40歳代 (N=264)	1	2	4	3	5	8	6	7	10	9	10	12	13
50歳代 (N=226)	1	4	2	8	5	7	6	2	9	10	13	12	10
60歳代 (N=206)	1	4	3	8	5	2	7	9	6	12	10	11	13
70歳代 (N=262)	1	5	2	9	6	7	4	12	3	8	9	9	13
80歳以上 (N=96)	1	4	10	4	3	4	8	7	10	12	9	2	12
地区別													
奥池地区 (N=12)	2	11	1	2	11	5	2	5	8	8	8	5	13
山手小学校区 (N=286)	1	3	2	3	5	7	8	9	6	11	12	10	13
岩園小学校区 (N=178)	2	4	6	6	5	1	3	8	11	12	9	9	13
朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	1	2	2	8	7	6	5	2	10	10	8	12	13
精道小学校区 (N=207)	1	3	5	2	4	6	8	6	9	10	11	12	12
宮川小学校区 (N=167)	1	6	2	4	7	4	7	3	10	9	10	12	13
打出浜小学校区 (N=132)	1	3	4	2	7	5	6	7	10	9	11	12	12
浜風小学校区 (N=107)	2	3	3	5	1	7	11	9	7	6	13	11	9
潮見小学校区 (N=86)	1	2	5	10	2	7	5	11	4	7	11	9	13
南芦屋浜地区 (N=69)	1	2	2	2	7	9	7	5	5	10	12	10	13

図 74 今後特に力を入れて取り組むべきと思われる項目（性別、年代別、地区別）【順位】

施策の目標を選んだ理由や意見

今後特に力を入れて取り組むべきと考える施策の目標を選んだ理由や主なご意見では、次のようなものがあった。

【総括】

- 全 13 施策目標に対して、延べ件数で 1,709 件の意見が得られた。
- 全体的に「若年層の少なさと高齢化」、「道路などインフラ環境」、「災害対策」、「高齢者福祉」に関する意見が多くなっている。
- 以下 4 つの施策目標について、150 件以上の意見が得られた。
 - <第 1 位>⑦災害に強いまちづくりが進んでいる (243 件)
 - <第 2 位>①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している (172 件)
 - <第 2 位>⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる (172 件)
 - <第 4 位>⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている (156 件)

【施策目標ごとの記述項目と具体的意見の例】

① 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している (意見数 172 件)

【主な記述項目】

- ・ 芦屋に住みたい若い世代を増やすまちづくり (13 件)
- ・ 安心して子育てができる環境の整備 (12 件)
- ・ 保育所の増設整備・充実 (地域バランス, 駅近く等) (11 件)
- ・ 子どもや子育て政策は重要 (10 件)

【具体的な意見 (例)】

- ・ 環境の良さと子育て支援が充実していれば, 他都市から人口が流入し, 長く居住する市民が増える。
- ・ 市内で出産, 教育, 子育てが完結できるように, 医療も含め, 更なる環境・制度の充実を期待したい。
- ・ 引っ越ししてきたときに, 保育所がいっぱい困った。

② 未来への道を切り拓く力が育っている (意見数 94 件)

【主な記述項目】

- ・ 学校教育の質の向上 (17 件)
- ・ 子どもの内面や人間性を育てる教育 (11 件)
- ・ 若者が少なく, 高齢化が進んでいる (7 件)

【具体的な意見 (例)】

- ・ 小・中学校の教育の質のレベルアップ, 先進機能を活用した教育システムの導入など。
- ・ 従来の学校教育のみならず, 未来を担う子ども達の内面を育む場の必要性を感じる。
- ・ 高齢者や高額納税者に意識が行き過ぎ。子育て世代の意見は後回しに感じる。予算がそちらに回っていない気がする。保育所の要望書の返答からそう思う。

③ 生涯を通じた学びの文化が醸成されている（意見数 81 件）

【主な記述項目】

- ・スポーツ施設・公園の整備（6件）
- ・図書館機能の充実・館内でのマナー啓発（6件）

【具体的な意見（例）】

- ・気軽に参加できるスポーツの場を増やしてほしい（公園でスポーツ大会など）。
- ・図書館の本を高齢者やサラリーマン等図書館に行けない人も借りやすい仕組みがほしい。

④ あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる（意見数 149 件）

【主な記述項目】

- ・高齢者が暮らしやすいまちづくり（住居、買い物等）（15件）
- ・歩道・駅・横断歩道のバリアフリー化（14件）
- ・高齢者や障がいのある人が住みやすいまちではない（7件）
- ・移動手段の確保、コミュニティバス運行、タクシー割引、高齢者運転支援技術開発、高齢者免許返納促進（7件）

【具体的な意見（例）】

- ・高齢者が安心して暮らせるサービス。
- ・特に芦屋川沿いの歩道がせまく（月若橋周辺）、ベビーカー、シニアカーなど、通れないようだ。その他、段差があり、老人がシルバーカーで歩けないらしい。
- ・高齢者、障がいのある人のための環境が整っていない。
- ・市内のバスの本数や範囲が少なく、特に高齢者などがのびのびと生活することが難しく感じる時があります。

⑤ 健康になるまちづくりが進んでいる（意見数 89 件）

【主な記述項目】

- ・健康づくりのための施設の整備・充実（14件）
- ・健康診断の充実（対象年齢の引き下げ、低額化、無料化）（10件）
- ・高齢者の健康維持施策の充実（7件）

【具体的な意見（例）】

- ・市民がもっと気軽にスポーツができる施設を増やしてほしい。
- ・安価（無料）で人間ドック等の検査が受けられるようになってほしい。
- ・高齢者の健康を保ち病気にならない身体づくりをし、医療費削減へ（地域で毎週イキイキ体操等やる）。

⑥ 良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている（意見数 120 件）

【主な記述項目】

- ・芦屋らしさの維持・芦屋らしい魅力の向上（10件）
- ・JR芦屋駅周辺および南側の開発（6件）
- ・芦屋ブランドを活かしたまちづくり（5件）
- ・商業施設を増やしてほしい（5件）

【具体的な意見（例）】

- ・他市から帰ってくるとホッとする。高い建物が少なく、緑が多いせいか。引き続き芦屋独自の良さを保って欲しい。
- ・JR 芦屋駅南地区の開発を進めて欲しい。新快速が停まる駅にふさわしい芦屋で完結できる施設を造って欲しい。
- ・全国的ネームバリューがあるのはとても強み。海側は学校や企業の誘致に向いているのでは。芦屋キャンパスなどで高齢者等のリカレント教育が受けられたり、学食などが誰でも利用できたりすると楽しいです。
- ・もっと商業施設を増やしてほしい(プレミアム商品券を使う店がなかった)。ほとんど西宮に店が集中。

⑦ 災害に強いまちづくりが進んでいる（意見数 243 件）

【主な記述項目】

- ・高潮・津波対策（22 件）
- ・防災対策の充実（17 件）
- ・南海トラフ地震対策の推進（12 件）
- ・市の防災対策の情報がはまらない、わからない（12 件）

【具体的な意見（例）】

- ・一昨年の台風を教訓に海側の高潮対策を強めるべき。防災に対する協力体制には地域でバラつきがあり、それを是正する。
- ・災害が多くなっている時代、防災の面で力を入れてもらいたい。
- ・近く起こる東南海地震に向け、災害に強いまちづくりを最優先にしてほしいです。
- ・災害に強いまちづくりであるが、具体的にどの様な取組をしているか分からないため、市民に取組の成果や報告をしてほしいと思った。

⑧ 日常の安全安心が確保されている（意見数 142 件）

【主な記述項目】

- ・安全安心は基本的な部分なので推進してほしい（10 件）
- ・街灯が少ない、まちが暗い、街灯を増やしてほしい（9 件）
- ・芦屋市民病院の充実、現診療科目・体制に不安、遠い（8 件）

【具体的な意見（例）】

- ・地域の安全は生活の重要な基盤。収入や地域によらず、快適な生活環境があることを期待したい。
- ・各町々の照明が少ない（夜間）
- ・市民病院までのアクセスが不便。送迎バスの定期運行は必要だと思います。

⑨ 住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている（意見数 141 件）

【主な記述項目】

- ・緑の多い町並みが良い、緑を増やしてほしい（14 件）
- ・住宅都市として魅力がある、施策に期待（8 件）
- ・景観の維持・向上（7 件）

- ・緑が多すぎる，管理ができていない（7件）

【具体的な意見（例）】

- ・芦屋市全体の緑化や数十年単位でのまちなみにとけこむ樹木の育成など期待。
- ・芦屋市が内外に誇れる最大のポイントなので，さらに充実させたい。
- ・他の市にはない芦屋市ならではの魅力（景観やブランド）をさらに高めて欲しい。
- ・路上の街路樹や一般住宅に植えてある木が伸びすぎて，歩道を歩けない箇所があります。改善または指導をお願いいたします。

⑩ 持続可能なインフラ整備が進んでいる（意見数 172 件）

【主な記述項目】

- ・パイプラインの継続を（17件）
- ・道路の整備・修繕（11件）
- ・歩道や歩道橋の整備・修繕（11件）

【具体的な意見（例）】

- ・維持費を徴収しても構わないので，パイプライン(ダストシュート)を存続させてほしいです。
- ・歩道の整備，敷石の凹凸，道路両端が低くなっている等。
- ・実際に事故が起こっている松ノ内町の阪急高架下に歩道を作ってほしい。片側だけでなく両側に必要だと思う。

⑪ 協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる（意見数 54 件）

【主な記述項目】

- ・自治活動に消極的な人が増えている（5件）
- ・地域のつながり・連帯感が弱い，地域での支え合いが重要（5件）
- ・情報が公開されていない，広報などでの公開希望（5件）

【具体的な意見（例）】

- ・共働き世代は忙しく，まちづくりに関心が低いのでは。
- ・社会的に核家族で人との自然なつながりが難しい。
- ・どのように情報発信されているのかがわからない。全く気付かないです。

⑫ 人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている（意見数 156 件）

【主な記述項目】

- ・若年層が住みやすいまちづくり，施策（12件）
- ・職員の人数が多い，職員の給料が高い（9件）
- ・長期的な施策，将来を考えた施策が必要（9件）

【具体的な意見（例）】

- ・若年層が生活し易い住宅環境など。
- ・財政見直し，職員数削減，構造・組織再編。
- ・企業納税が期待できない芦屋市で人口減少社会を踏まえた長期的視点での行財政運営が行なわれているか不明。取り組み策を具体化し，開示すべきである。

⑬ 急速な社会変化に対応できる組織になっている（意見数 96 件）

【主な記述項目】

- ・社会変化に対応できる体制づくり（9件）
- ・市職員の資質向上（8件）
- ・市職員の専門的知識を高める（8件）

【具体的な意見（例）】

- ・想定外のことが起きるので、対応力のある指導者が欲しい。
- ・職員が自分の担当についてもっと勉強をし、真剣に取り組んでほしいと思うときがある。
- ・異動をもう少し少なくして専門の人がいるべき。

問3 芦屋市の市政の現状をどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。※直感的に選択してください。

◆「まあうまくいっている」が66.6%と最も高く、「とてもうまくいっている」2.8%と合わせると、69.4%が肯定的意見となっており、「あまりうまくいっていない」22.4%、「うまくいっていない」4.3%を合わせた否定的意見26.8%の2倍を上回っている。

■ とてもうまくいっている ■ まあうまくいっている ▨ あまりうまくいっていない ▩ うまくいっていない □ 不明・無回答

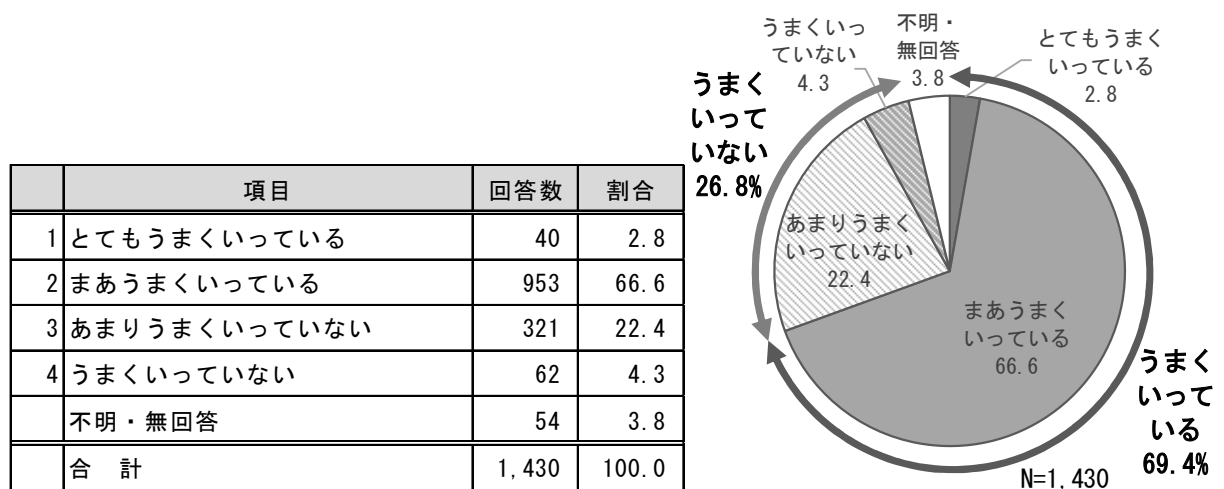


図 75 市政の現状

◆性別では、大きな差はみられない。

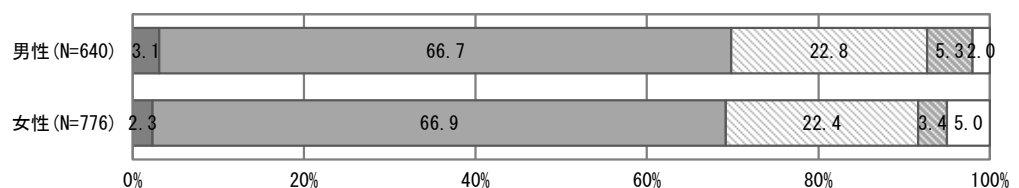


図 76 市政の現状（性別）

◆年代別では、すべての年代において肯定的意見が60%を上回っており、80歳以上が最も高く、40歳代が最も低い。

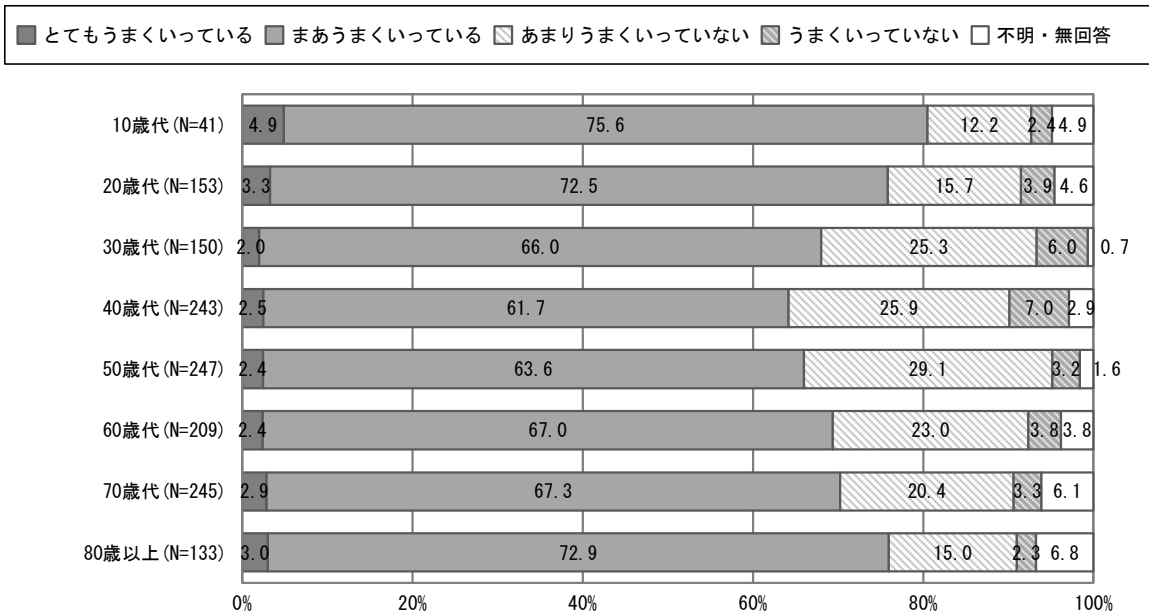


図 77 市政の現状（年代別）

◆地区別では、肯定意見について、岩園小学校区、精道小学校区が最も高く、宮川小学校区が最も低い。

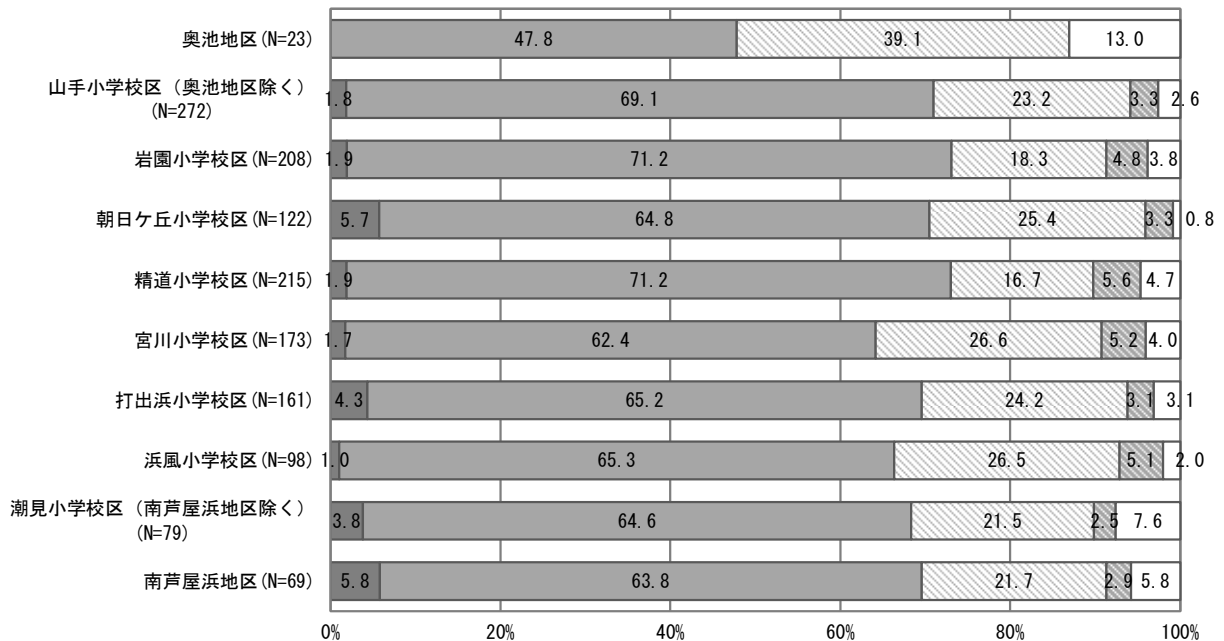


図 78 市政の現状（地区別）

Ⅲ. お住まいの地域での生活や住みやすさについておたずねします。

問4 あなたは、(転勤等による転出予定の有無に関わらず) 芦屋市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- ◆「今の場所に住み続けたい」が71.5%と最も高く、「市内の他の場所で住み続けたい」12.9%と合わせた『市内に住み続けたい』84.3%は、「いずれ市外に引っ越したい」8.4%の10倍を上回っている。
- ◆前回調査との比較では、大きな差はみられない。

	項目	回答数	割合
1	今の場所に住み続けたい	1,022	71.5
2	市内の他の場所で住み続けたい	184	12.9
3	いずれ市外に引っ越したい	120	8.4
4	その他	85	5.9
	不明・無回答	19	1.3
	合計	1,430	100.0

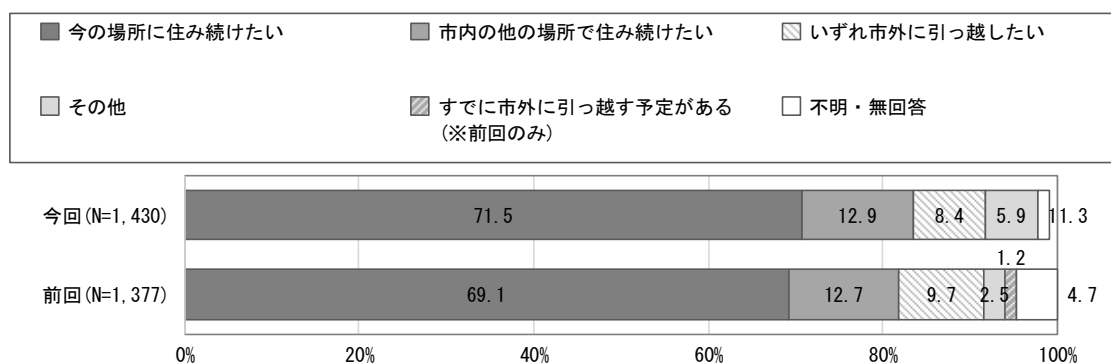


図 79 定住意向

- ◆性別では、大きな差はみられない。

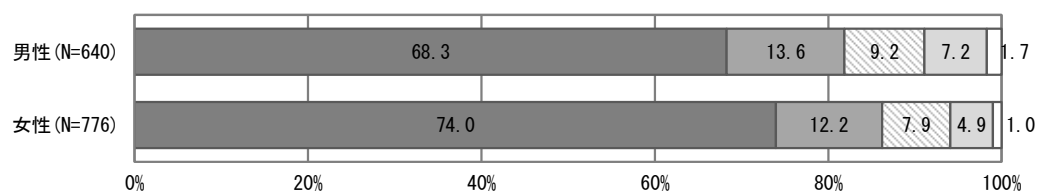


図 80 定住意向 (性別)

- ◆年代別では、30歳代、40歳代以外において、『市内に住み続けたい』が80%を上回っている。
- ◆40歳代以下において、「いずれ市外に引っ越したい」が10%以上となっている。

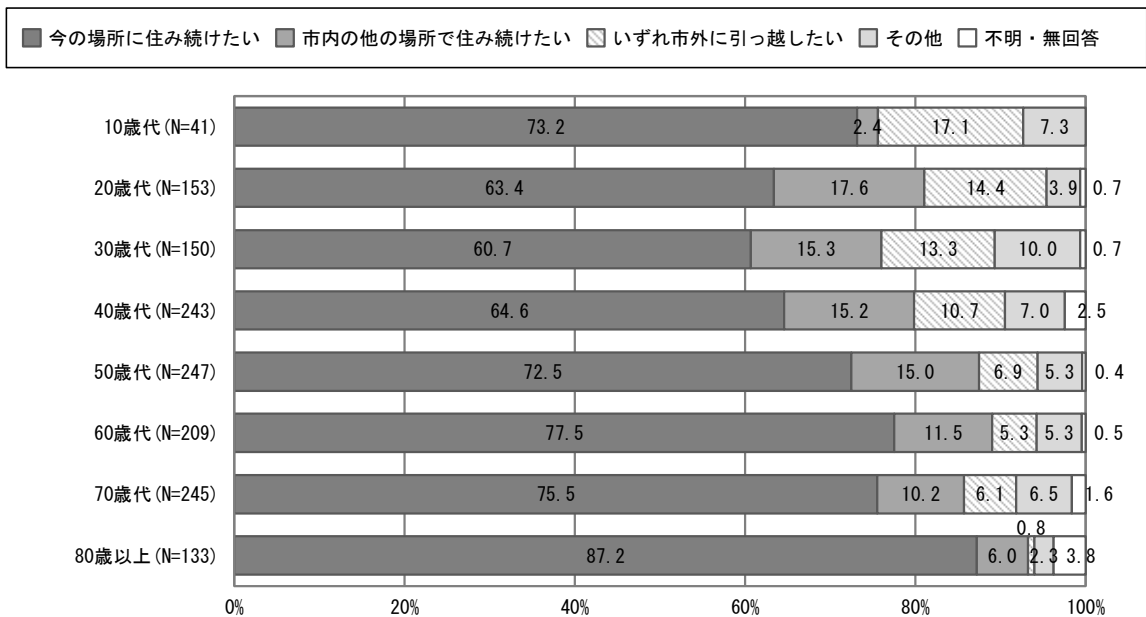


図 81 定住意向（年代別）

- ◆地区別では、大きな差はみられず、『市内に住み続けたい』が80%を上回っている。

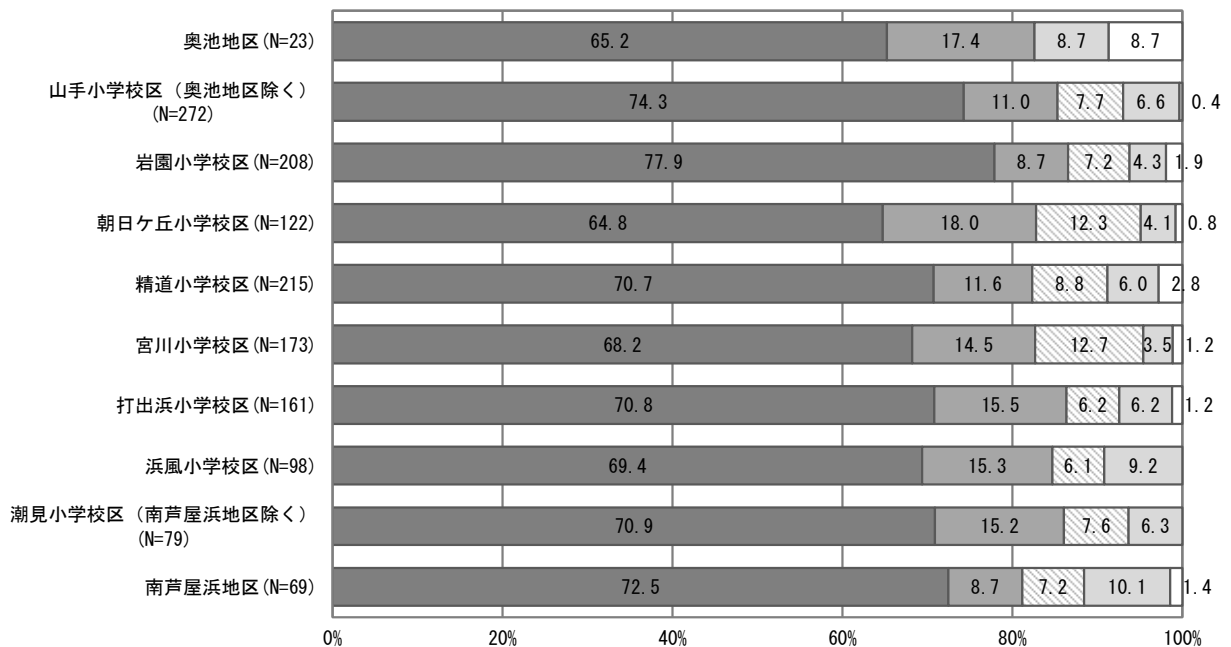
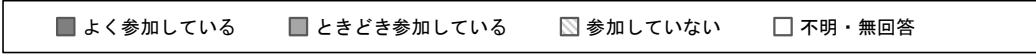


図 82 定住意向（地区別）

問5 あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「参加していない」が58.1%と最も高く、「よく参加している」6.7%と「ときどき参加している」34.5%を合わせた『参加している』41.2%よりも高い。



	項目	回答数	割合
1	よく参加している	96	6.7
2	ときどき参加している	493	34.5
3	参加していない	831	58.1
	不明・無回答	10	0.7
	合計	1,430	100.0

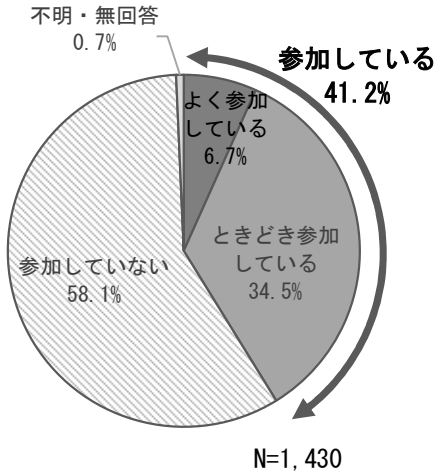


図 83 地域活動や行事への参加

◆性別では、大きな差はみられない。

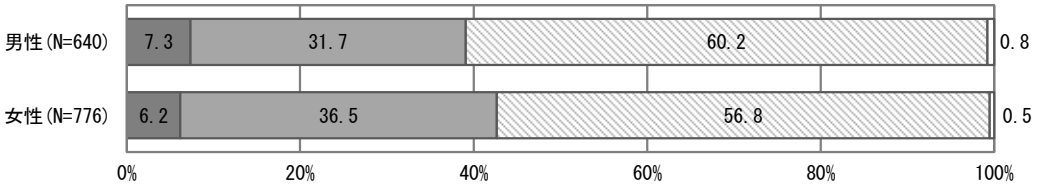


図 84 地域活動や行事への参加（性別）

◆年代別では、『参加している』について、70歳代が最も高く、20歳代が最も低い。

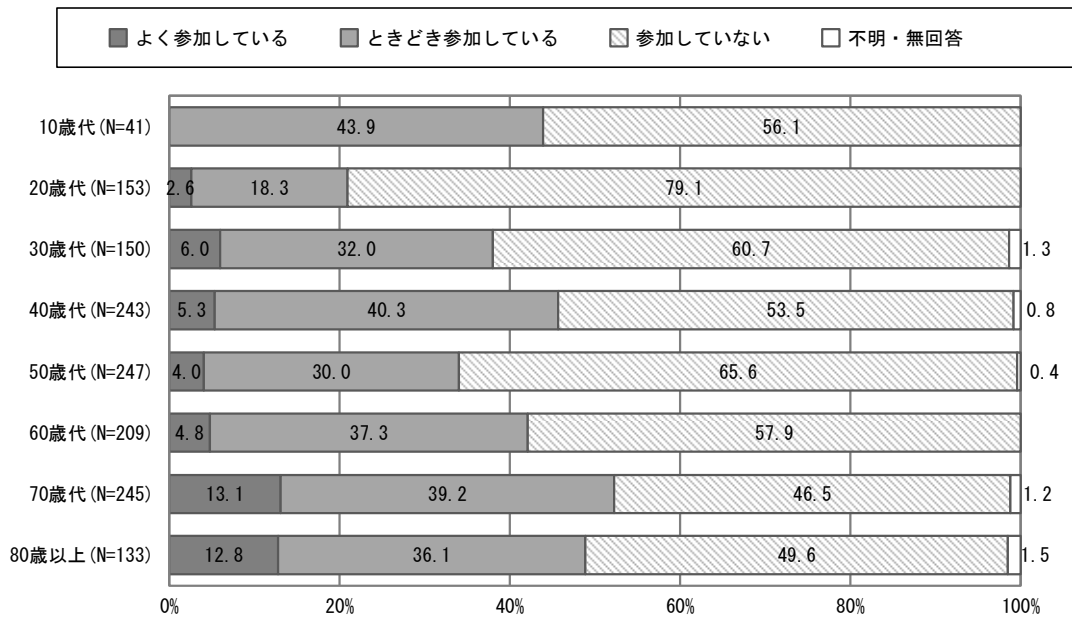


図 85 地域活動や行事への参加（年代別）

◆地区別では、大きな差はみられないが、岩園小学校区、朝日ヶ丘小学校区、打出浜小学校区においては、『参加している』が40%を下回っている。

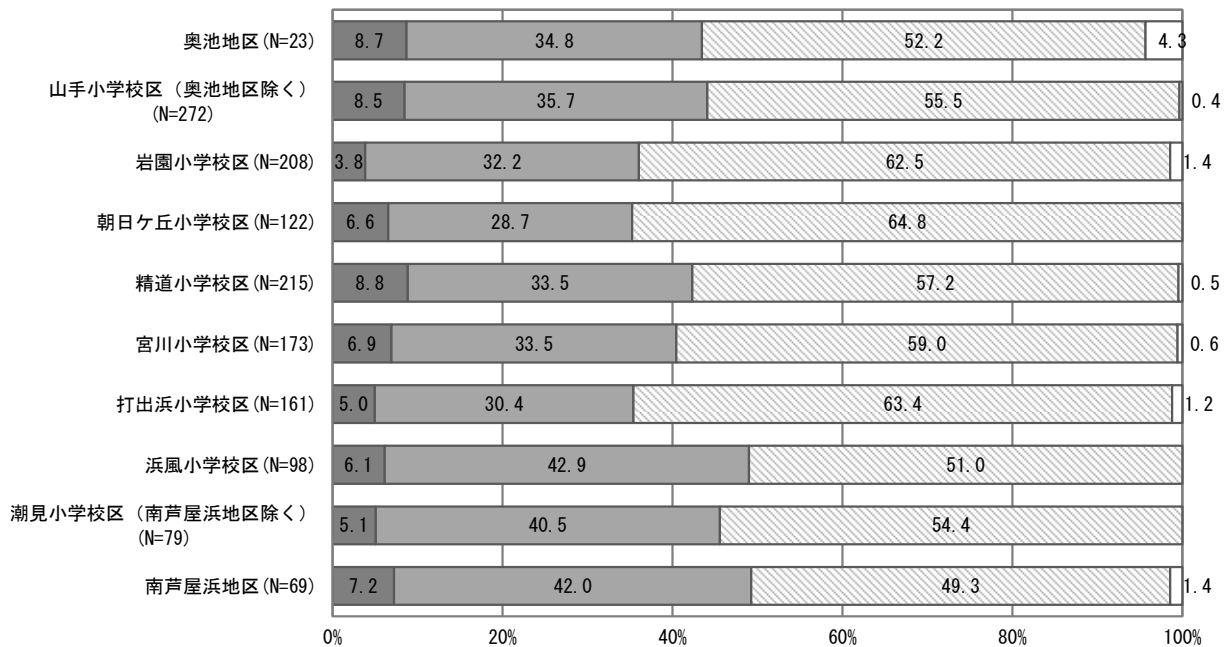


図 86 地域活動や行事への参加（地区別）

問6 あなたは、日常的に近所の子どもと接する機会がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「あいさつをすることがある」が45.9%と最も高く、「会話をすることがある」13.8%、「一緒に地域活動等をするすることがある」5.7%と合わせた『子どもと接する機会がある』65.3%は、「全くない」33.6%の約2倍となっている。

■ 一緒に地域活動等をする がある ■ 会話をすることがある □ あいさつをすることがある ▨ 全くない □ 不明・無回答

	項目	回答数	割合
1	一緒に地域活動等をする がある	81	5.7
2	会話をすることがある	197	13.8
3	あいさつをすることがある	656	45.9
4	全くない	481	33.6
	不明・無回答	15	1.0
	合計	1,430	100.0

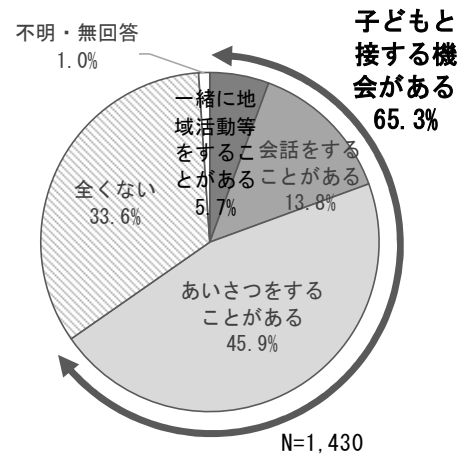


図 87 近所の子どもと接する機会

◆性別では、大きな差はみられない。

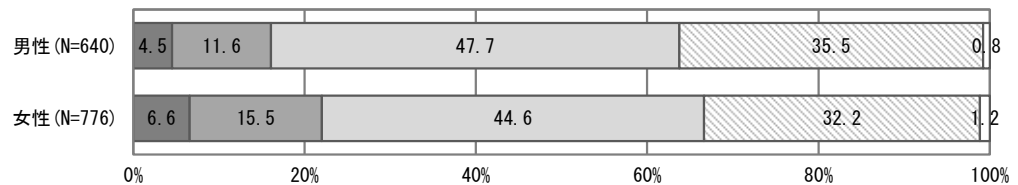


図 88 近所の子どもと接する機会（性別）

- ◆年代別では、『子どもと接する機会がある』について、20歳代が最も低く、それ以外の年代では60%を上回っている。
- ◆「一緒に地域活動等をするところがある」については、40歳代が最も高く、60歳代が最も低い。

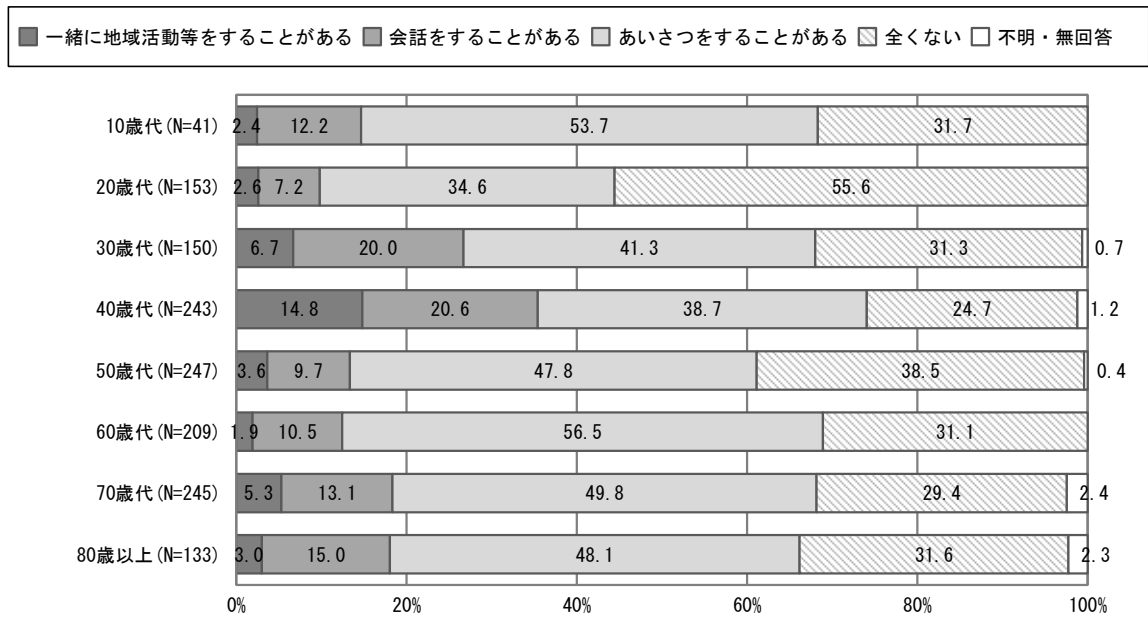


図 89 近所の子どもと接する機会（年代別）

- ◆地区別では、大きな差はみられないが、『子どもと接する機会がある』について、山手小学校区が最も低く、それ以外の地区では60%を上回っている。

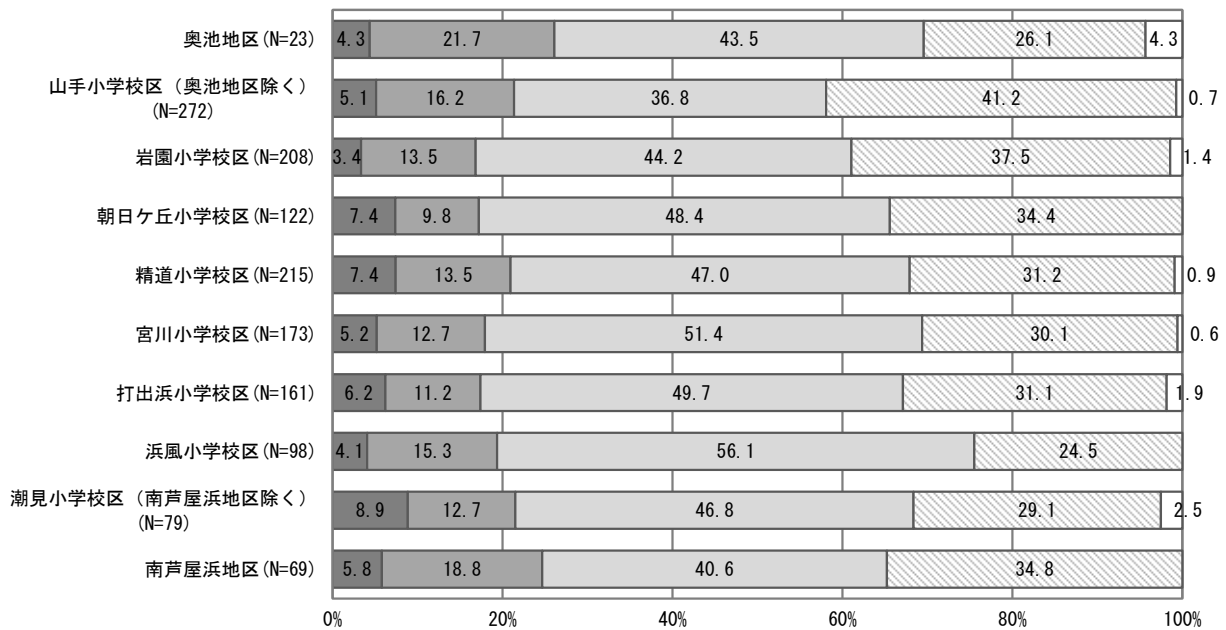


図 90 近所の子どもと接する機会（地区別）

問7 あなたは、家族や親族以外で、日々の生活の中で困りごとが発生したときに相談できる人（友人、知人、民生委員等）や場所が身近にありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「ある」66.2%は、「ない」33.0%の2倍を上回っている。



	項目	回答数	割合
1	ある	947	66.2
2	ない	472	33.0
	不明・無回答	11	0.8
	合計	1,430	100.0

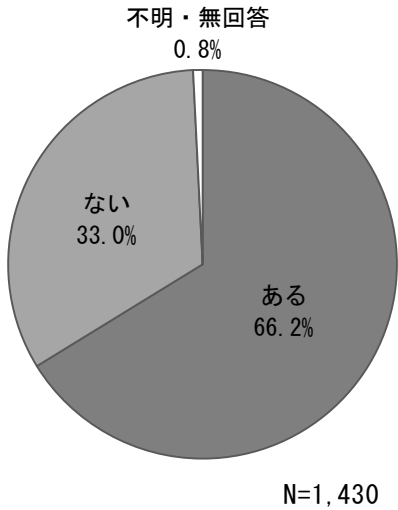


図 91 相談できる人や場所の有無

◆性別では、「ある」について、男性より女性の方が高い。

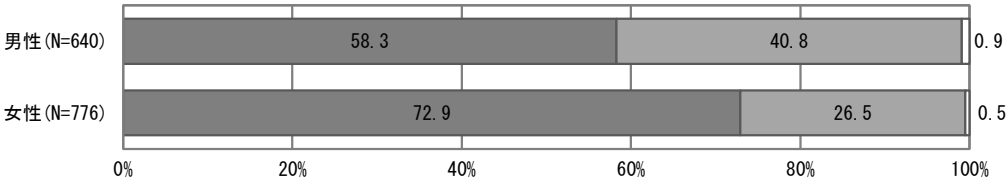


図 92 相談できる人や場所の有無（性別）

◆年代別では、大きな差がみられないが、「ある」について、80歳以上が最も高く70%を上回っている。

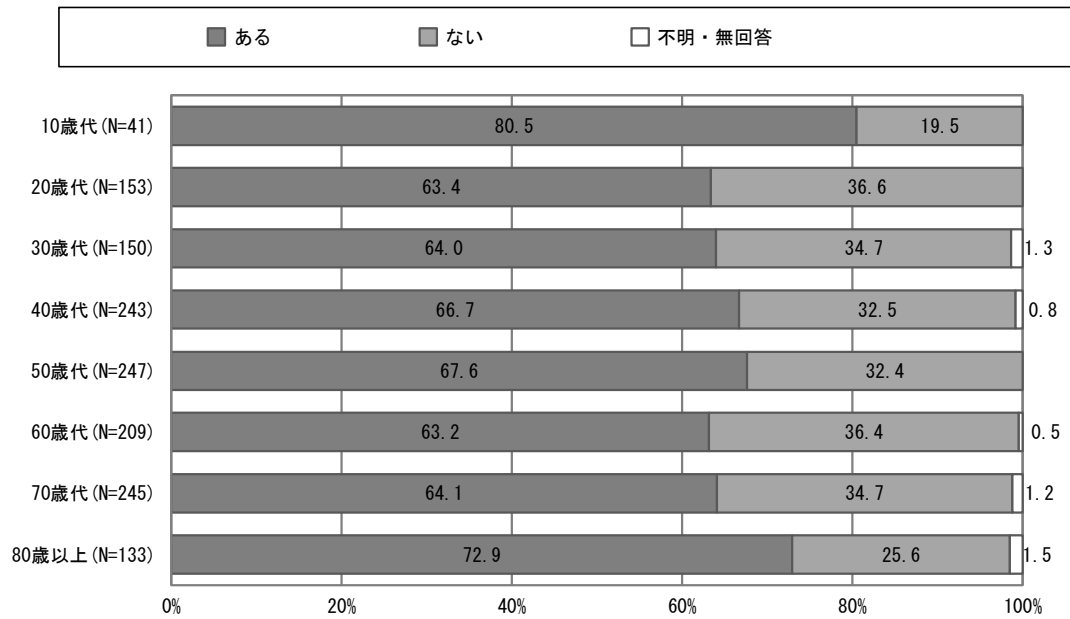


図 93 相談できる人や場所の有無（年代別）

◆地区別では、「ある」について、南芦屋浜地区が最も高く、山手小学校区が最も低い。

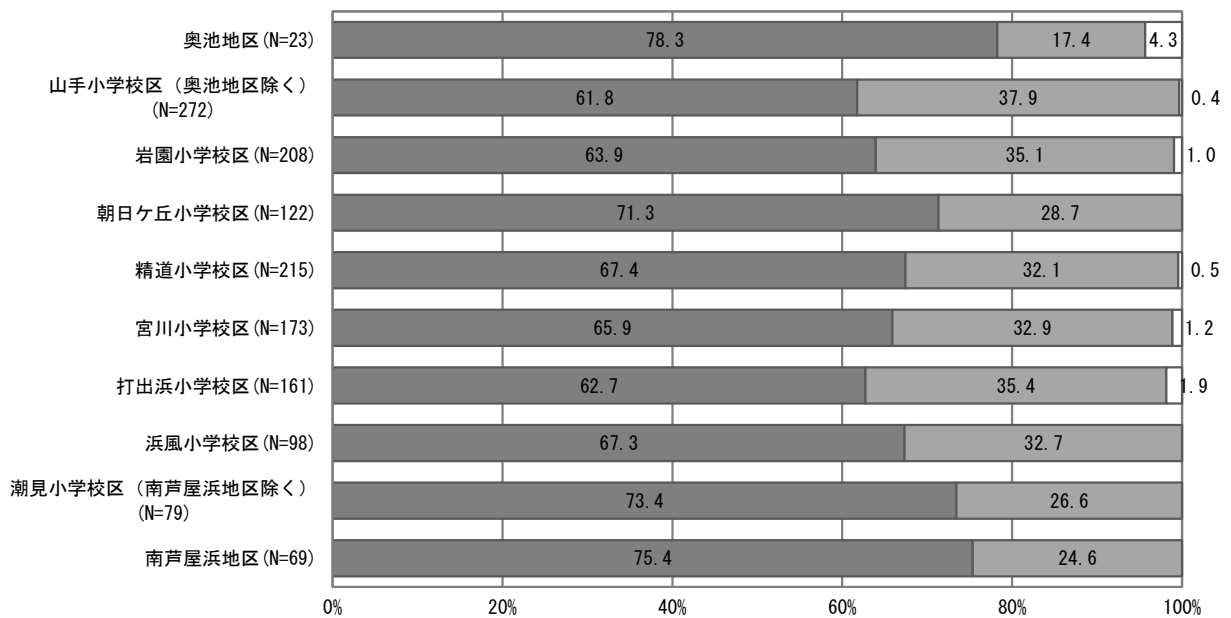
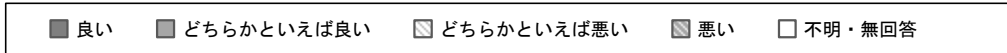


図 94 相談できる人や場所の有無（地区別）

問8 あなたは、お住まいの地域のまちなみやまちなかの緑の景観について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「どちらかといえば良い」が48.7%と最も高く、「良い」42.5%と合わせた『良い』91.3%は、「どちらかといえば悪い」6.6%と「悪い」1.0%を合わせた『悪い』7.6%の12倍を上回っている。



	項目	回答数	割合
1	良い	608	42.5
2	どちらかといえば良い	697	48.7
3	どちらかといえば悪い	94	6.6
4	悪い	15	1.0
	不明・無回答	16	1.1
	合計	1,430	100.0

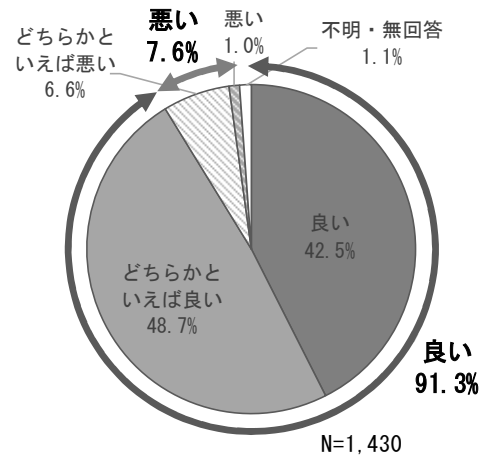


図 95 まちなみや緑の景観について感じていること

◆性別では、大きな差はみられない。

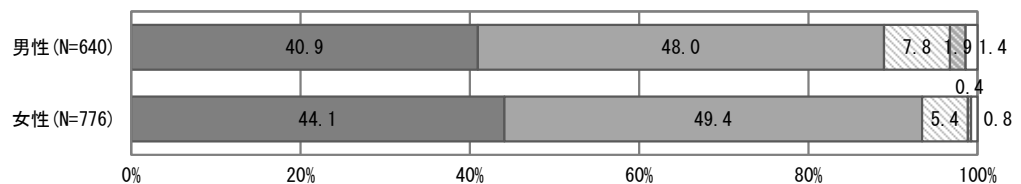


図 96 まちなみや緑の景観について感じていること（性別）

◆年代別では、大きな差がみられないが、30歳代以下において、「良い」が45%を上回っている。

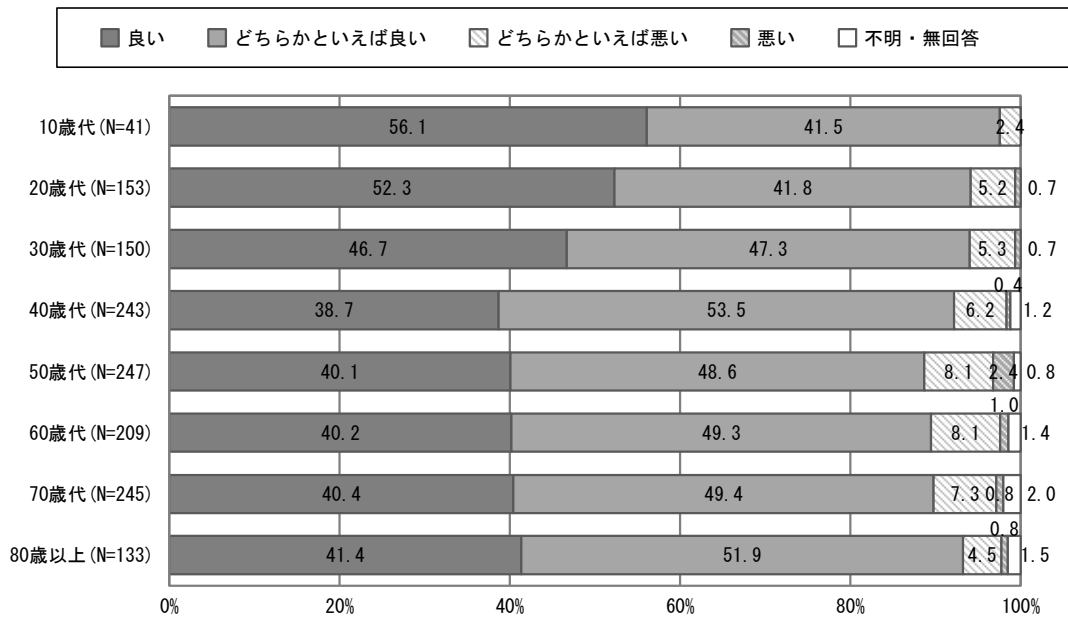


図 97 まちなみや緑の景観について感じていること（年代別）

◆地区別では、『良い』（「良い」と「どちらかといえば良い」の合計）において大きな差はみられないが、「良い」においては、潮見小学校区が最も高く、打出浜小学校区が最も低い。

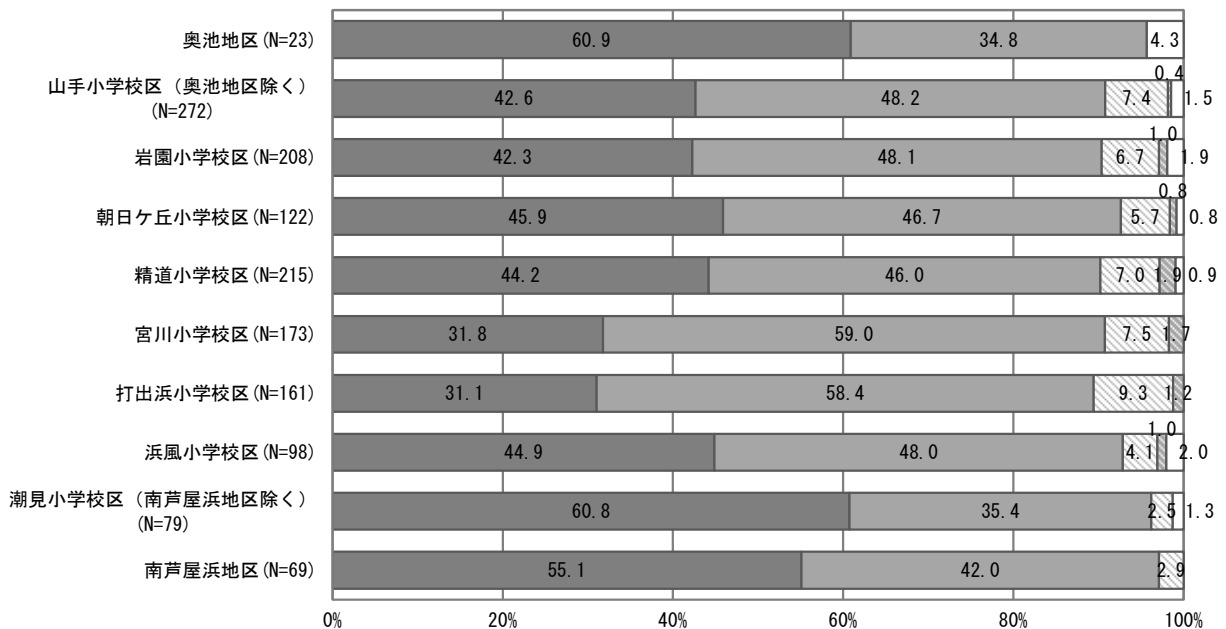
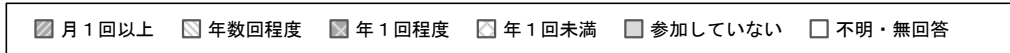


図 98 まちなみや緑の景観について感じていること（地区別）

問9 あなたは、まちなかの緑を守り・育てる活動にどれくらいの頻度で参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「参加していない」が77.0%と最も高く、「月1回以上」3.0%、「年数回程度」6.7%、「年1回程度」6.0%、「年1回未満」6.3%を合わせた『参加している』22.0%の3.5倍となっている。



	項目	回答数	割合
1	月1回以上	43	3.0
2	年数回程度	96	6.7
3	年1回程度	86	6.0
4	年1回未満	90	6.3
5	参加していない	1,101	77.0
	不明・無回答	14	1.0
	合計	1,430	100.0

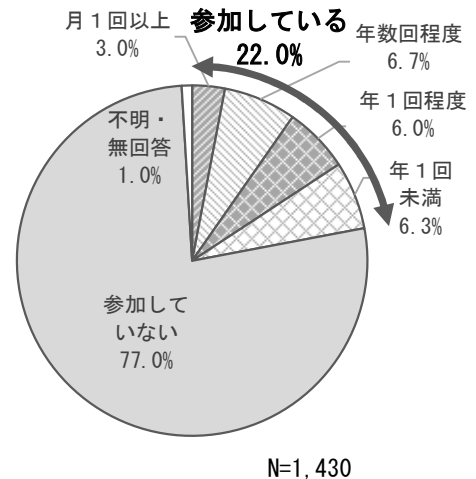


図 99 まちなかの緑を守り育てる活動への参加頻度

◆性別では、『参加している』について、女性よりも男性の方が高い。

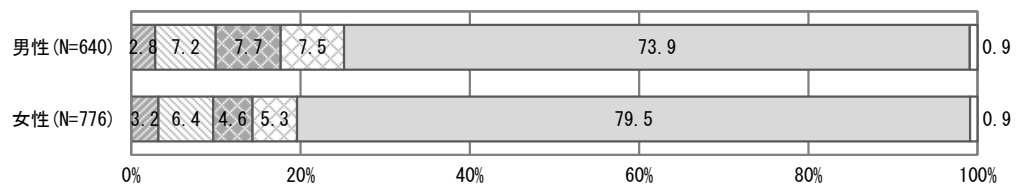


図 100 まちなかの緑を守り育てる活動への参加頻度（性別）

◆年代別では、『参加している』について、70歳代が最も高く、30歳代が最も低い。

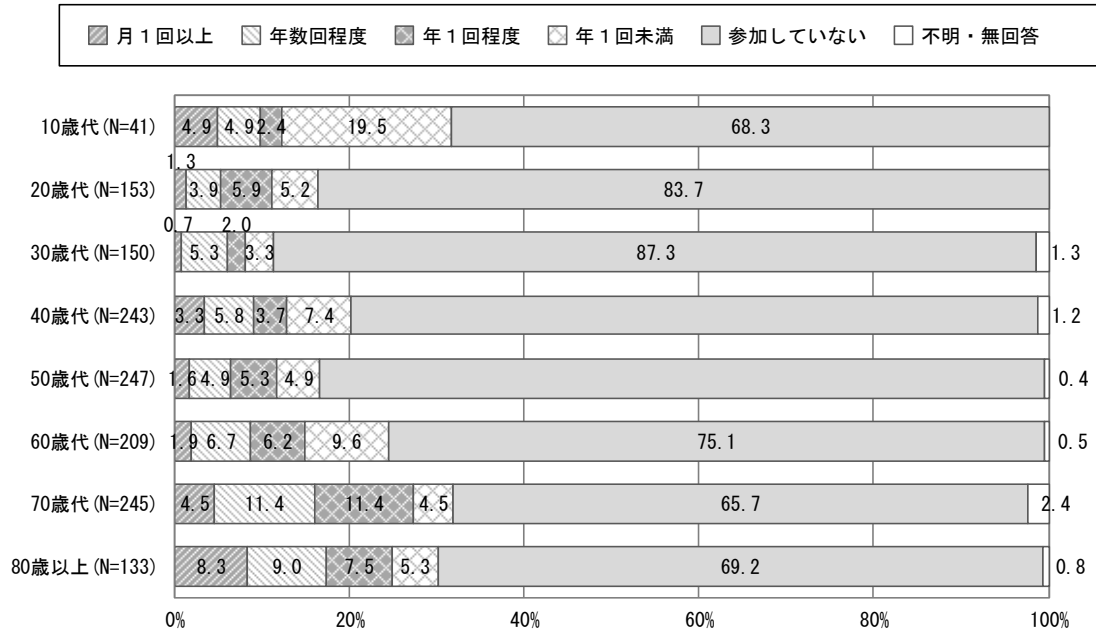


図 101 まちなかの緑を守り育てる活動への参加頻度（年代別）

◆地区別では、『参加している』について、浜風小学校区、潮見小学校区、南芦屋浜地区が30%を上回っているのに対し、最も低い朝日ヶ丘小学校区は10%を下回っている。

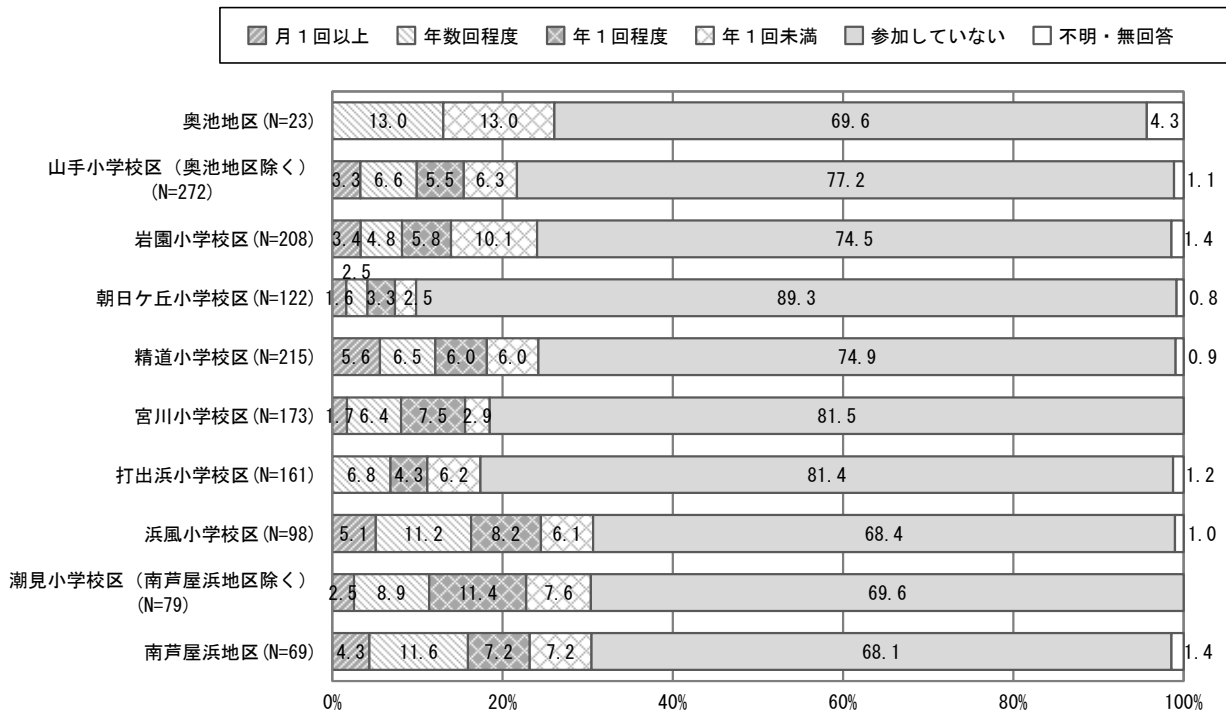
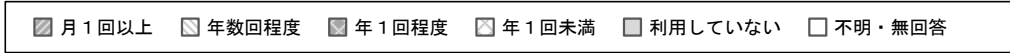


図 102 まちなかの緑を守り育てる活動への参加頻度（地区別）

問 10 あなたは、市内の公園をどれくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「利用していない」が33.7%と最も高いが、「月1回以上」26.8%、「年数回程度」24.1%を合わせた『年数回以上利用している』は50.8%であり、「利用していない」の1.5倍以上となっている。



	項目	回答数	割合
1	月1回以上	383	26.8
2	年数回程度	344	24.1
3	年1回程度	116	8.1
4	年1回未満	95	6.6
5	利用していない	482	33.7
	不明・無回答	10	0.7
	合計	1,430	100.0

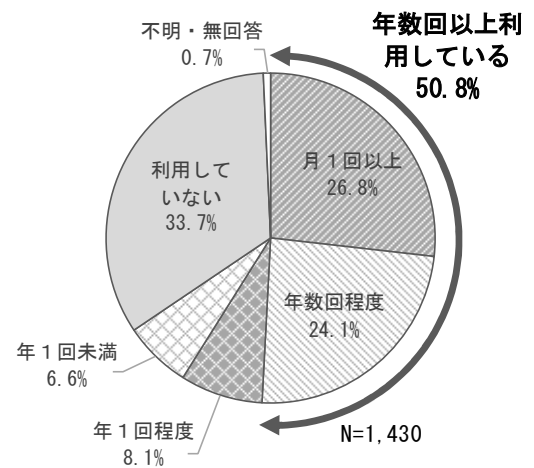


図 103 市内の公園の利用頻度

◆性別では、『年数回以上利用している』について、女性より男性の方が高い。

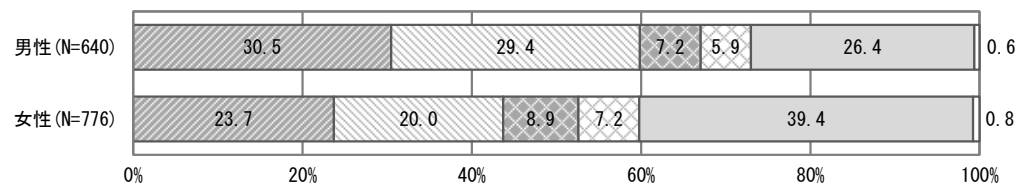


図 104 市内の公園の利用頻度（性別）

◆年代別では、『年数回以上利用している』について、30歳代、40歳代が高く、20歳代、50歳代が低い。

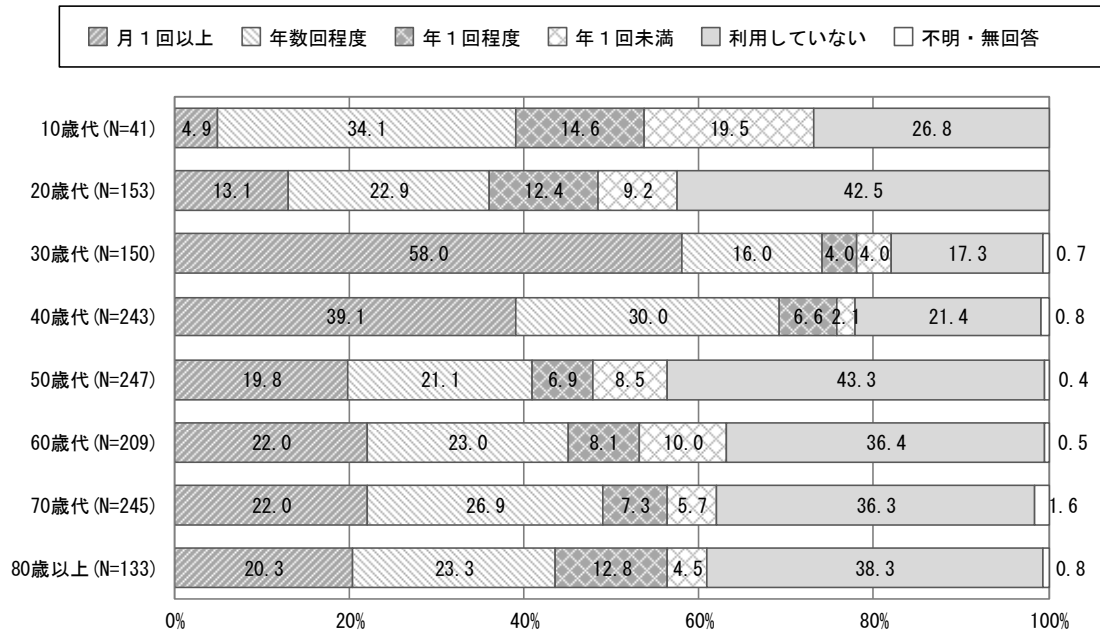


図 105 市内の公園の利用頻度（年代別）

◆地区別では、『年数回以上利用している』について、南芦屋浜地区が最も高く、打出浜小学校区が最も低い。

◆「月1回以上」について、南芦屋浜地区が高い。

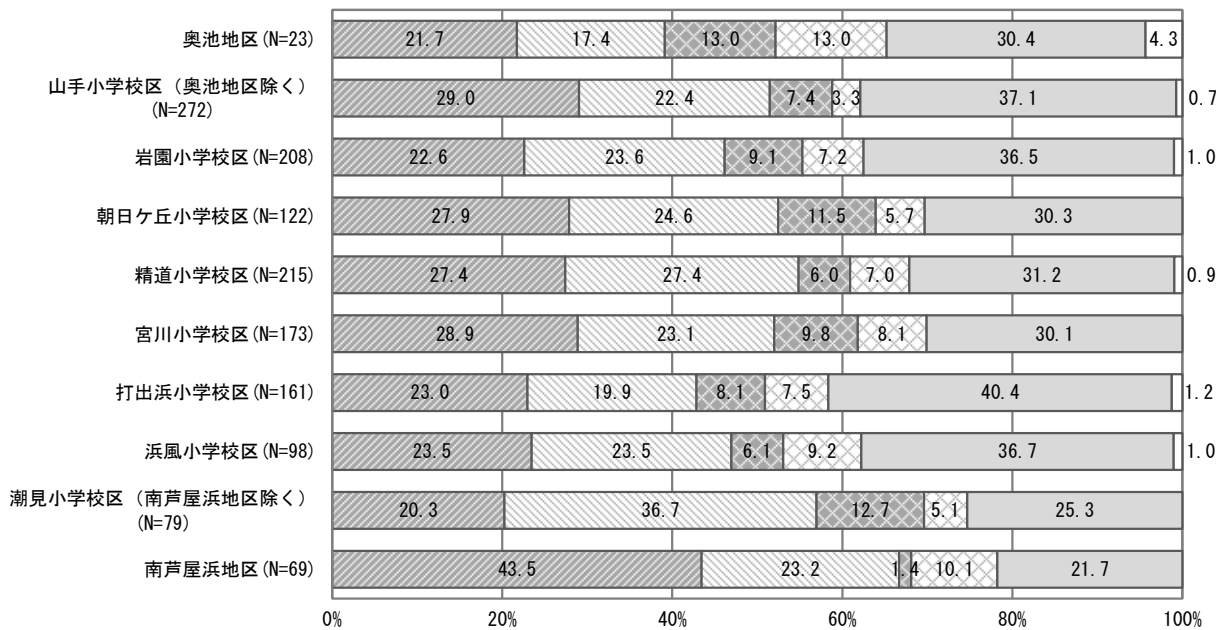


図 106 市内の公園の利用頻度（地区別）

問 11 地震や津波，大雨，暴風など，自然災害の発生に対する日頃からの備えについてお聞きします。
次の中から，できていることをすべて選んで，数字に○をつけてください。

◆「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が 79.2%と最も高く，「自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している」が 58.1%，「3 日以上の食料備蓄をしている」が 42.6%，「家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている（知っている）」が 42.5%と続いている。



図 107 自然災害の発生に対する日頃からの備え

- ◆性別では、男女ともに「芦屋市の防災ガイドブックを読んだことがある」が最も高く、続く項目の順番にも大きな差はみられない。
- ◆年代別では、どの年代も「芦屋市の防災ガイドブックを読んだことがある」が最も高く、20歳代は、「家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている（知っている）」、30歳代～70歳代は「自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している」、80歳以上は「3日以上の食料を備蓄している」が続いている。
- ◆地区別では、大きな差はみられない。

(位)

	芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある	自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している	3日以上の食料備蓄をしている	家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている（知っている）	家具の転倒防止対策をしている	災害時の持ち出し袋を用意している	あしや防災ネットに登録している	地域の防災訓練に参加している	避難行動を始めるきっかけを決めている	緊急告知ラジオを所持している	芦屋市の防災SNSをフォローしている	
市全体 (N=1,377)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
性別	男性 (N=587)	1	2	4	3	5	6	7	8	10	9	11
	女性 (N=775)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
年代別	10歳代 (N=25)	1	4	5	2	3	6	10	7	9	8	10
	20歳代 (N=111)	1	3	3	2	5	6	9	11	7	10	8
	30歳代 (N=177)	1	2	4	3	6	5	7	9	8	10	11
	40歳代 (N=264)	1	2	4	3	5	6	7	10	8	9	11
	50歳代 (N=226)	1	2	4	3	5	6	7	9	8	10	11
	60歳代 (N=206)	1	2	3	4	5	6	9	7	7	10	11
	70歳代 (N=262)	1	2	3	4	5	6	10	7	9	8	11
	80歳以上 (N=96)	1	3	2	4	5	6	10	7	9	8	11
地区別	奥池地区 (N=12)	1	3	2	4	4	10	7	9	6	7	10
	山手小学校区 (N=286)	1	2	3	4	6	5	7	8	10	9	11
	岩園小学校区 (N=178)	1	2	3	4	5	6	7	8	10	8	11
	朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	1	2	3	4	4	6	7	10	9	8	11
	精道小学校区 (N=207)	1	2	4	3	6	5	7	9	8	10	11
	宮川小学校区 (N=167)	1	2	4	3	5	6	7	8	9	10	11
	打出浜小学校区 (N=132)	1	2	4	3	5	6	8	7	9	10	11
	浜風小学校区 (N=107)	1	2	3	5	5	3	8	9	7	10	11
	潮見小学校区 (N=86)	1	2	3	5	3	6	8	7	11	8	10
	南芦屋浜地区 (N=69)	1	2	3	5	6	4	7	9	10	8	11

図 108 自然災害の発生に対する日頃からの備え【順位】（性別、年代別、地区別）

問 12 地球温暖化防止に向けた取り組みについてお聞きします。次の中から、できていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

◆「買い物には、マイバッグを持っていく」が 77.2%と最も高く、「不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなどの節電」が 66.6%、「冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする」が 62.7%、「省エネ製品を選んで買う」が 43.6%と続いている。



図 109 地球温暖化防止に向けた取り組み

N=1,430 [複数回答]

- ◆性別では、男性よりも女性の方が全項目において高くなっている。
- ◆年代別では、20歳代は「不要な電気は消す、使っていないコンセントは抜くなどの節電」、それ以外の年代では、「買い物には、マイバッグを持っていく」が最も高くなっている。60歳代以上は、市全体の割合よりも高い項目が多い。
- ◆地区別では、潮見小学校区は「不要な電気は消す、使っていないコンセントは抜くなどの節電」、南芦屋浜地区は「冷暖房や給湯の設定温度は控えめにする」、それ以外の地区は、「買い物には、マイバッグを持っていく」が最も高い。

(%)

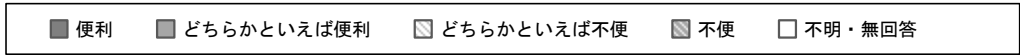
		買い物には、マイバッグを持っていく	冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする	不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなどの節電	省エネ製品を選んで買う	自動車の利用を控え、公共交通機関を利用する	不明・無回答
市全体 (N=1,430)		77.2	62.7	66.6	43.6	43.2	1.3
性別	男性 (N=640)	70.2	56.7	63.3	42.7	39.1	1.9
	女性 (N=776)	83.1	67.8	69.6	44.6	46.6	0.8
年代別	10歳代 (N=41)	56.1	48.8	61.0	12.2	41.5	4.9
	20歳代 (N=153)	64.1	51.0	65.4	22.2	40.5	0.7
	30歳代 (N=150)	76.0	58.7	64.0	37.3	33.3	2.0
	40歳代 (N=243)	77.0	56.8	62.1	38.7	34.2	2.5
	50歳代 (N=247)	78.1	58.7	61.9	55.1	37.2	0.8
	60歳代 (N=209)	86.6	71.8	68.4	52.6	49.8	0.5
	70歳代 (N=245)	80.4	70.2	71.8	50.6	50.6	1.2
	80歳以上 (N=133)	77.4	75.2	77.4	47.4	60.9	0.8
地区別	奥池地区 (N=23)	69.6	56.5	65.2	47.8	30.4	8.7
	山手小学校区 (奥池地区除く) (N=272)	80.1	59.6	62.1	45.6	46.7	1.5
	岩園小学校区 (N=208)	76.4	61.5	68.8	42.3	40.9	1.9
	朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	79.5	64.8	66.4	46.7	47.5	0.0
	精道小学校区 (N=215)	73.5	63.3	65.1	41.9	47.0	2.3
	宮川小学校区 (N=173)	79.8	63.0	67.1	42.2	39.3	1.2
	打出浜小学校区 (N=161)	85.7	66.5	70.8	41.6	41.6	0.6
	浜風小学校区 (N=98)	77.6	62.2	69.4	51.0	43.9	0.0
	潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く) (N=79)	69.6	59.5	73.4	38.0	40.5	1.3
南芦屋浜地区 (N=69)	59.4	71.0	62.3	43.5	36.2	0.0	

※網掛け部分は市全体より5%以上高い項目

図 110 地球温暖化防止に向けた取り組み (性別, 年代別, 地区別)

問 13 あなたは、徒歩、自転車、自家用車、公共交通などの手段に関わらず、市内の移動について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「どちらかといえば便利」が45.0%と最も高く、「便利」24.8%と合わせた『便利』69.8%は、「どちらかといえば不便」23.8%、「不便」5.7%を合わせた『不便』29.4%の2倍を上回っている。



	項目	回答数	割合
1	便利	355	24.8
2	どちらかといえば便利	643	45.0
3	どちらかといえば不便	340	23.8
4	不便	81	5.7
	不明・無回答	11	0.8
	合 計	1,430	100.0

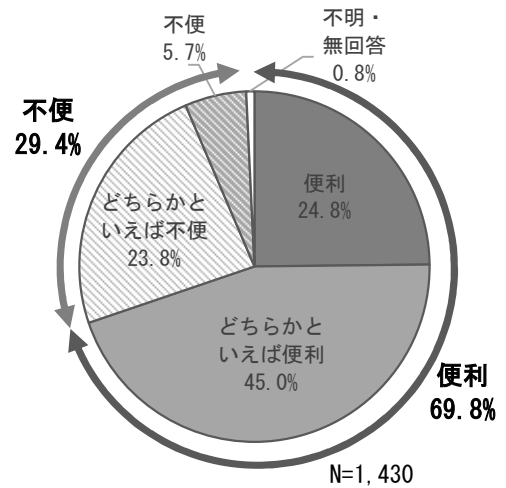


図 111 市内移動の利便性

◆性別では、大きな差はみられない。

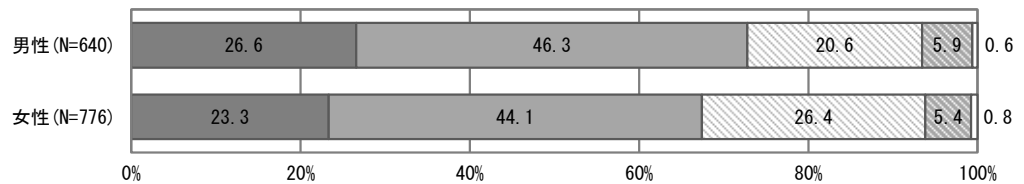


図 112 市内移動の利便性（性別）

◆年代別では、大きな差はみられない。

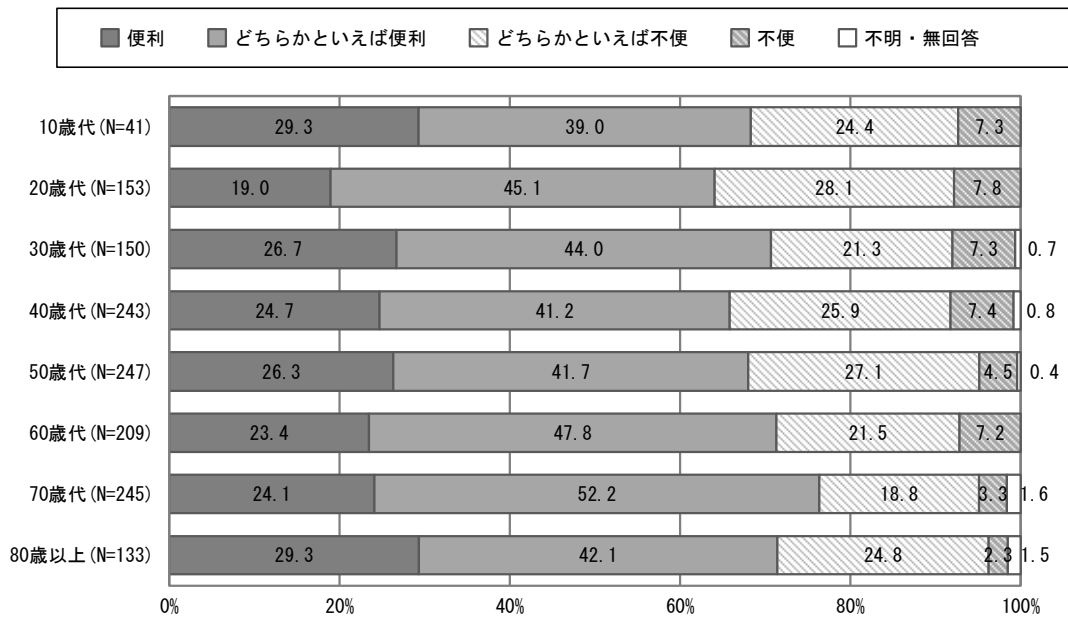


図 113 市内移動の利便性（年代別）

◆地区別では、『便利』について、南芦屋浜地区が最も低く、それ以外の地区は65%を上回っている。

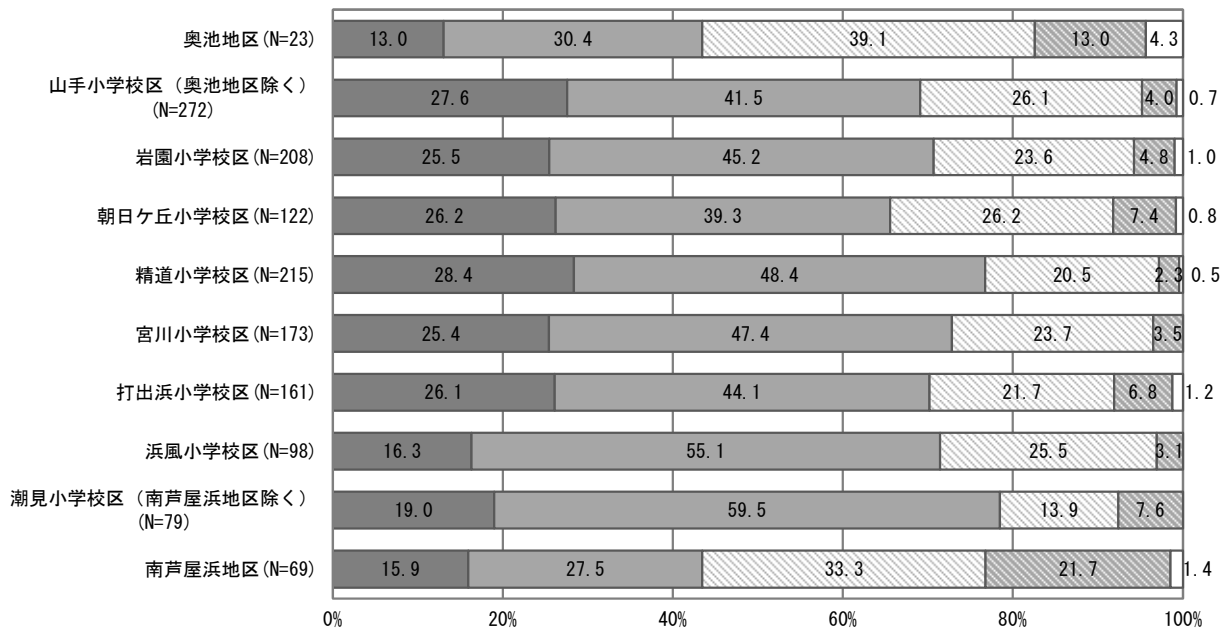


図 114 市内移動の利便性（地区別）

問 14 あなたは、家事や育児など夫婦間での分担についてどのようにお考えですか。〈A 理想〉と〈B 現実〉それぞれについて、①～③の項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んで、数字に○をつけてください。

〈A 理想〉〈B 現実〉の比較

※〈A 現実〉と〈B 理想〉で無回答の比率に大きな差があったため、〈A 現実〉と〈B 理想〉の比較については、①～③の設問ごとに〈A 現実〉〈B 理想〉両方を答えたサンプルのみ（①生活費の負担 1,008 件、②家事 1,000 件、③育児・子育て 745 件）を集計しています。

また、設問では「主に自分」「同程度・適宜分担」「主に配偶者」の選択肢を設定していますが、男性が「主に自分」と回答した場合には「主に男性」、女性が「主に配偶者」と回答した場合には「主に男性」となるように集計しています。そのため、性別の回答として、「男性」「女性」と回答したサンプルのみを対象としています。

①生活費の負担

- ◆理想、現実ともに、「主に男性」が最も高く、「同程度・適宜分担」が続いており、理想と現実を比較すると、理想よりも現実の方が「主に男性」が高くなっている。
- ◆性別では、理想と現実ともに大きな差はみられない。
- ◆年代別では、20歳代は「同程度・適宜分担」、その他の年代は「主に男性」が最も高くなっている。

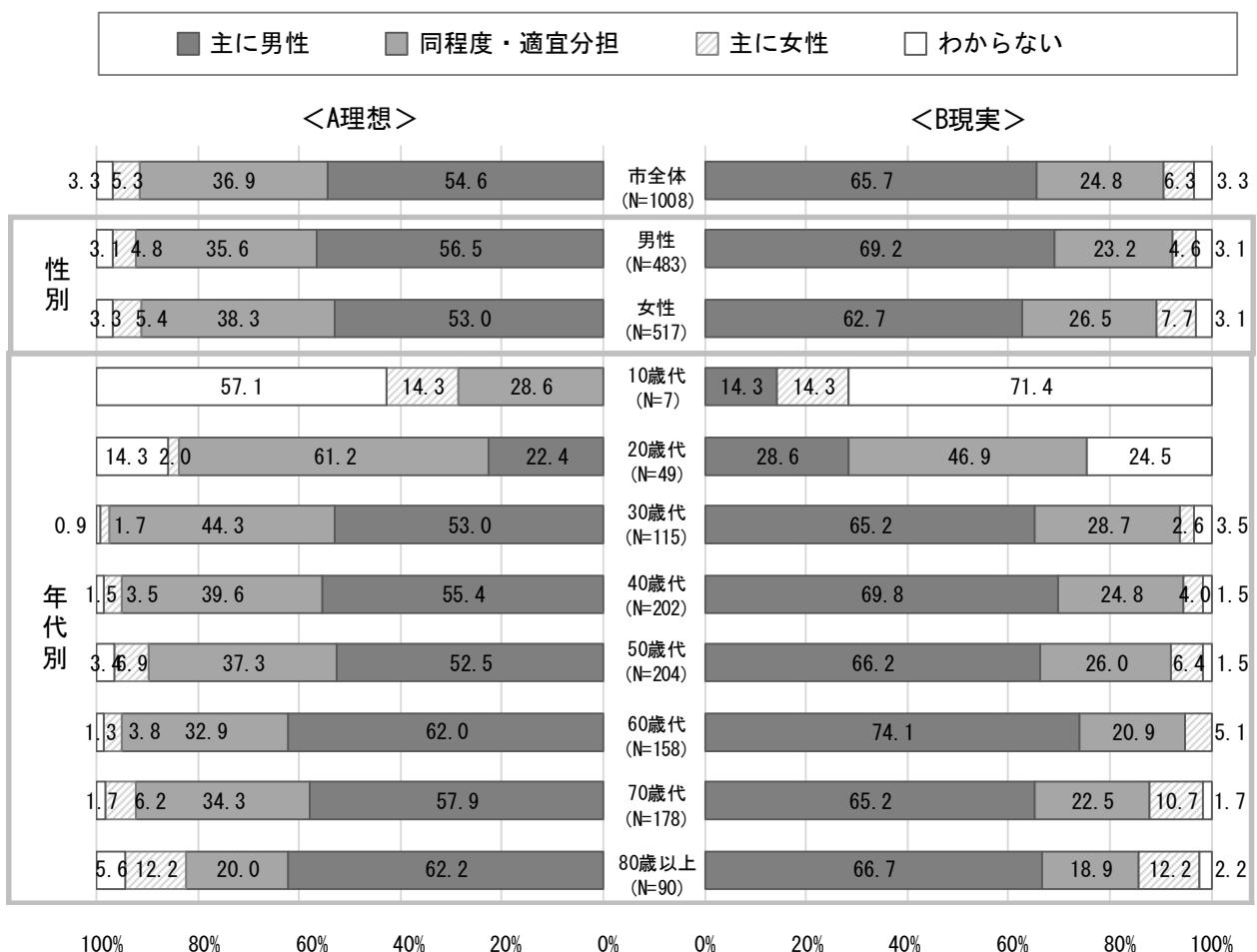


図 115 ①生活費の負担〈理想・現実〉(市全体・性別・年代別)

◆地区別では、大きな差はみられないが、潮見小学校区は現実において「主に女性」が0%となっているが、理想と現実が近い値となっている。

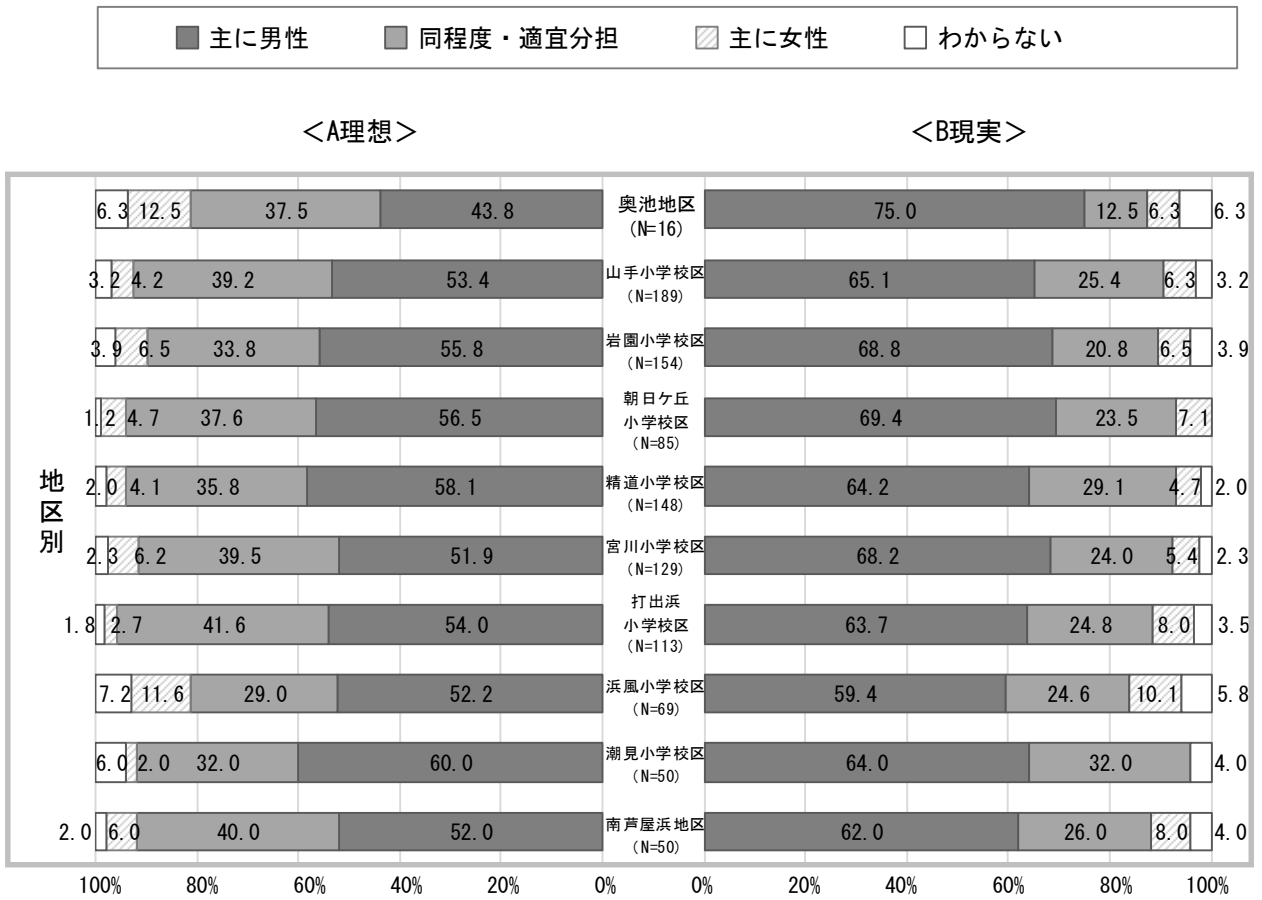


図 116 ①生活費の負担〈理想・現実〉(地区別)

②家事

- ◆理想では、「同程度・適宜分担」が最も高く 54.9%であり、「主に女性」39.9%と続くが、現実では「主に女性」が最も高く 66.1%であり、「同程度・適宜分担」26.6%と続いており、理想と現実で「主に女性」と「同程度・適宜分担」が逆の順番となっている。
- ◆性別では、大きな差はみられない。
- ◆年代別では、理想において、年代が下がるほど「同程度・適宜分担」が高くなっており、80歳以上以外の年代では、「同程度・適宜分担」が最も高くなっている。現実において、20歳代は「同程度・適宜分担」が最も高くなっているが、それ以外の年代では、「主に女性」が最も高くなっている。

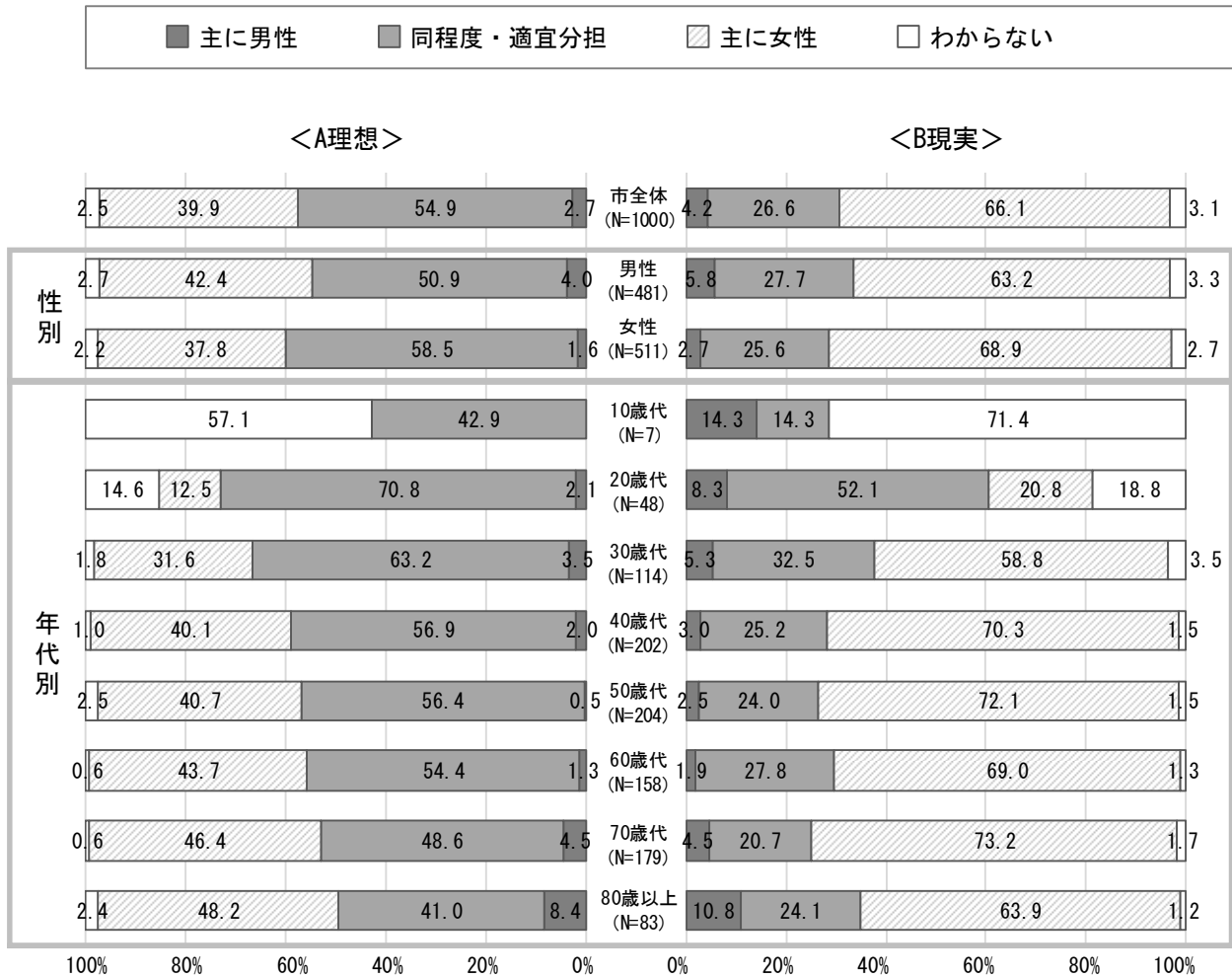


図 117 ②家事〈理想・現実〉(市全体・性別・年代別)

◆地区別では、理想において大きな差はみられないが、現実において潮見小学校区は「同程度・適宜分担」が4割を上回っている。

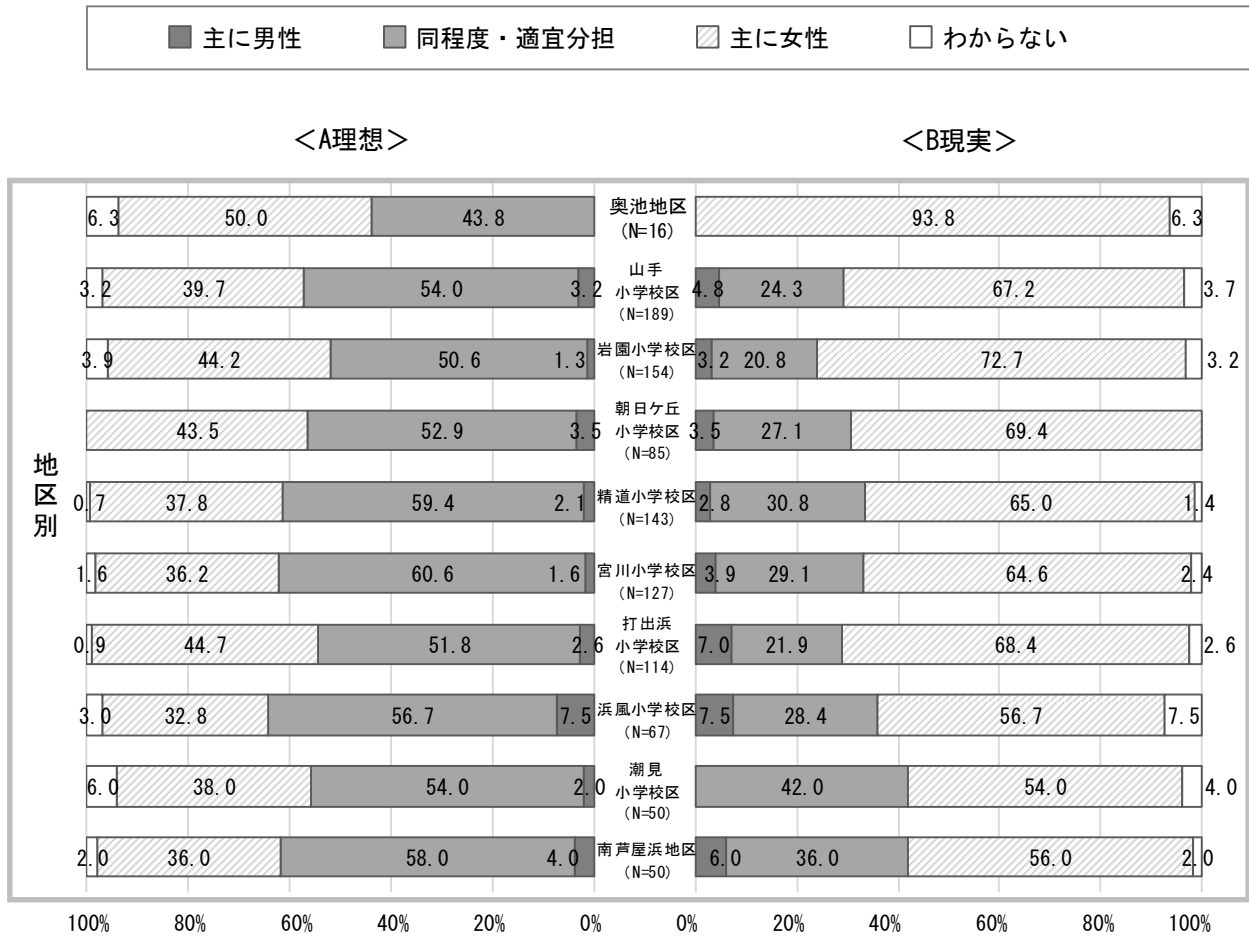


図 118 ②家事〈理想・現実〉(地区別)

③育児・子育て

- ◆理想では「同程度・適宜分担」が最も高く62.1%であり、「主に女性」が22.4%と続いている。現実では、「主に女性」が最も高く49.5%であり、「同程度・適宜分担」が28.3%と続いている。理想と現実で「主に女性」と「同程度・適宜分担」が逆の順番となっている。
- ◆性別では、理想において「同程度・適宜分担」について男性よりも女性の方が高い。
- ◆年代別では、理想において、どの年代も「同程度・適宜分担」が最も高く、年代が下がるほど割合が高くなっている。現実においては大きな差はみられない。

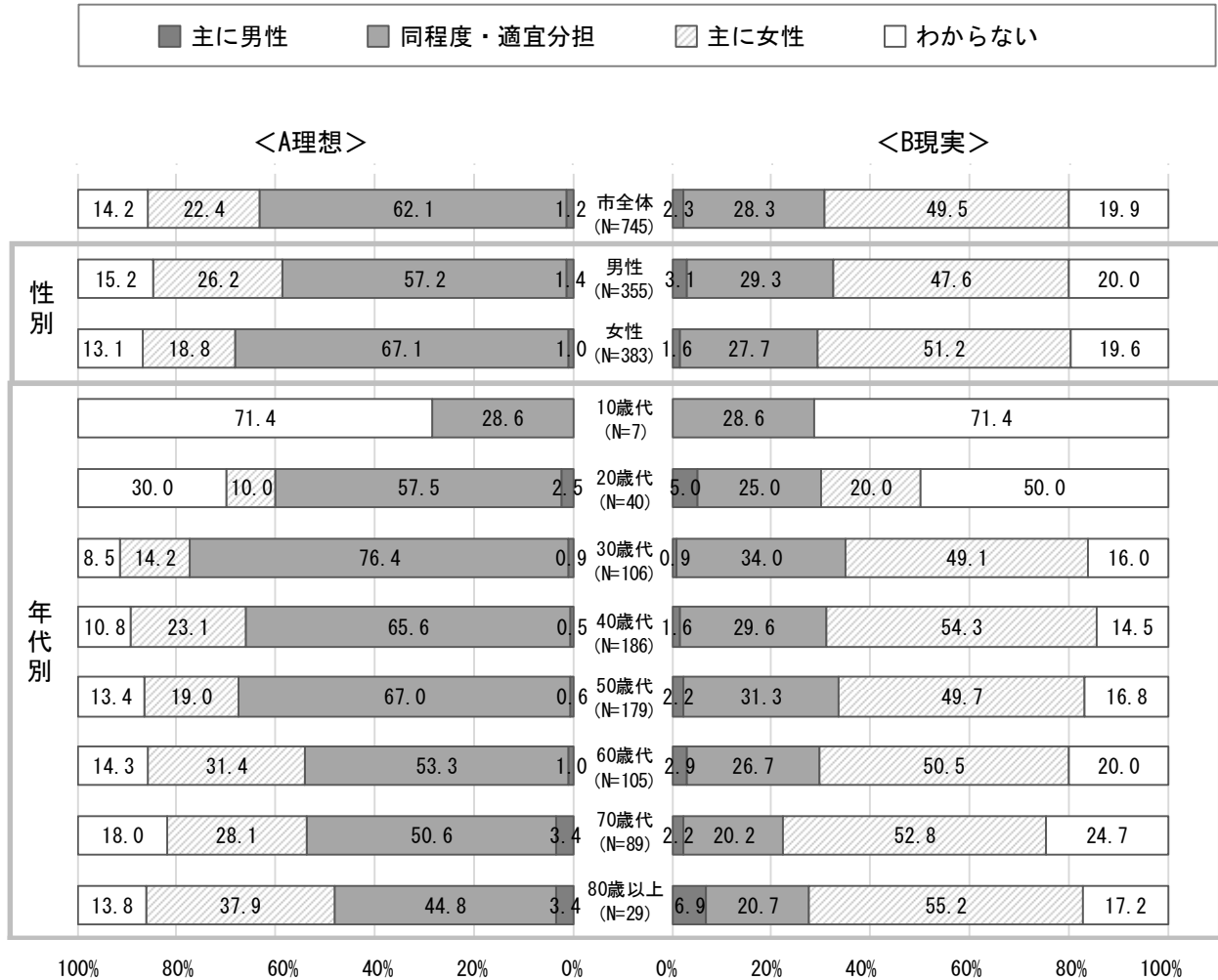


図 119 ③育児・子育て〈理想・現実〉(市全体・性別・年代別)

◆地区別では、理想と現実ともに、大きな差はみられない。

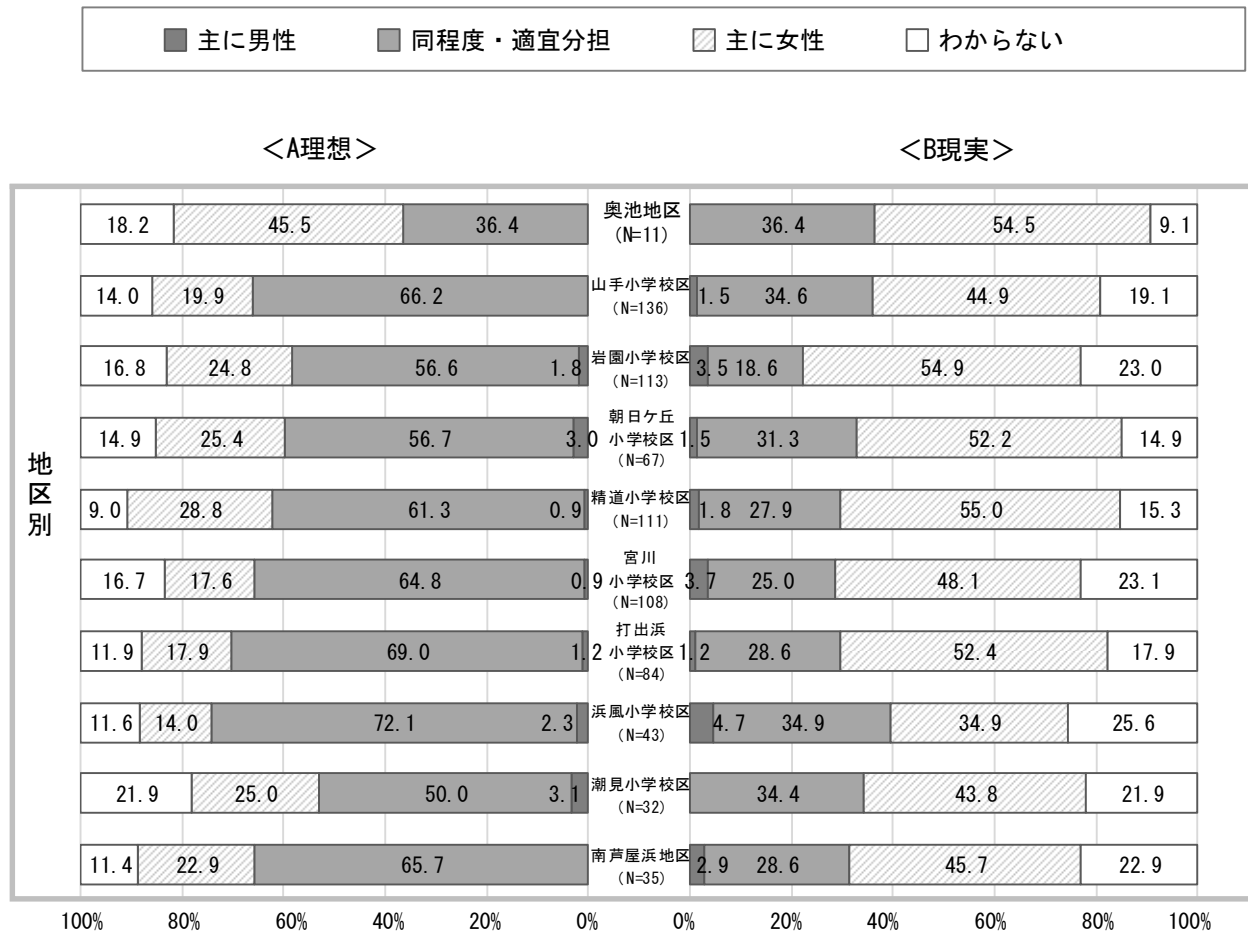
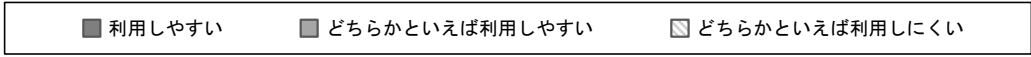


図 120 ③育児・子育て〈理想・現実〉(地区別)

問 15 あなたは、市役所への届け出などの手続きについてどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「どちらかといえば利用しやすい」が45.6%と最も高く、「利用しやすい」20.0%と合わせた『利用しやすい』65.6%は、「どちらかといえば利用しにくい」15.9%と「利用しにくい」6.9%を合わせた『利用しにくい』22.8%の2倍を上回っている。



	項目	回答数	割合
1	利用しやすい	286	20.0
2	どちらかといえば利用しやすい	652	45.6
3	どちらかといえば利用しにくい	228	15.9
4	利用しにくい	98	6.9
5	わからない	141	9.9
	不明・無回答	25	1.7
	合計	1,430	100.0

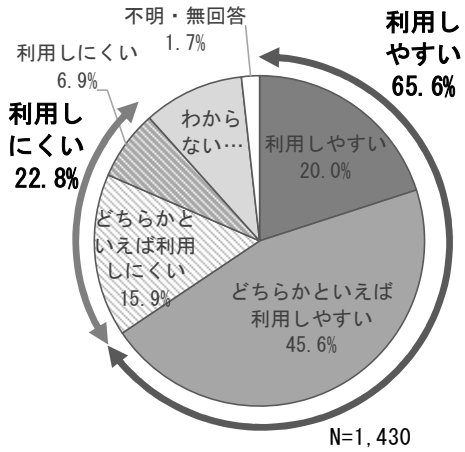


図 121 市役所手続きの利便性

◆性別では、大きな差はみられない。

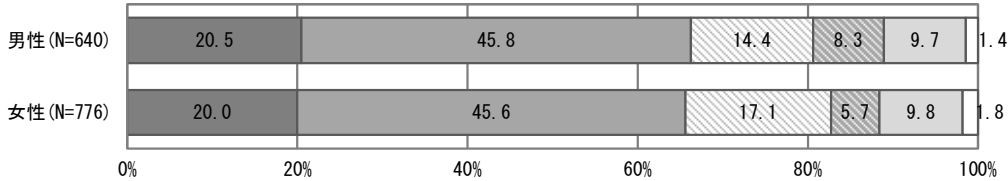


図 122 市役所手続きの利便性（性別）

◆年代別では、『利用しやすい』について、60歳代が最も高く、20歳代が最も低い。

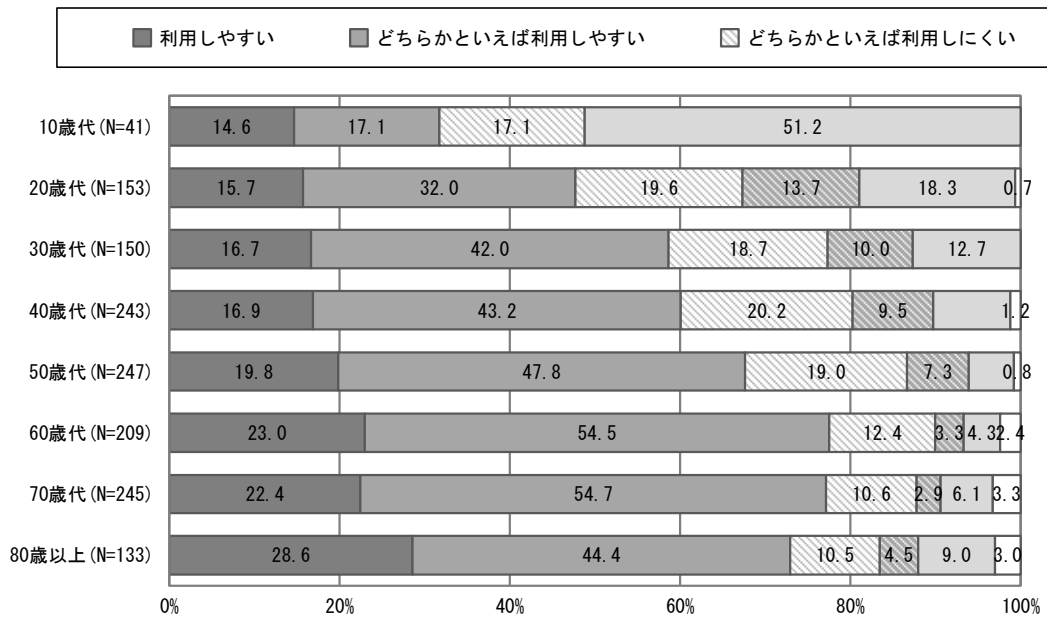


図 123 市役所手続きの利便性（年代別）

◆地区別では、『利用しやすい』について、浜風小学校区が最も高く、宮川小学校区が最も低い。

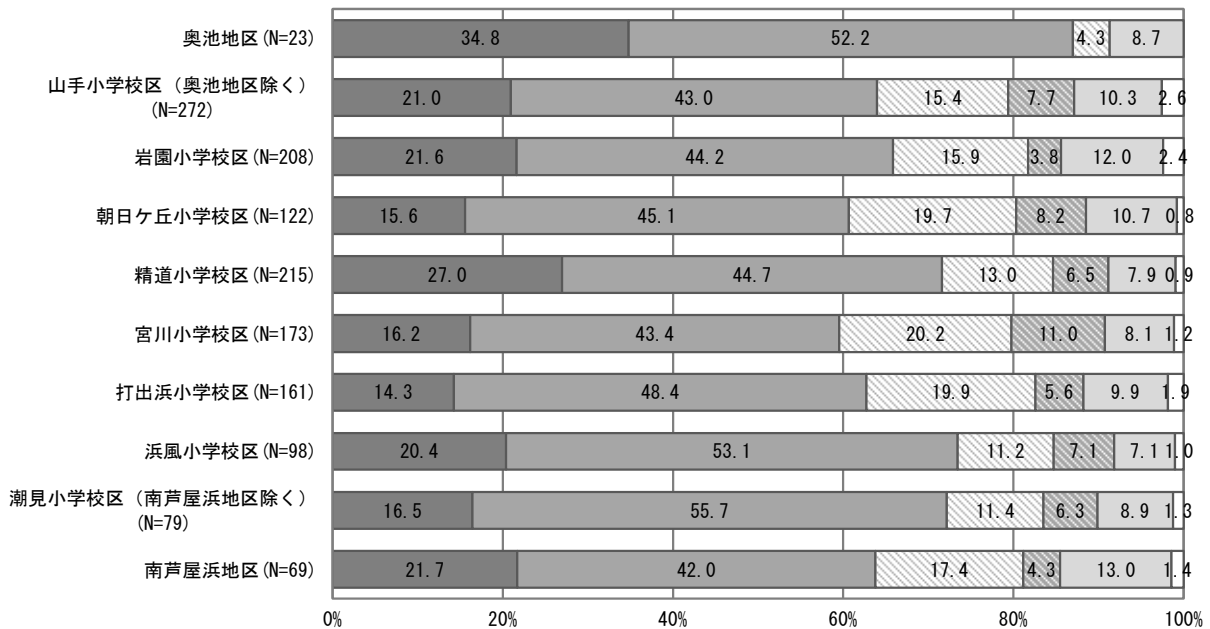


図 124 市役所手続きの利便性（地区別）

IV. 健康づくりについておたずねします。

問 16 あなたは、ウォーキングやジョギング、スポーツ教室での活動など、運動の習慣がありますか。
次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「週1回以上」、「運動の習慣がない」が、ともに30.5%で最も高いが、「週1回以上」と「週3回以上」24.1%、「月1回以上」9.4%を合わせた『月1回以上の運動習慣がある』63.9%は、「運動習慣がない」の2倍を上回っている。

■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満 ■ 運動習慣がない □ 不明・無回答

	項目	回答数	割合
1	週3回以上	344	24.1
2	週1回以上	436	30.5
3	月1回以上	134	9.4
4	月1回未満	57	4.0
5	運動習慣がない	436	30.5
	不明・無回答	23	1.6
	合計	1,430	100.0

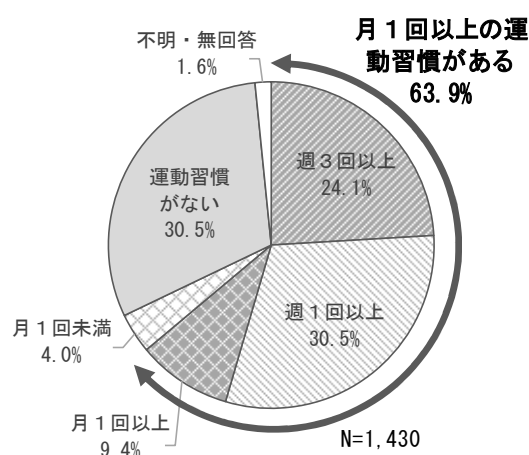


図 125 運動の習慣

◆性別では、大きな差はみられない。

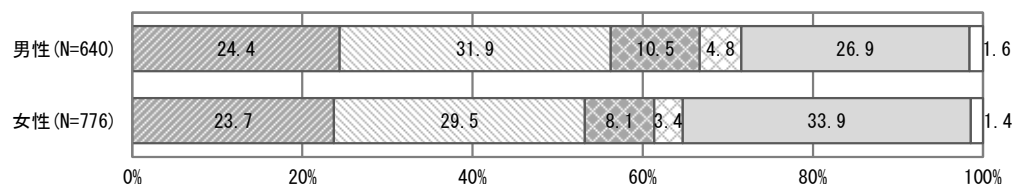


図 126 運動の習慣（性別）

- ◆年代別では、『月1回以上の運動習慣がある』について、60歳代が最も高く、30歳代が最も低い。
- ◆「週3回以上」「週1回以上」について、60歳代以上が高くなっている。

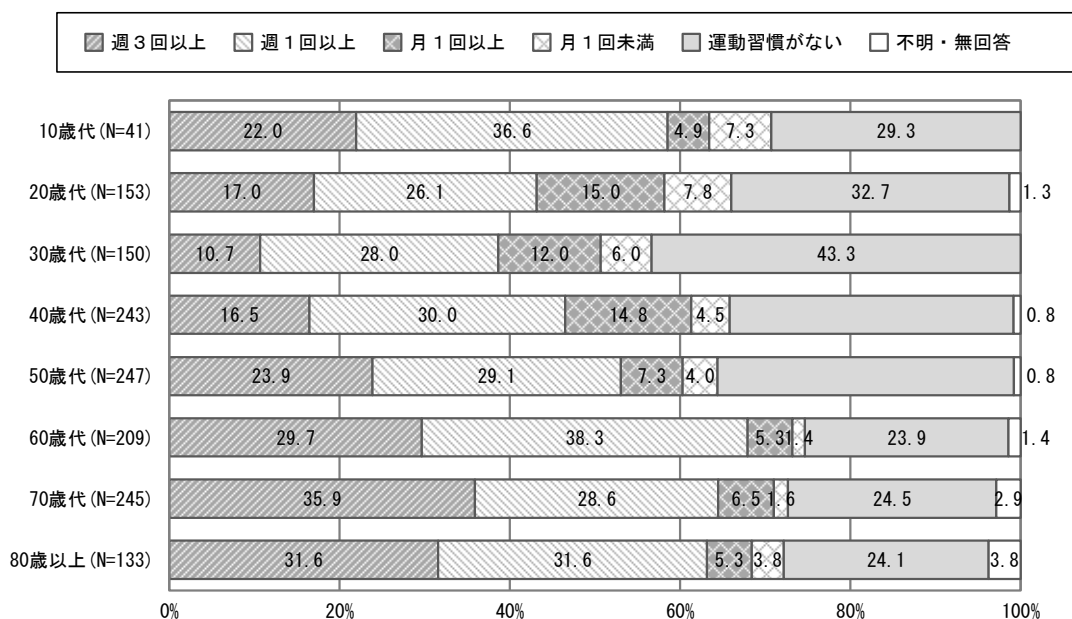


図 127 運動の習慣（年代別）

- ◆地区別では、大きな差はみられない。

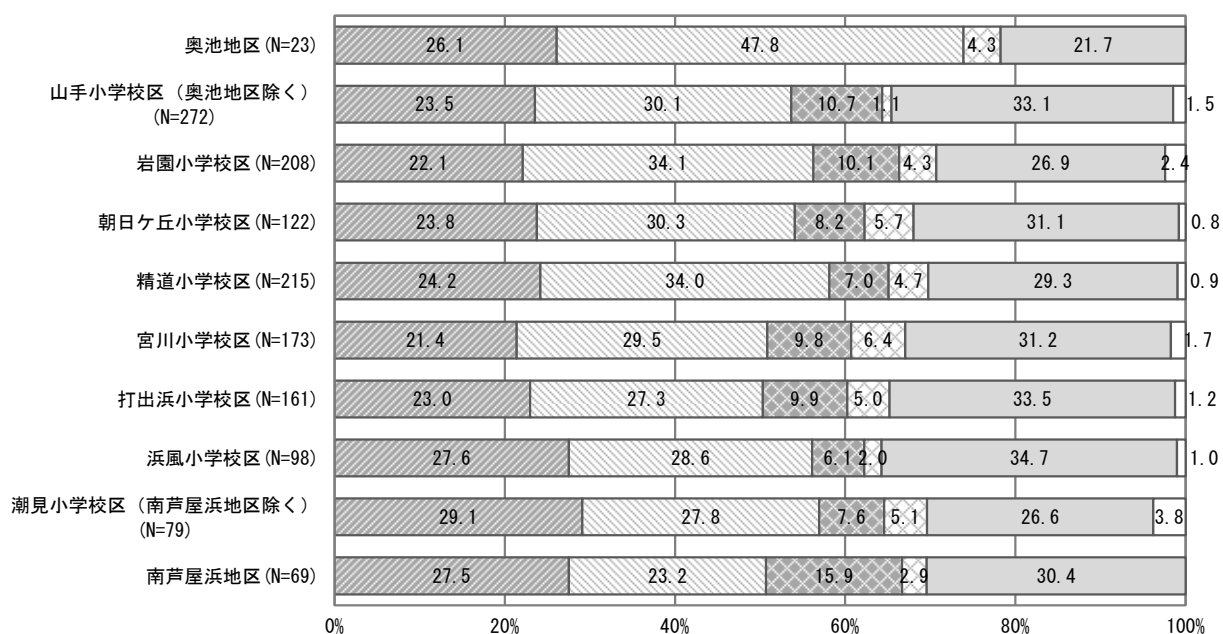
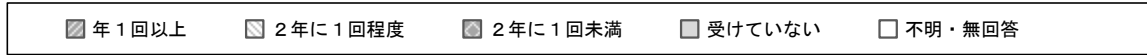


図 128 運動の習慣（地区別）

問 17 あなたは、ご自身の体の状況を把握するために、健康診査・健康診断をどれくらいの頻度で受けていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「年1回以上」が70.3%と最も高く、「2年に1回程度」9.2%、「2年に1回未満」5.6%と合わせた『受けている』85.1%は、「受けていない」13.4%の6倍を上回っている。



	項目	回答数	割合
1	年1回以上	1,006	70.3
2	2年に1回程度	131	9.2
3	2年に1回未満	80	5.6
4	受けていない	192	13.4
	不明・無回答	21	1.5
	合計	1,430	100.0

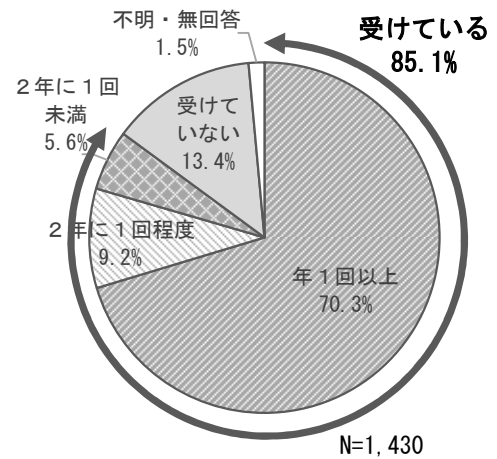


図 129 健康診断受診の頻度

◆性別では、「年1回以上」について、女性よりも男性の方が高い。

◆「受けていない」について、男性よりも女性の方が高い。

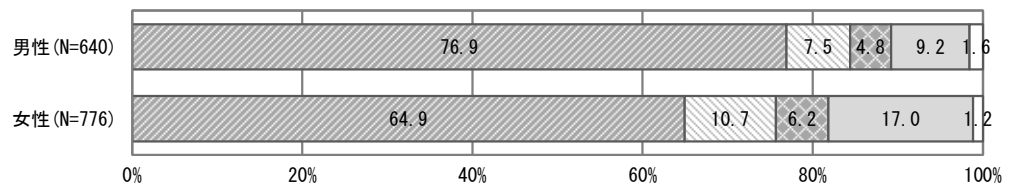


図 130 健康診断受診の頻度（性別）

◆年代別では、『受けている』について、50歳代、80歳以上が高く、20歳代が最も低い。

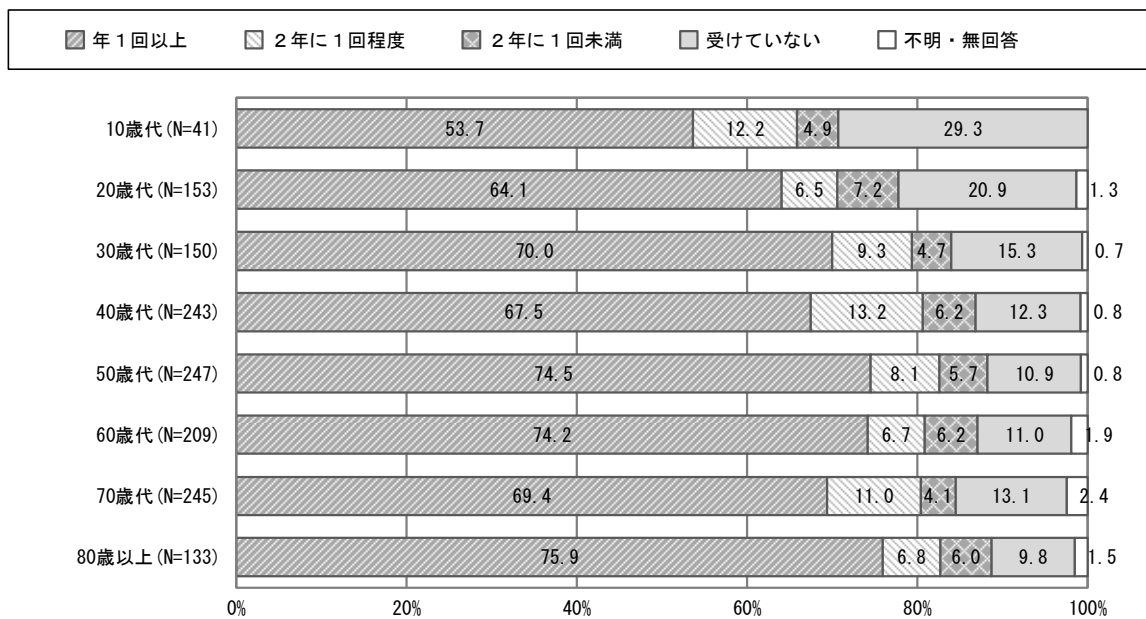


図 131 健康診断受診の頻度（年代別）

◆地区別では、大きな差はみられない。

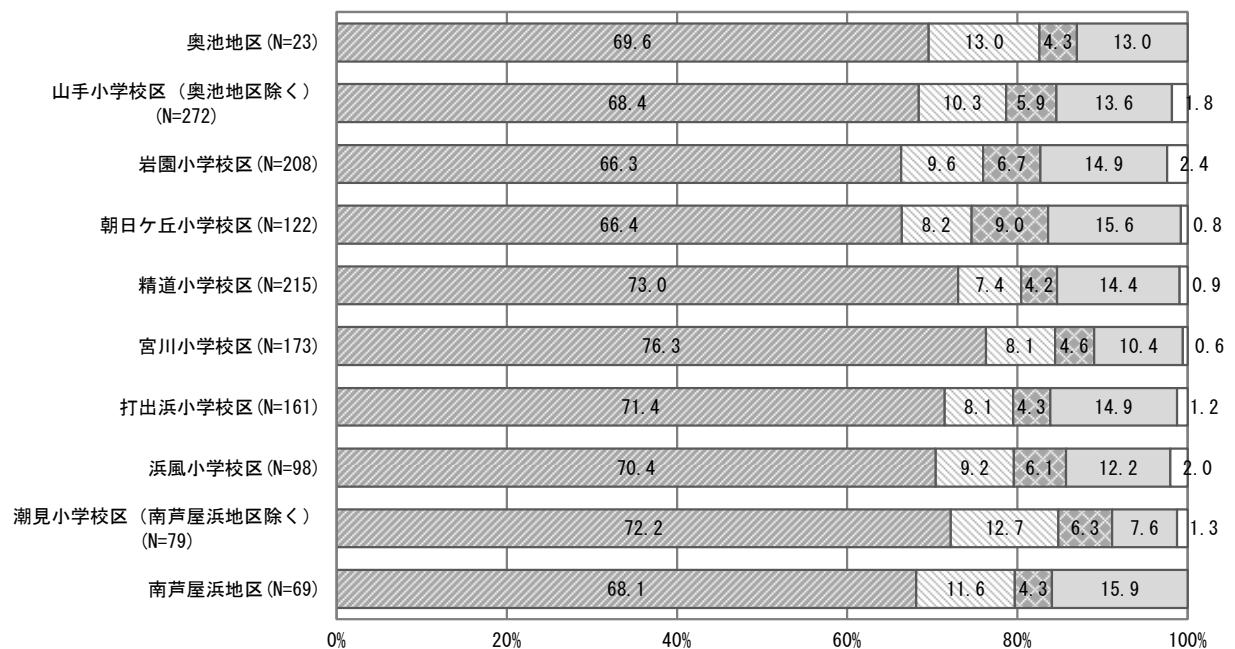


図 132 健康診断受診の頻度（地区別）

問 18 適正体重 (BMI 値 18.5~25) の維持についてお聞きします。あなたの身長及び体重をお答えください。

※身長、体重から以下の計算式で算出した BMI 値を集計しています。

【 計算式 】 BMI 値 = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

◆適正体重とされる「BMI 値 18.5~25.0」が 70.5%と最も高く、「BMI 値 25.1 以上」が 12.4%、「BMI 値 18.5 未満」が 9.2%と続いている。



	項目	回答数	割合
1	18.5未満	132	9.2
2	18.5~25.0	1,008	70.5
3	25.1以上	178	12.4
	不明・無回答	112	7.8
	合 計	1,430	100.0

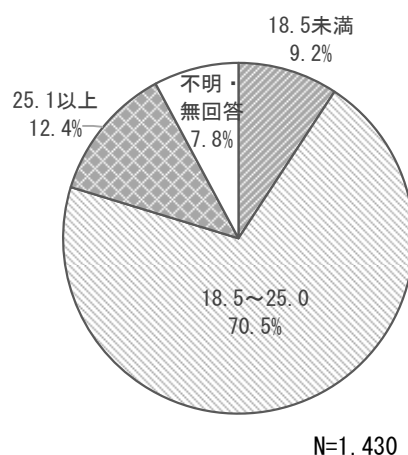


図 133 BMI 値

◆性別では、「BMI 値 25.1 以上」について、女性よりも男性の方が高い。
 ◆「BMI 値 18.5 未満」については、男性よりも女性の方が高い。

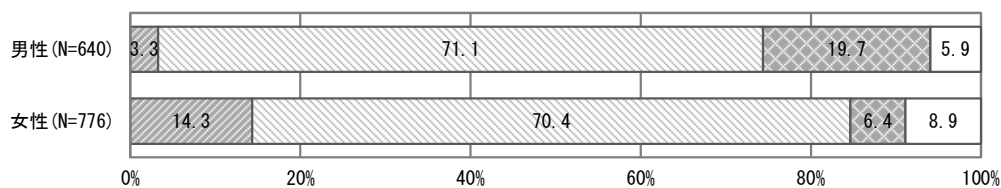


図 134 BMI 値 (性別)

◆年代別では、大きな差はみられないが、20歳代は「BMI値25.1以上」よりも「BMI値18.5未満」の方が高い。

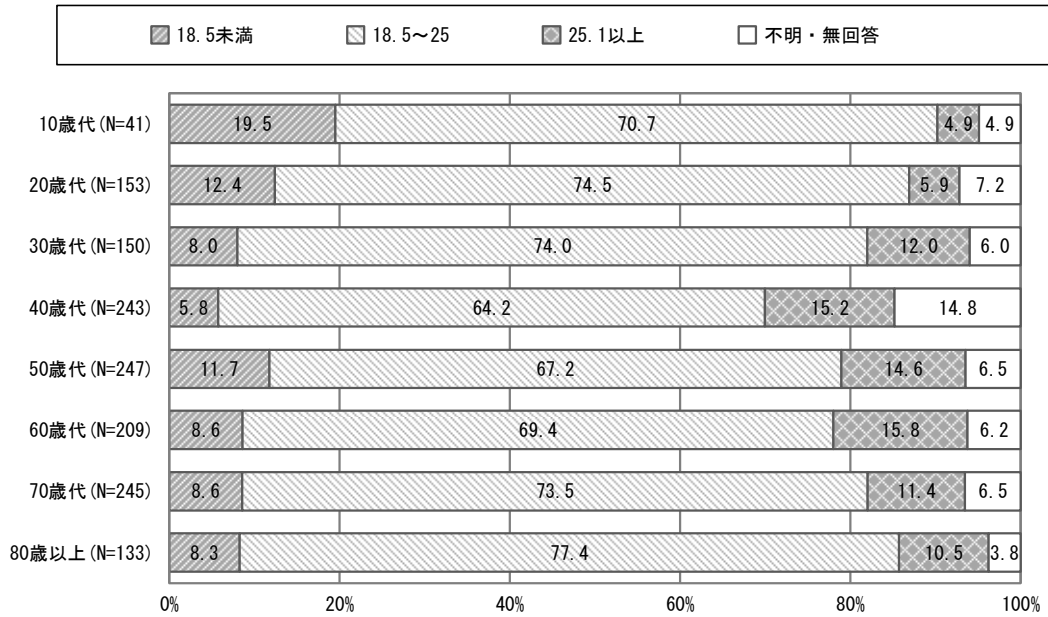


図 135 BMI 値（年代別）

◆地区別では、大きな差はみられないが、朝日ヶ丘小学校区、浜風小学校区は、「BMI値25.1以上」よりも「BMI値18.5未満」の方が高い。

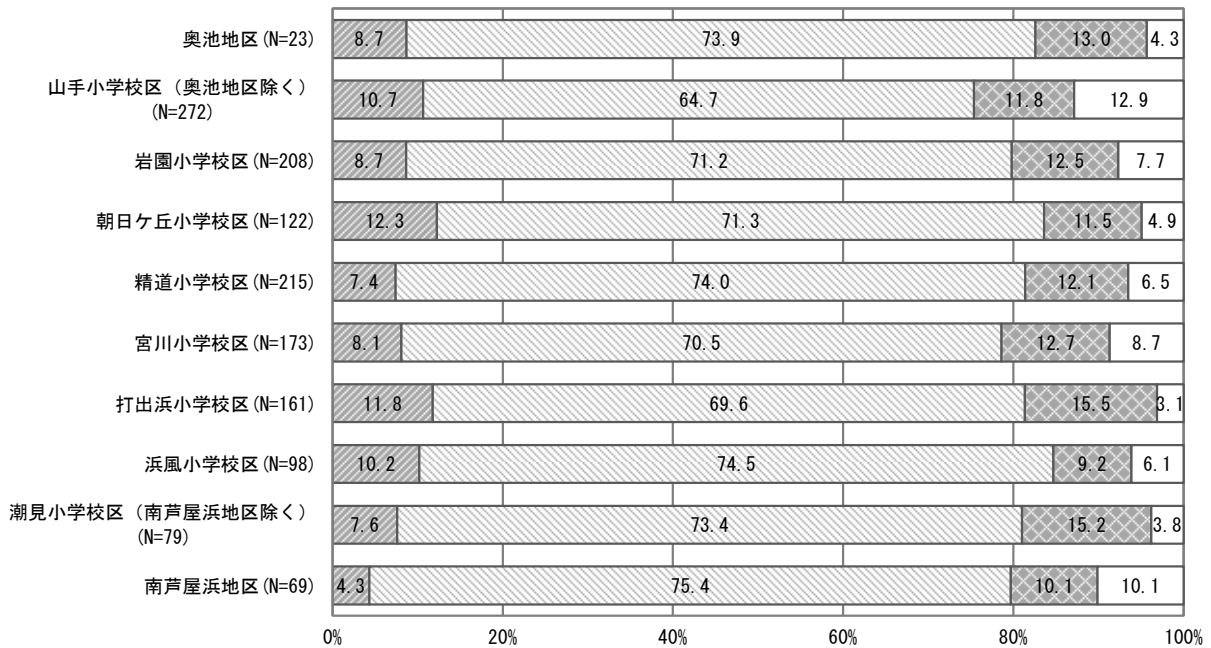


図 136 BMI 値（地区別）

V. 文化的なふれあいや学びについておたずねします。

問 19 あなたは、次の文化的資源をご存知ですか。また、利用・見学したことはありますか。①～⑥の各項目について、1～3から1つずつ選んで、数字に○をつけてください。

◆ 「知っている、利用・見学したことがある」、「知っているが、利用・見学したことはない」を合わせた『知っている』について、「②旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）」が最も高く76.0%であり、「④旧芦屋郵便局電話事務室（芦屋モノリス）」69.0%、「⑤旧松山家住宅松濤館（芦屋市立図書館打出分室）」64.3%、「⑥旧芦屋市宮宮塚町住宅」59.8%と続いている。

項目	回答数					割合				
	知っている、利用・見学したことがある	知っているが、利用・見学したことはない	知らない	不明・無回答	合計	知っている、利用・見学したことがある	知っているが、利用・見学したことはない	知らない	不明・無回答	合計
① 会下山遺跡	268	438	685	39	1,430	18.7	30.6	47.9	2.7	100.0
② 旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）	462	625	311	32	1,430	32.3	43.7	21.7	2.2	100.0
③ 芦屋仏教会館	157	662	574	37	1,430	11.0	46.3	40.1	2.6	100.0
④ 旧芦屋郵便局電話事務室（芦屋モノリス）	465	521	414	30	1,430	32.5	36.4	29.0	2.1	100.0
⑤ 旧松山家住宅松濤館（芦屋市立図書館打出分室）	458	462	479	31	1,430	32.0	32.3	33.5	2.2	100.0
⑥ 旧芦屋市宮宮塚町住宅	183	672	542	33	1,430	12.8	47.0	37.9	2.3	100.0

■ 知っている、利用・見学したことがある ■ 知っているが、利用・見学したことはない ▨ 知らない □ 不明・無回答

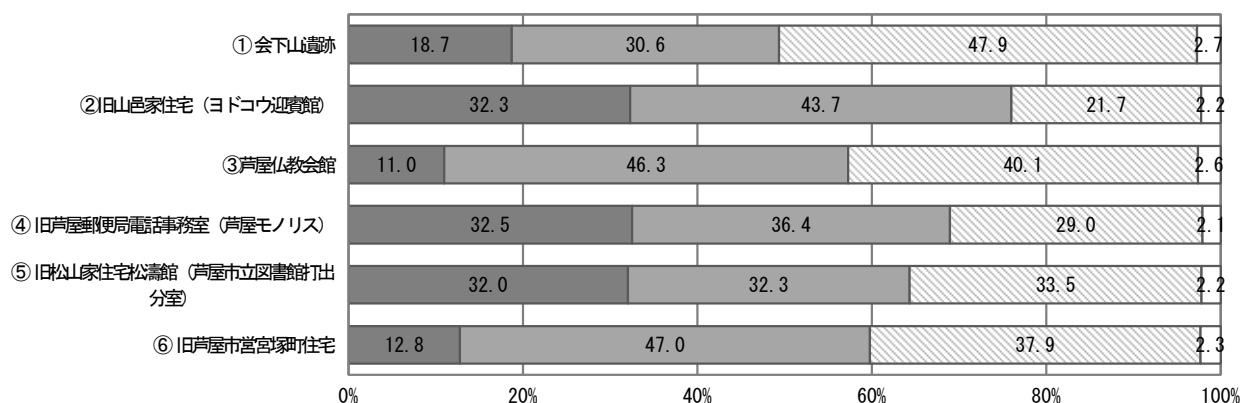


図 137 文化的資源の認知

※以下は、「知っている、利用・見学したことがある」「知っているが、利用・見学したことはない」を合わせた『知っている』について、属性ごとに集計しています。

◆性別では、全施設について、女性の方が高い。

		①会下山遺跡	②旧山邑家住宅 (ヨドコウ迎賓館)	③芦屋仏教会館	④旧芦屋郵便局 電話事務室 (芦屋モノリス)	⑤旧松山家住宅 松濤館 (芦屋市立図書館 打出分室)	⑥旧芦屋市営 宮塚町住宅
性別	男性	48.4	71.7	52.5	64.1	60.3	56.1
	女性	50.4	79.6	61.6	73.3	67.7	63.1

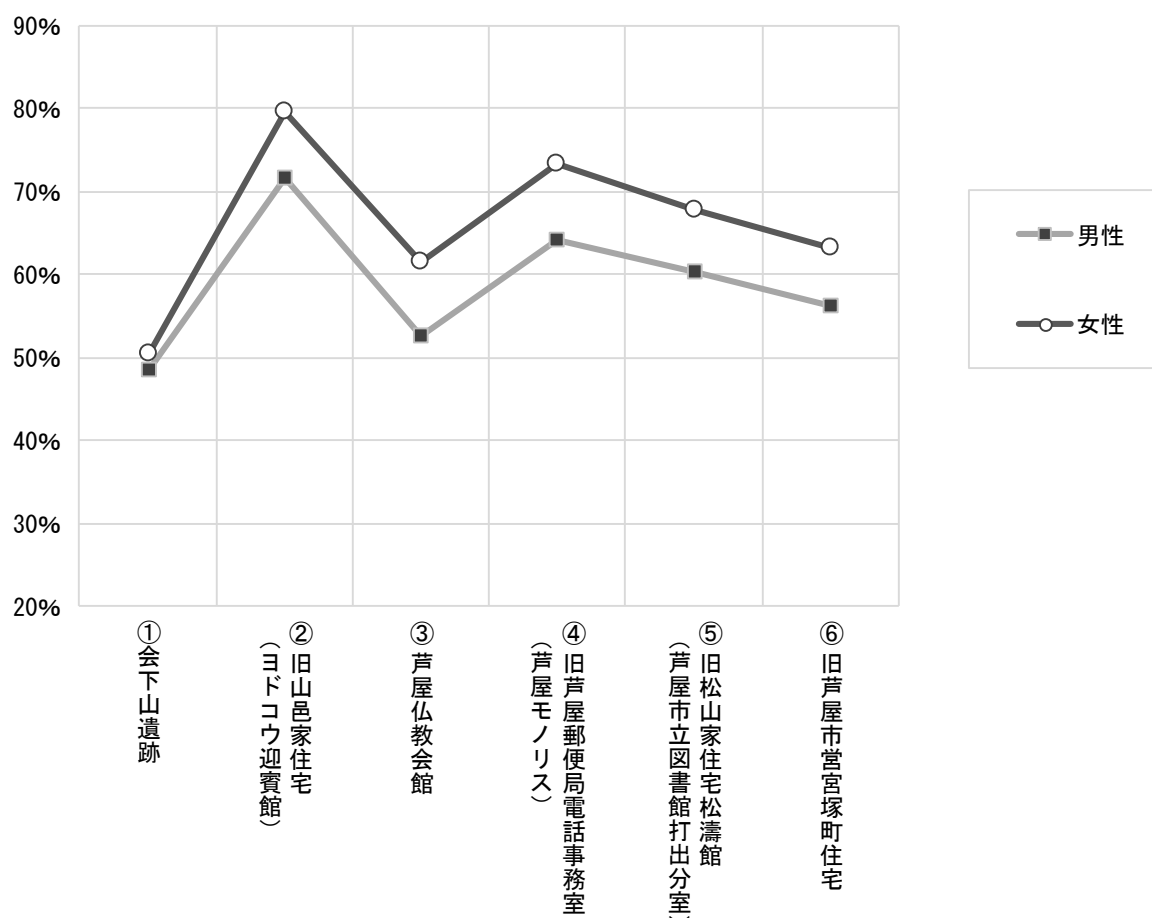


図 138 文化的資源の認知度 (性別)

◆年代別では、どの施設についても、年代が上がるほど（80歳以上は除く）認知度が高くなる傾向がみられる。

		①会下山遺跡	②旧山邑家住宅 (ヨドコウ迎賓館)	③芦屋仏教会館	④旧芦屋郵便局 電話事務室 (芦屋モノリス)	⑤旧松山家住宅 松濤館 (芦屋市立図書館 打出分室)	⑥旧芦屋市営 宮塚町住宅
年代別	10歳代	34.1	39.0	26.8	24.4	56.1	34.1
	20歳代	28.1	45.8	28.1	43.8	48.4	30.1
	30歳代	29.3	64.0	39.3	73.3	56.0	64.0
	40歳代	43.2	77.0	50.2	76.5	67.9	60.1
	50歳代	49.8	83.8	59.5	76.5	67.6	66.4
	60歳代	60.8	85.2	69.9	74.2	70.3	72.2
	70歳代	66.1	88.6	77.1	71.8	69.8	65.3
	80歳以上	64.7	82.0	73.7	66.2	62.4	54.9

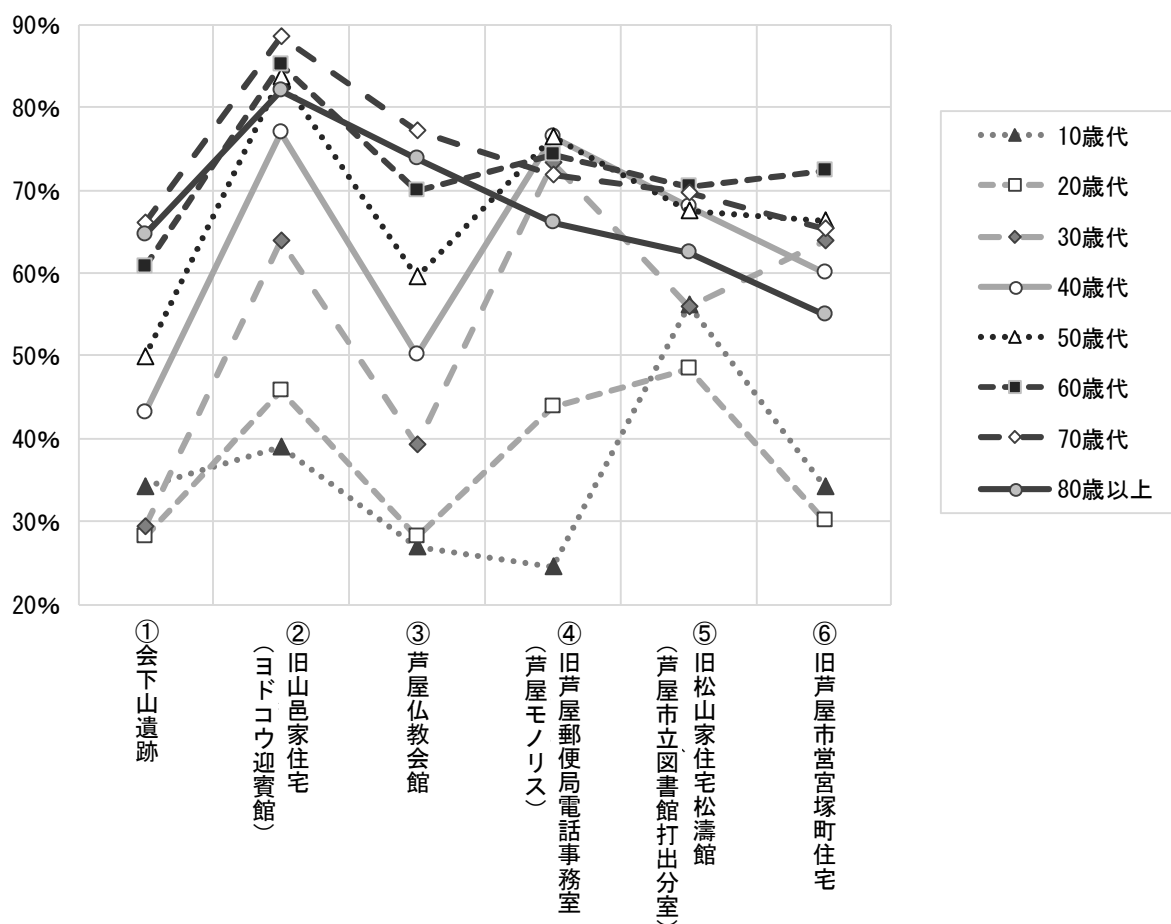


図 139 文化的資源の認知度（年代別）

◆地区別では、大きな差はみられないが、南芦屋浜地区での認知度が低い傾向がみられる。

		①会下山遺跡	②旧山邑家住宅 (ヨドコウ迎賓館)	③芦屋仏教会館	④旧芦屋郵便局 電話事務室 (芦屋モノリス)	⑤旧松山家住宅 松濤館 (芦屋市立図書館 打出分室)	⑥旧芦屋市営 宮塚町住宅
地区別	奥池地区	65.2	95.7	65.2	56.5	60.9	56.5
	山手小学校区 (奥池地区除く)	62.9	84.9	72.1	72.8	59.6	57.0
	岩園小学校区	51.4	79.3	53.8	66.8	72.6	60.6
	朝日ヶ丘小学校区	51.6	81.1	57.4	65.6	50.8	50.0
	精道小学校区	46.0	74.9	60.5	78.6	59.5	61.9
	宮川小学校区	35.8	68.8	49.7	73.4	74.0	73.4
	打出浜小学校区	40.4	66.5	46.6	61.5	72.0	59.0
	浜風小学校区	50.0	72.4	54.1	68.4	73.5	66.3
	潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く)	60.8	75.9	63.3	64.6	62.0	53.2
	南芦屋浜地区	33.3	66.7	40.6	56.5	47.8	49.3

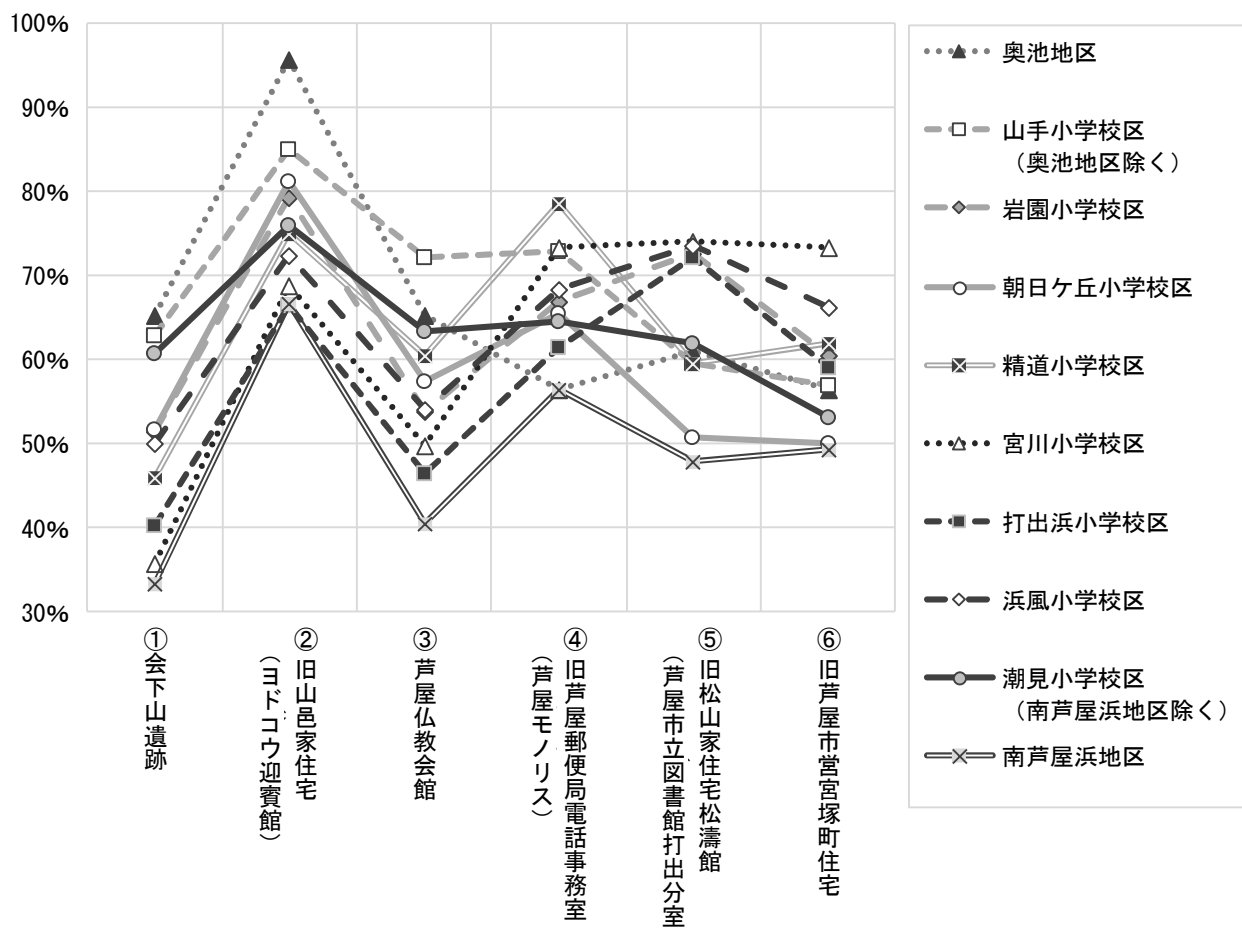


図 140 文化的資源の認知度 (地区別)

※以下は、「知っている、利用・見学したことがある」、「知っているが、利用・見学したことはない」を合わせた『知っている』について、施設の数を集計しています。

(①～⑥すべての施設において無回答であるサンプルは除いて集計しています。)

◆ 6か所の文化施設のうち、すべてを知っている人の割合は29.0%と最も高く、「4か所」15.6%、「5か所」16.9%、「6か所」を合わせた過半数の4か所以上知っている人の割合は6割を上回っている。

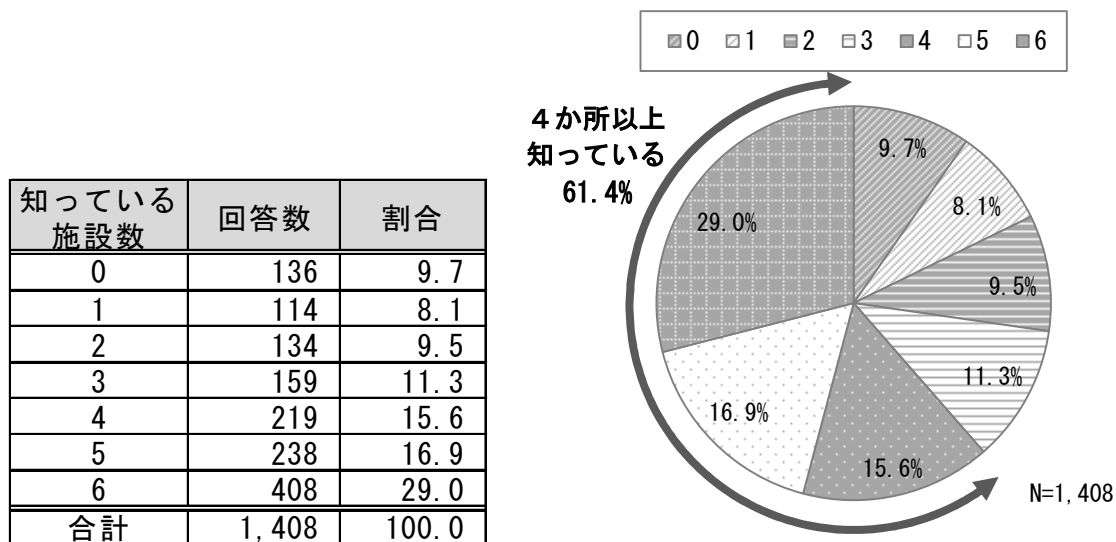


図 141 知っている文化的資源の数

問 20 あなたは、映画・音楽・美術・読書・スポーツ等の文化に触れる体験のため、どれくらいの頻度で外出していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「月1回以上」が42.5%と最も高く、「年数回程度」35.0%、「年1回程度」7.2%、「年1回未満」4.9%と合わせた『外出している』89.6%は、「外出していない」8.9%の10倍を上回っている。



	項目	回答数	割合
1	月1回以上	608	42.5
2	年数回程度	500	35.0
3	年1回程度	103	7.2
4	年1回未満	70	4.9
5	外出していない	127	8.9
	不明・無回答	22	1.5
	合計	1,430	100.0

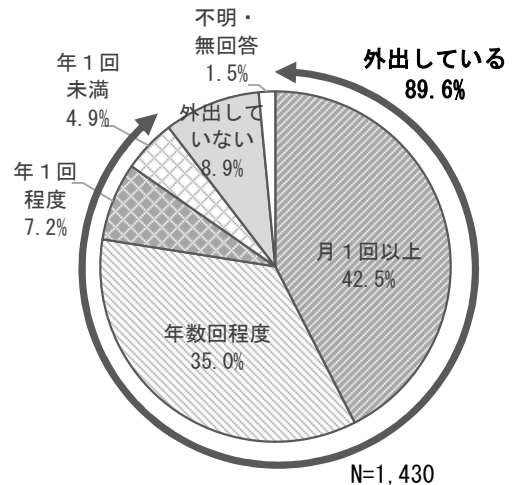


図 142 文化に触れる体験のための外出頻度

◆性別では、大きな差はみられない。

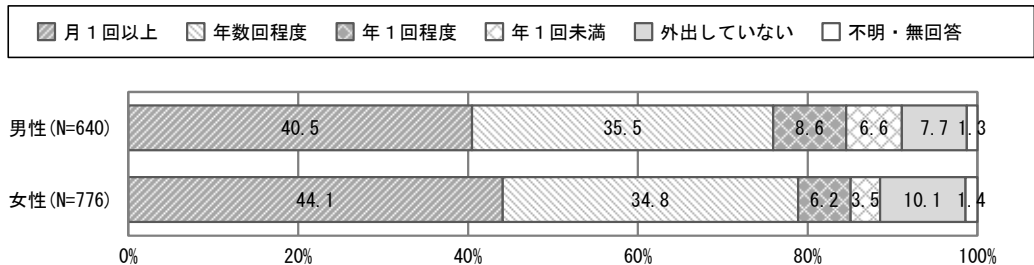


図 143 文化に触れる体験のための外出頻度（性別）

◆年代別では、「月1回以上」について、20歳代が最も高く、30歳代が最も低い。

◆「外出していない」については、80歳以上が約20%となっている。

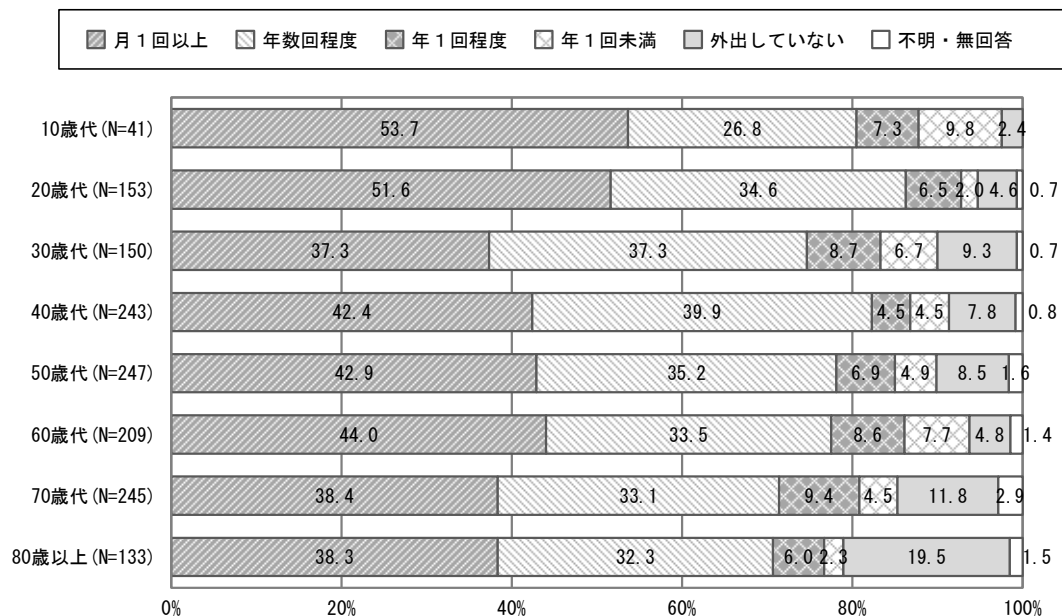


図 144 文化に触れる体験のための外出頻度（年代別）

◆地区別では、「月1回以上」について、潮見小学校区が最も高く、打出浜小学校区が最も低い。

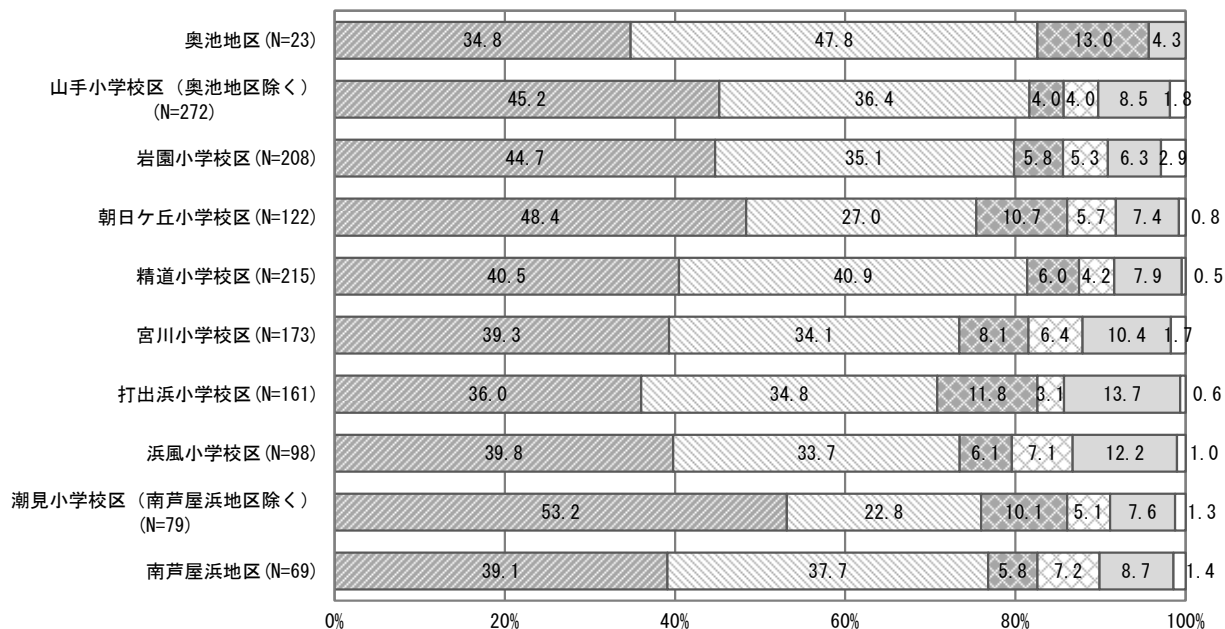


図 145 文化に触れる体験のための外出頻度（地区別）

問 21 あなたは、知識・技術の習得など、自分の学びのため、学習会・セミナーへの参加などの機会がどれくらいの頻度でありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「参加していない」が41.7%と最も高いが、「月1回以上」17.1%、「年数回程度」19.7%、「年1回程度」10.1%、「年1回未満」9.7%を合わせた『参加している』56.6%は、「参加していない」より高い。

■ 月1回以上 ■ 年数回程度 ■ 年1回程度 ■ 年1回未満 ■ 参加していない □ 不明・無回答

	項目	回答数	割合
1	月1回以上	245	17.1
2	年数回程度	282	19.7
3	年1回程度	145	10.1
4	年1回未満	138	9.7
5	参加していない	596	41.7
	不明・無回答	24	1.7
	合計	1,430	100.0

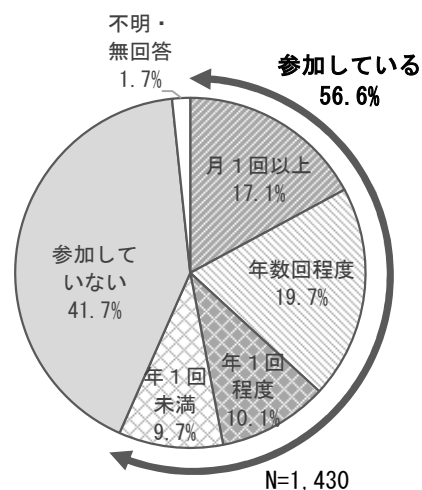


図 146 自分の学びのための機会の頻度

◆性別では、大きな差はみられない。

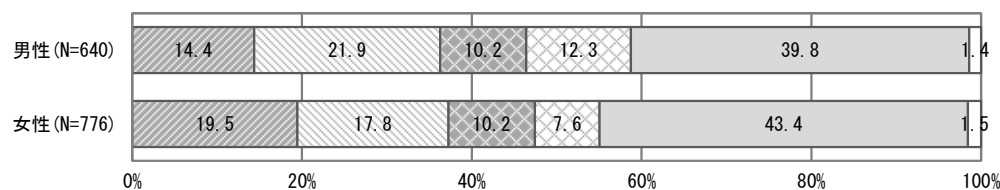


図 147 自分の学びのための機会の頻度（性別）

◆年代別では、『参加している』について、40歳代が最も高く、それ以外の年代では大きな差はみられない。

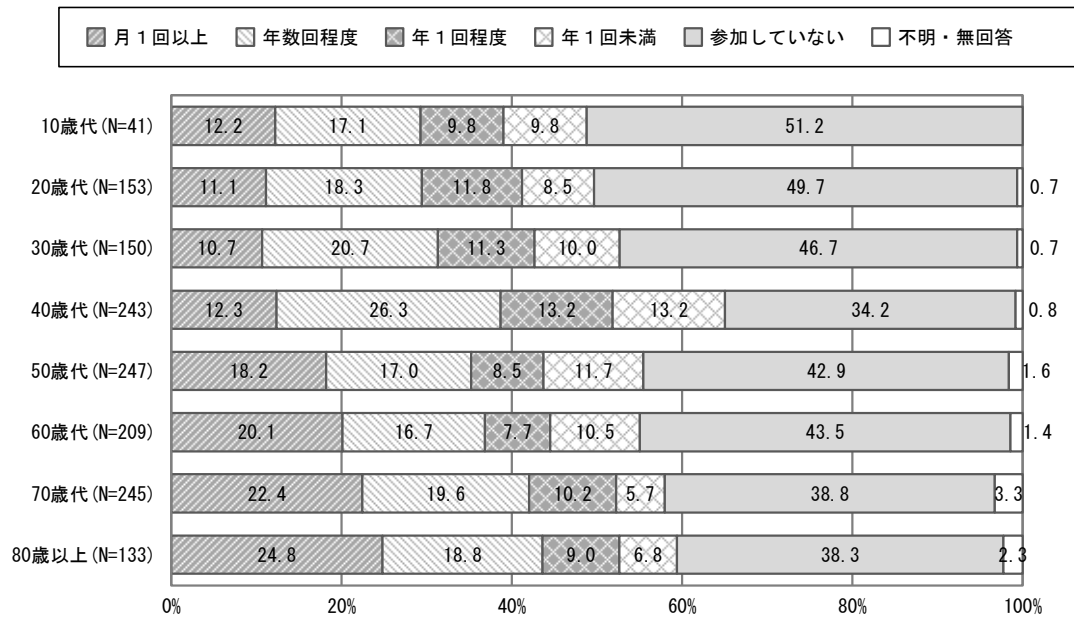


図 148 自分の学びのための機会の頻度（年代別）

◆地区別では、『参加している』について、潮見小学校区、山手小学校区が高く、精道小学校区が最も低い。

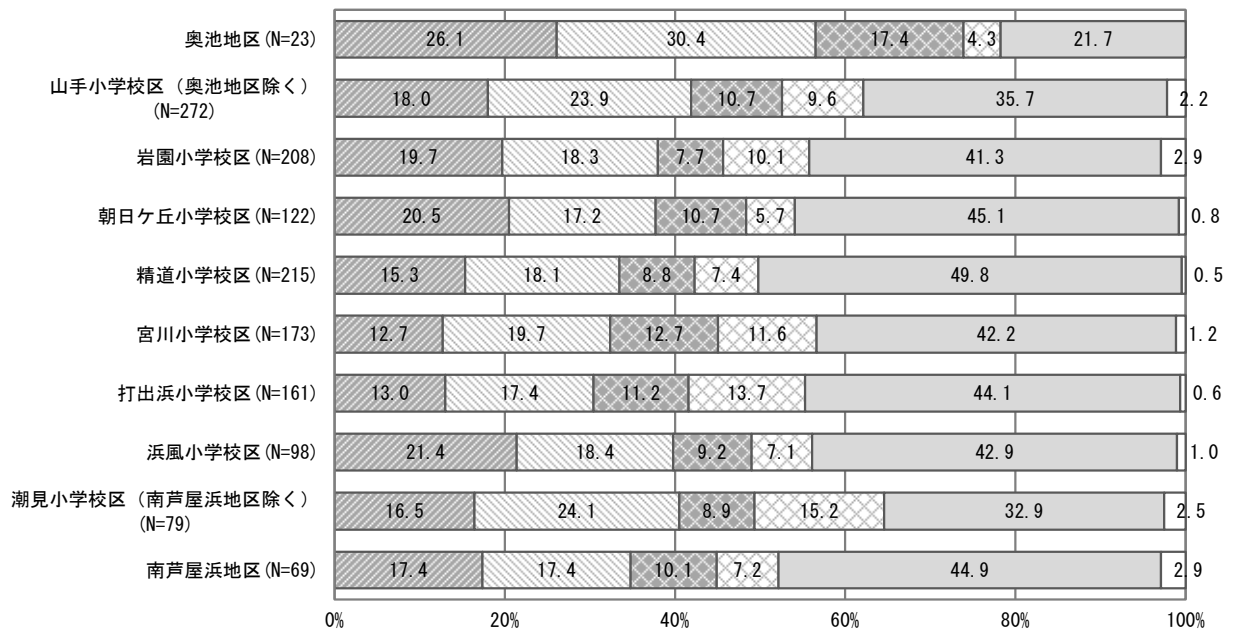


図 149 自分の学びのための機会の頻度（地区別）

VI. これからの公共施設等についておたずねします。

問 22 あなたはどの程度、芦屋市の公共施設を利用していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「年に数回」が29.4%と最も高く、「毎日」1.3%、「週に数回」8.7%、「月に数回」22.9%、「半年に数回」10.4%と合わせた『利用している』72.7%は、「利用しない」26.4%の2倍を上回っている。

■ 毎日 ■ 週に数回 ■ 月に数回 ■ 半年に数回 ■ 年に数回 ■ 利用しない □ 不明・無回答

	項目	回答数	割合
1	毎日	18	1.3
2	週に数回	125	8.7
3	月に数回	327	22.9
4	半年に数回	149	10.4
5	年に数回	420	29.4
6	利用しない	377	26.4
	不明・無回答	14	1.0
	合計	1,430	100.0

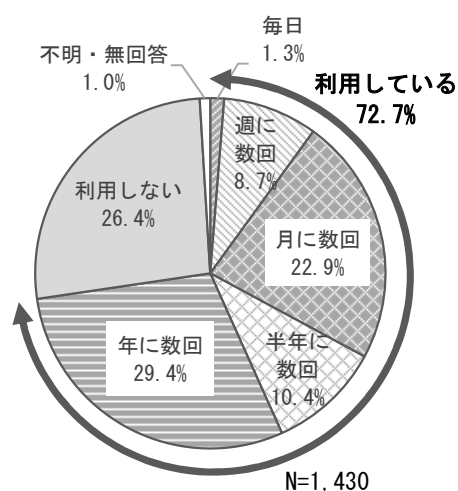


図 150 芦屋市の公共施設の利用頻度

◆性別では、大きな差はみられないが、『利用している』について、女性より男性の方が高い。

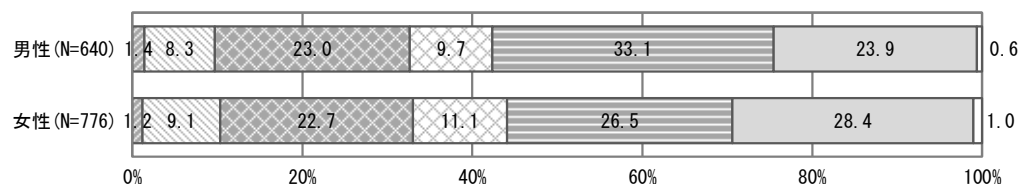


図 151 芦屋市の公共施設の利用頻度 (性別)

◆年代別では、『利用する』について、30歳代、40歳代が高く、約80%となっている。

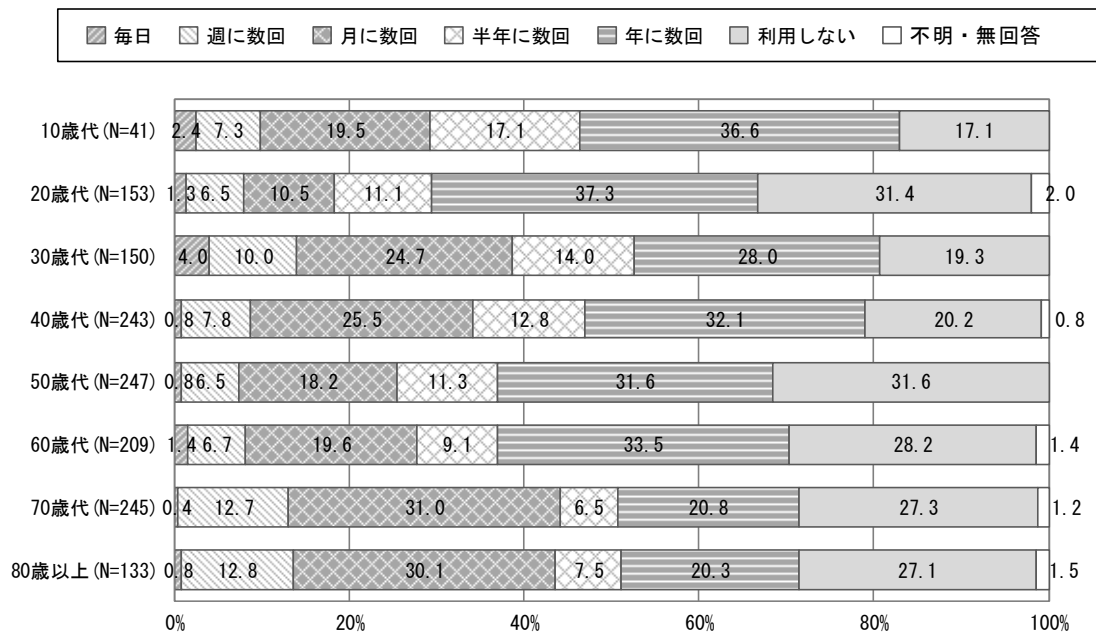


図 152 芦屋市の公共施設の利用頻度（年代別）

◆地区別では、大きな差はみられない。

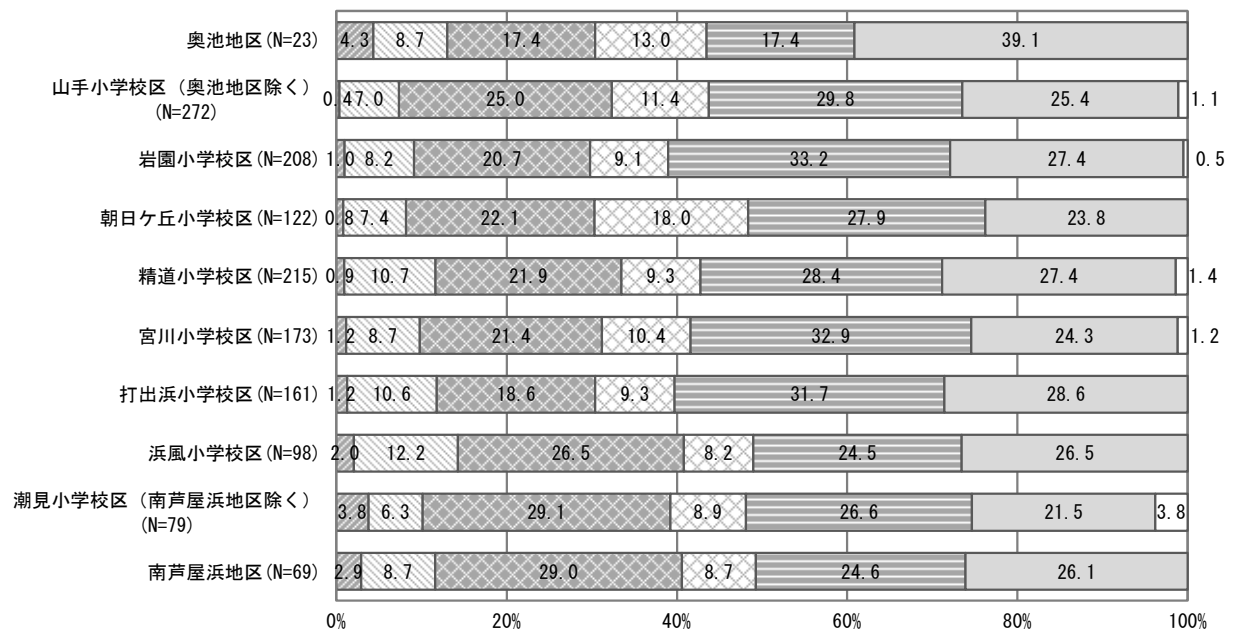
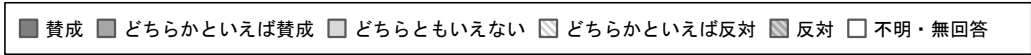


図 153 芦屋市の公共施設の利用頻度（地区別）

問 23 今後、存続する公共施設について、維持・管理に必要な費用は、利用者の負担を更に高めるべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- ◆ 「どちらともいえない」が38.0%と最も高い。
- ◆ 「賛成」10.8%と「どちらかといえば賛成」26.9%を合わせた『賛成』37.7%は、「どちらかといえば反対」14.0%と「反対」9.0%を合わせた『反対』23.0%よりも高い。



	項目	回答数	割合
1	賛成	154	10.8
2	どちらかといえば賛成	385	26.9
3	どちらともいえない	543	38.0
4	どちらかといえば反対	200	14.0
5	反対	129	9.0
	不明・無回答	19	1.3
	合計	1,430	100.0

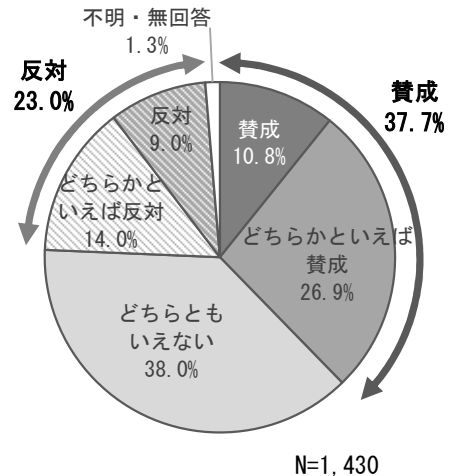


図 154 公共施設の維持管理費に対する利用者負担増への意向

- ◆ 性別では、男性は『賛成』が高く、女性は「どちらともいえない」が高い。

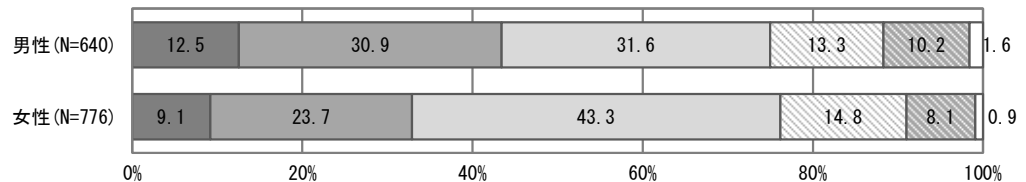


図 155 公共施設の維持管理費に対する利用者負担増への意向（性別）

◆年代別では、『賛成』『どちらともいえない』『反対』で比較すると、60歳代、80歳以上は、『賛成』が最も高く、それ以外の年代では、「どちらともいえない」が最も高い。

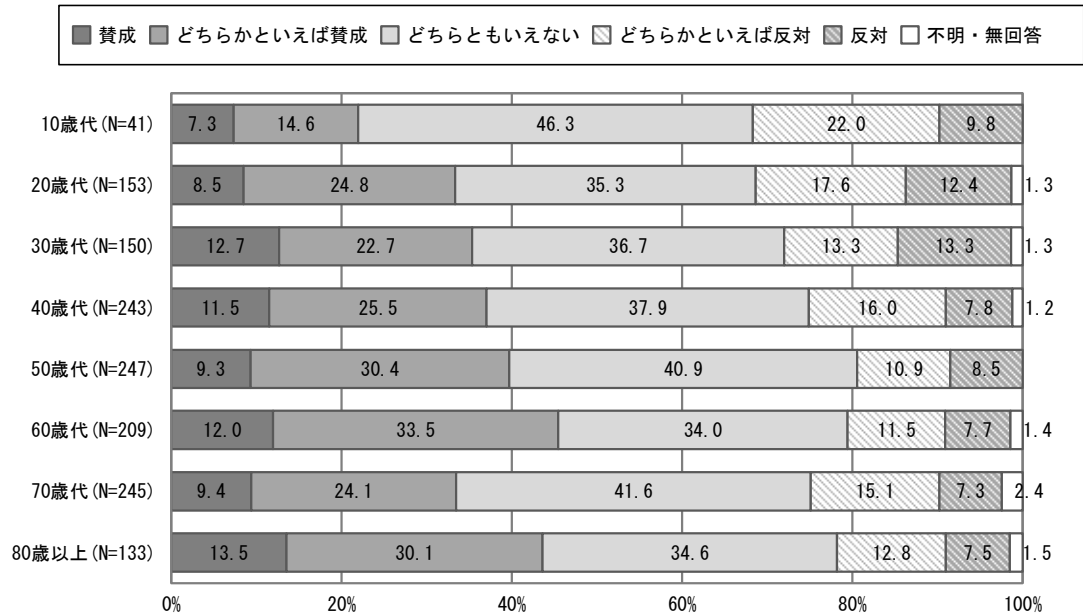


図 156 公共施設の維持管理費に対する利用者負担増への意向（年代別）

◆地区別では、『賛成』について大きな差はみられないが、「どちらともいえない」について、南芦屋浜地区が高い。

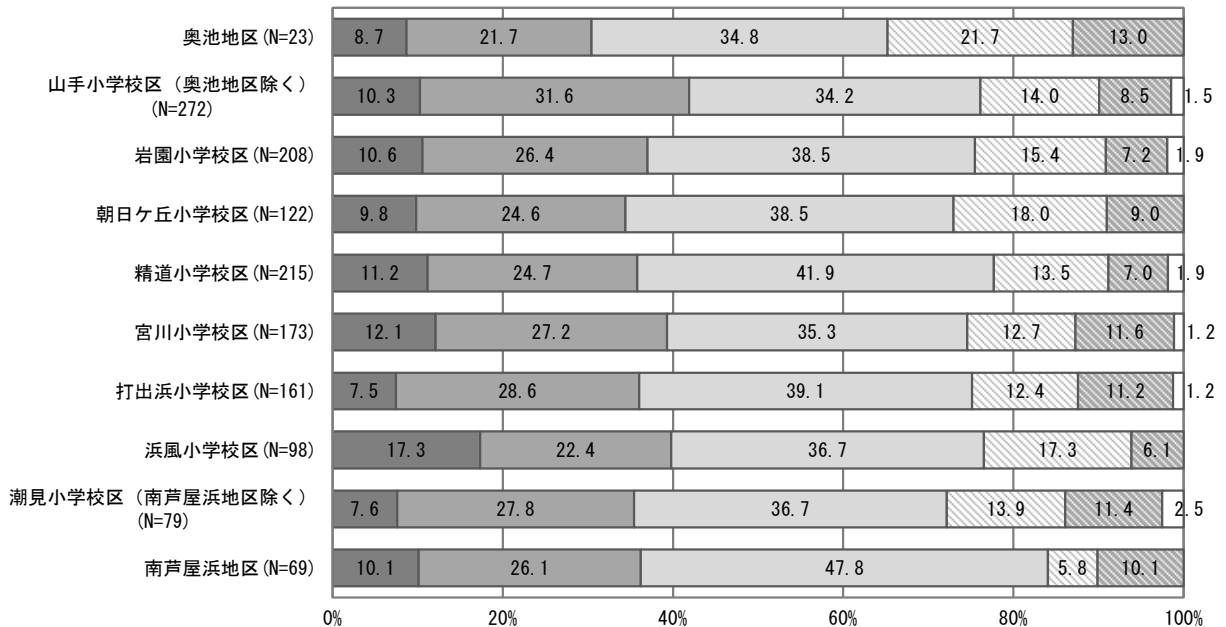


図 157 公共施設の維持管理費に対する利用者負担増への意向（地区別）

問 24 統廃合や機能の複合化・多機能化による公共施設の削減についてお考えをお聞きます。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

◆「削減はやむを得ない」が47.3%と最も高く、「削減を積極的に進めるべきである」8.2%と合わせた『削減』55.5%は、「現在の量を維持すべきである」24.3%の2倍を上回っている。

■ 削減を積極的に進めるべきである ■ 削減はやむを得ない ▨ 現在の量を維持すべきである □ わからない □ 不明・無回答

	項目	回答数	割合
1	削減を積極的に進めるべきである	117	8.2
2	削減はやむを得ない	676	47.3
3	現在の量を維持すべきである	347	24.3
4	わからない	270	18.9
	不明・無回答	20	1.4
	合計	1,430	100.0

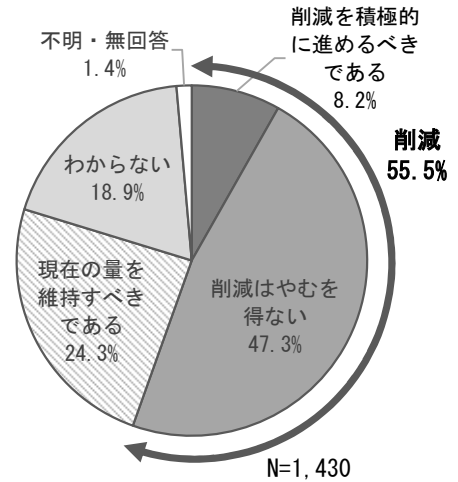


図 158 公共施設の削減に対する意向

◆性別では、『削減』について、女性よりも男性の方が高い。

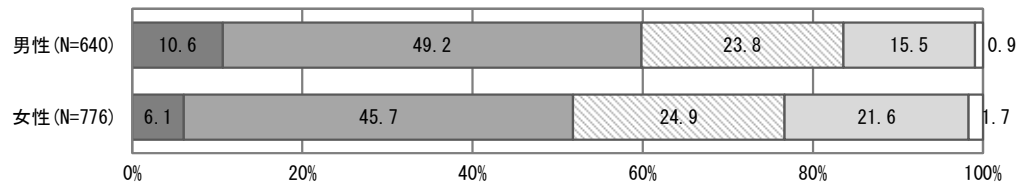


図 159 公共施設の削減に対する意向（性別）

◆年代別では、『削減』について30歳代が最も高く、80歳以上が最も低い。

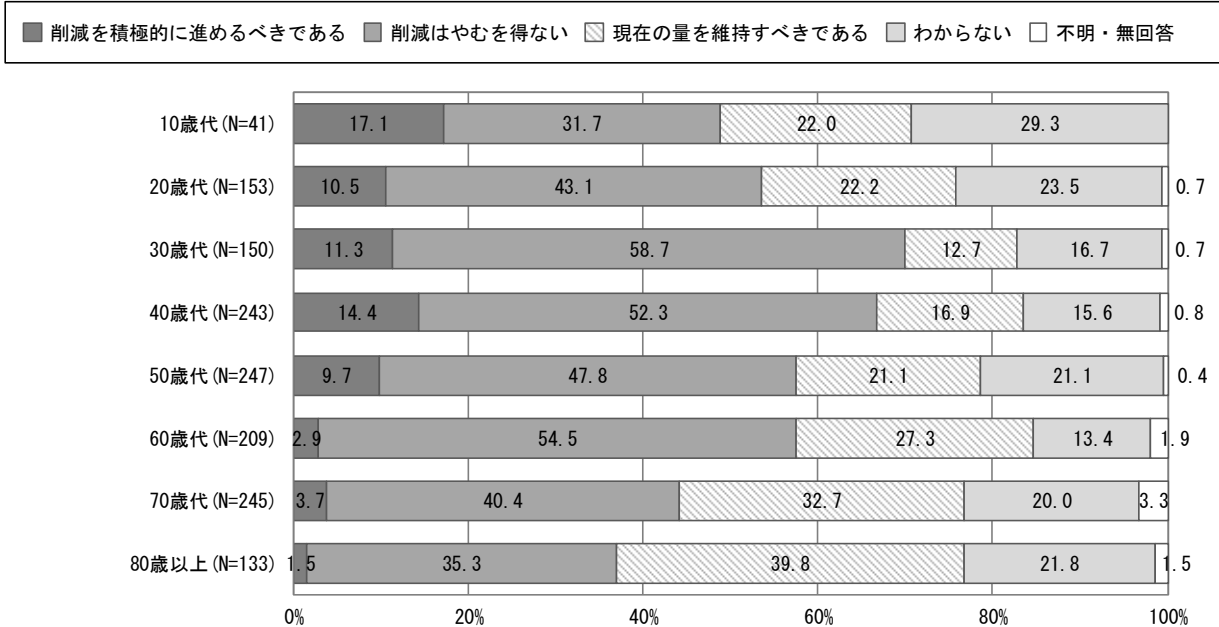


図 160 公共施設の削減に対する意向（年代別）

◆地区別では、大きな差はみられないが、『削減』について山手小学校区が最も高く、浜風小学校区が最も低い。

◆「わからない」について、南芦屋浜地区が最も高い。

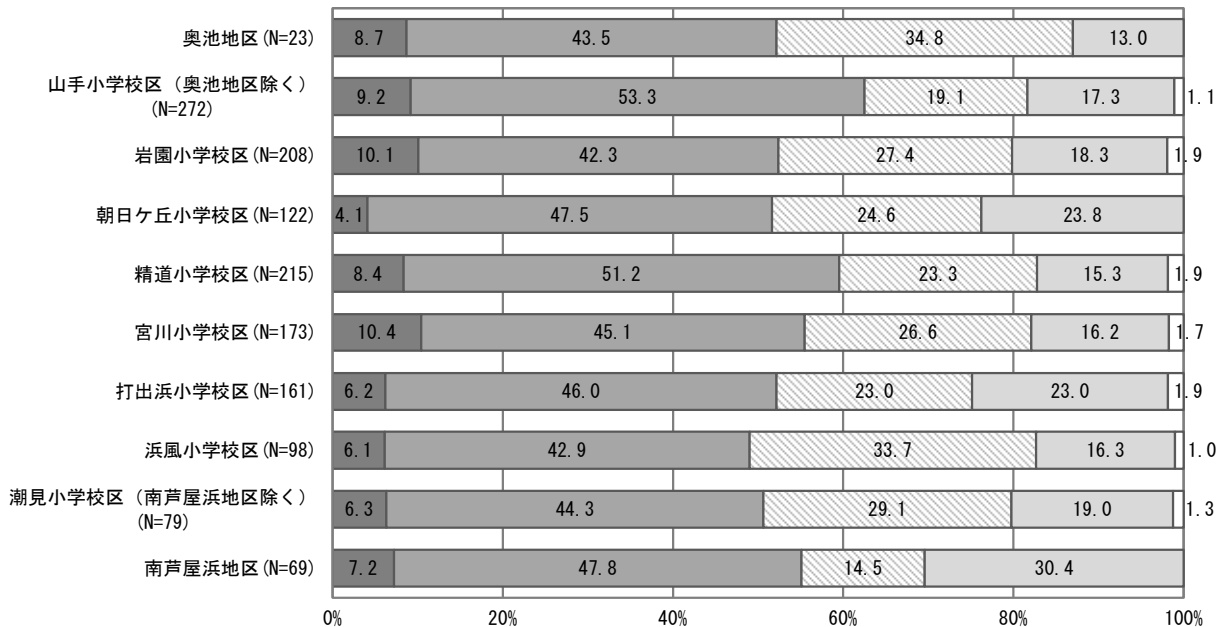


図 161 公共施設の削減に対する意向（地区別）

問 25 統廃合による公共施設の最適配置を進めるにあたり、どのような手法が適当と思いますか。次の中からすべて選んで、数字に○をつけてください。

◆ 「行政による施設の保有にこだわらず民間活力を積極的に導入し、公共サービスの提供を行う」が47.4%と最も高く、「庁舎、学校等の大型施設を活用し複合化・多機能化を図ることで、施設数を減らす」32.8%、「地域に密着した施設は、地域団体等が保有し維持管理を行う」28.7%と続いている。

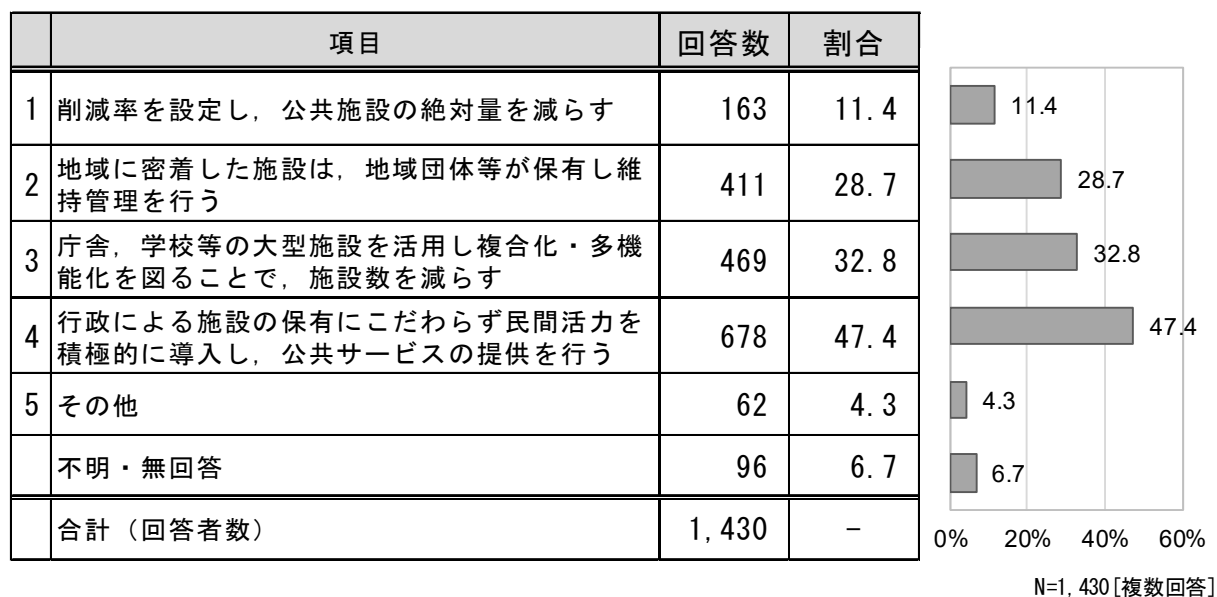


図 162 公共施設の最適配置に対する適当な手法

- ◆性別では、大きな差はみられない。
- ◆年代別では、大きな差はみられず「行政による施設の保有にこだわらず民間活力を積極的に導入し、公共サービスの提供を行う」が最も高いが、次いで高い項目について、70歳代、80歳以上は、「地域に密着した施設は、地域団体等が保有し維持管理を行う」となっている。
- ◆地区別では、傾向に大きな差はみられず、どの地区も「行政による施設の保有にこだわらず民間活力を積極的に導入し、公共サービスの提供を行う」が最も高いが、次いで高い項目について、浜風小学校区は「地域に密着した施設は、地域団体等が保有し維持管理を行う」となっている。

	削減率を設定し、公共施設の絶対量を減らす	地域に密着した施設は、地域団体等が保有し維持管理を行う	庁舎、学校等の大型施設を活用し、多機能化を図ることで、施設数を減らす	行政による施設の保有にこだわらず民間活力を積極的に導入し、公共サービスの提供を行う	その他	不明・無回答
市全体 (N=1,430)	11.4	28.7	32.8	47.4	4.3	6.7
性別						
男性 (N=640)	13.6	27.3	31.9	48.9	5.0	4.8
女性 (N=776)	9.4	30.2	33.9	46.5	3.9	7.9
年代別						
10歳代 (N=41)	14.6	31.7	22.0	46.3	2.4	4.9
20歳代 (N=153)	13.7	29.4	36.6	41.2	0.0	7.2
30歳代 (N=150)	13.3	24.7	39.3	41.3	2.7	3.3
40歳代 (N=243)	13.6	24.7	33.3	46.5	5.8	4.9
50歳代 (N=247)	8.9	26.7	29.6	53.0	6.1	3.6
60歳代 (N=209)	11.5	30.1	36.4	49.8	6.2	5.7
70歳代 (N=245)	11.4	31.8	31.0	49.8	4.9	8.2
80歳以上 (N=133)	5.3	36.8	27.1	45.9	2.3	17.3
地域別						
奥池地区 (N=23)	13.0	47.8	21.7	47.8	8.7	4.3
山手小学校区 (奥池地区除く)	13.2	29.4	36.0	42.6	4.4	5.9
岩園小学校区 (N=208)	13.9	24.5	33.2	46.6	4.8	6.7
朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	13.1	23.0	31.1	53.3	3.3	5.7
精道小学校区 (N=215)	9.8	32.1	33.5	51.6	3.7	5.1
宮川小学校区 (N=173)	12.1	29.5	32.9	48.0	3.5	5.2
打出浜小学校区 (N=161)	8.7	29.2	34.2	40.4	5.0	8.7
浜風小学校区 (N=98)	9.2	32.7	28.6	60.2	5.1	4.1
潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く)	8.9	32.9	36.7	44.3	6.3	8.9
南芦屋浜地区 (N=69)	7.2	23.2	24.6	47.8	2.9	13.0

※網掛け部分は市全体より5%以上高い項目

図 163 公共施設の最適配置に対する適当な手法（紙面回答：性別、年代別、地区別）

その他として回答された自由記述意見

※公共施設の最適配置に対する適当な手法「5. その他」延べ45件には、次のような回答がありました。

意見分類	延べ件数
公共施設の最適配置手法	22
統廃合の必要性について、施設ごとに検証すべき	3
施設ごとに異なる手法、複数の手法を使うべき	2
現在の運営方法が健全なのかを確認すべき	1
現在ある公共施設に機能を付加させてはどうか	1
AIの活用により、施設の無人化を図る	1
施設ごとに必要性を検討し、必要な施設のみ市が管理する	1
市の将来像に合致する環境を整えるべき	1
民間サービスの積極利用はよいことだが、業者丸投げでコスト増とならないようにすべき	1
わからない・不明	11
その他意見	23
費用の捻出方法を検討すべき	6
現状を維持してほしい	3
負担増による統廃合・削減を前提にするのはどうかと思う	2
統廃合が必要な施設とは具体的にどの施設なのか	2
公共施設は削減よりも、増強すべき	1
地域団体に頼らず、行政が責任を持って管理すべき	1
今後、大型、多数施設の新設は不要だと思う	1
建設費を減らしてはどうか	1
新設は不要	1
市民が利用する施設に注力してほしい	1
施設の規模は小さくてよい	1
施設のきれいさの優先順位は低くてよい	1
図書館・保育所・幼稚園は市で保有すべき	1
施設を削減した分、サービス内容を充実させてほしい	1
その他	6

Ⅶ. まちづくり全般についておたずねします。

問 26 今後の芦屋市のまちづくり全般について、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

◆芦屋市のまちづくり全般について、延べ844件の回答があった。

◆施策項目別に整理すると、「⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる」が131件で最も多く、「⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている」が125件、「まちづくり全体について」が93件、「⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている」が84件、「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」が68件と続いている。

施策名	述べて件数
まちづくり全体について	93
① 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	32
② 未来への道を切り拓く力が育っている	34
③ 生涯を通じた学びの文化が醸成されている	23
④ あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	35
⑤ 健康になるまちづくりが進んでいる	13
⑥ 良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	84
⑦ 災害に強いまちづくりがすすんでいる	41
⑧ 日常の安全安心が確保されている	52
⑨ 住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	125
⑩ 持続可能なインフラ整備が進んでいる	131
⑪ 協働の意欲が高まり地域主体のまちづくりが進んでいる	50
⑫ 人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	68
⑬ 急速な社会変化に対応できる組織になっている	21
その他	42

※網掛け部分は上位5位の項目

意見分類	延べ件数
まちづくり全体について	93
若者にやさしく、選ばれる活気あるまちにしてほしい	16
芦屋ブランドを高める(維持する)	9
住環境が魅力的、満足している	7
ブランドにとらわれず施策を展開する	6
コンパクトな市だからこそできる個性的なまちづくりを	5
今のまちづくりの継続を	4
福祉が充実したまちづくりを	3
昔からの古き良き芦屋と便利で住みやすいまちの両立を	3
高齢者、子育て世代以外の働いて納税している世代を厚遇してほしい	3
南芦屋浜の有効活用を検討してほしい	3
「芦屋ブランド」というが誇るべき中身がない	2
住みやすく、魅力あるまちにしてほしい	2
すばらしいまちづくりを	2
住民の立場に立ったまちづくりをしてほしい	2
社会的インフラの更新計画を分かりやすく示してほしい	2
市に適切なリーダーシップをとってほしい	2
他市の人が訪れなくなる魅力を創出してほしい	1
周辺自治体と手を組んで一体となったまちづくりを	1
人口を増やすための施策実行が急務	1
市外からの転入者への補助金制度をつくるべき	1
地域の人が顔見知りになると犯罪抑止、災害時の共助につながる	1
他都市の人が住みたいと思うようなまちづくりを	1
まちに活気がなく、高齢化している	1
住んでいることに誇りが持てるまちに	1
かつて芸術の街であった芦屋をまた芸術家が集うような場所にしてほしい	1
100年先を見据えたまちづくりを	1
心豊かな幸せを実感できるまちづくり	1
細やかな気配りの届いたまちづくりを	1
明るくて華のあるまちづくりを	1
若者が少ない	1
理想的なまちを作るため、専門家の意見の導入、市民コンペをしてはどうか	1
リラックスできる場所を増やしてほしい	1
芦屋市の面積を増やさないでほしい	1
おだやかで美しい芦屋市であってほしい	1
山手幹線北側のインフラ整備をしてほしい	1
全国的に社会インフラの維持が大変な時代。できることから取り組んでほしい	1
新旧のまちが混在し、市全体として一体感がない	1
芦屋市に住む職員を増やし、地域の実情を知ってほしい	1
①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	32
出産・子育てへの支援をまちづくりの重点に	8
若いファミリー、子育て世代が住みたくなるまちにしてほしい	6
共働き世帯への子育て支援の充実	3
子育て施設を充実してほしい	3
認可保育園を増やしてほしい	2
学童保育を充実してほしい	2
若い世代に対して教育費などの補助金制度を作してほしい	2
待機児童を減らす取り組みをしてほしい	1
子どもの医療費免除、助成、給付を考えてほしい	1
高校まで教育は無償化してほしい	1
教科書を無料化してほしい	1
子どもを増やすため、出産に対する補助をしてはどうか	1
成功事例(明石市など)を見習ってはどうか	1

意見分類	延べ件数
②未来への道を切り拓く力が育っている	34
子どもの遊び場を充実してほしい	6
公立小中学校の教育レベルを高めてほしい	3
南芦屋浜に学校を建設してほしい	3
偏りのある校区の広さを是正してほしい	2
子どもが安心して育っていける環境づくりをしてほしい	2
親から子どもに対するしつけが悪い	1
学生にとって心の拠り所と思えるような市であってほしい	1
青少年のモラルの高揚を望む	1
子どもたちが生活しやすいまちづくり	1
乳児以外の子どもへのサポートの充実	1
地域の公立学校に通いたいと思ってもらえる努力を	1
公立幼稚園にプレスクール制をつくってほしい	1
小学校を統合し、児童数を増やして活性化してほしい	1
こども園の保育士のレベルを高めてほしい	1
給食に期待している	1
園庭のある保育園を整備してほしい	1
小学校を選択制にしてほしい	1
小学校の図書室を未就学児にも開放してほしい	1
親子イベント(土日開催など)を増やしてほしい	1
子どもがスポーツ、文化にたくさん触れ合えるようにしてほしい	1
学生のための自習室がほしい	1
学生への援助を増やしてほしい	1
遠方から公立中学校へ通う生徒に自転車通学を許可してほしい。	1
③生涯を通じた学びの文化が醸成されている	23
文化施設を増やしてほしい	5
行政主体のイベントの拡充	3
図書館の蔵書数、開館時間、閲覧スペースなど改善してほしい	3
市立美術博物館の活動内容を見直してほしい	2
伝統ある文化を残してほしい	2
文化・芸術・体育活動への投資を増やして育ててほしい	1
日本の伝統文化が根付いていない	1
図書館サービス・蔵書の充実や利用時間を拡大してほしい	1
図書館への市民寄付などを検討してもよいのでは	1
高齢者のスキルを活かせる取組を充実させてほしい	1
官民が協力して、新たに人が参加しやすい事業・行事をしてほしい	1
定期的なイベント開催に参加し、友達を作りたい	1
文化的で多様性のある社会生活を誰もが送れるまちづくりを行政とともに作りあげたい	1
④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	35
高齢者が住みよいまちづくりをしてほしい	8
貧困者・低所得者対策を充実してほしい	4
高齢者施設を整備してほしい	4
高齢者が外出しやすいよう移動サービスがほしい	4
誰もが住みよい(共存共栄の)まちに	3
心豊かな人々の集まるまちであってほしい	2
高齢者のみ・障がいのある人だけの世帯のサポート体制を充実してほしい	2
高齢者と子ども・若者のコミュニケーションを図ってほしい	1
退職後のコミュニティづくりに向けた場を提供してほしい	1
空き教室などを利用し、未就学児、高齢者、障がいのある人の集える場所を作ってほしい	1
住民同士のコミュニケーションが少なく感じる	1
生活保護制度を適正に運用してほしい	1
高齢者向け施設が多すぎる	1
公共施設に食堂を入れるなどして、高齢者が自立して生活できるようにしては	1
自治体によるシニアカーを充実させてほしい	1

意見分類	延べ件数
⑤ 健康になるまちづくりが進んでいる	13
新型コロナウイルス感染症対策に力を入れてほしい	3
スポーツ施設(利便性)を充実してほしい	2
高齢者の心身の健康対策を充実してほしい	1
高齢者用に体操教室があり、満足している	1
高齢化で人が増えているため、保健センター運動教室の下限年齢上げを	1
高齢者専用の筋力アップのためのジムがほしい	1
ウォーキングコース、ハイキングコースを整備してほしい	1
民間レンタサイクル設置を実施してほしい	1
すべての人に健康と福祉の推進を	1
医療費の削減への施策実行が必要	1
⑥ 良質な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	84
動物愛護活動のルール(指針)が守られておらず困る	7
清潔まなちであってほしい	7
ゴミステーション整備、快適化を進めてほしい	6
庶民的なお店がほしい	6
ハト・カラス・犬猫の糞尿対策を考えてほしい	5
駅周辺や商店街を活性化させてほしい	5
行政サービスの充実を	5
子育て世代・若者に魅力的な商業施設、お店をつかってほしい	4
大規模商業施設や飲食店を増やしてほしい	3
たばこやゴミのポイ捨てを取り締まってほしい	2
喫煙禁止区域の徹底、エリアの拡大を図ってほしい	2
愛犬家、ペットに住みよいまちをつかってほしい	2
ゴミ収集の強化(大型・粗大ゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミ)	2
ゴミ削減のためにゴミ収集の有料化を早急にしてほしい	2
喫煙所から漏れる煙を対処してほしい	1
公園など公共施設の利用が多いため、犬の税金などを徴収してはどうか	1
ペット条例を作り、ペット葬儀会社が増えないようにしてほしい	1
朝日ヶ丘に新たに病院ができ、救急車の音が静けさを壊している	1
ごみのポイ捨て防止にごみ箱を設置してほしい	1
市民のマナー・モラルを向上させてほしい	1
ゴミの個別収集をしてほしい	1
持ち込みごみの料金を変更し、効率化を図るべき	1
ごみカレンダーが見づらい	1
持ち込みごみを日曜日にも実施してほしい	1
ゴミ収集スタッフが周囲に散らかったゴミも持っていってくれてありがたい	1
省エネルギーを考え自転車環境の整備を	1
他市に先駆けて環境問題に取り組んではどうか	1
気候変動に対する具体的な対策をしてほしい	1
住宅街の溝にピオトープをつくるなど、環境意識を高められるようにしては	1
野鳥が巣を作りやすい環境を整えてほしい	1
起業特区を設けて家賃設定を低くするなど起業の後押しを	1
これ以上の大規模商業施設は不要	1
市内での地産地消を促進してほしい	1
商業施設の営業時間を長くしてほしい	1
商業施設には、他都市からも集客できるよう芦屋らしいイメージづくりが必要	1
閉店したJRの本屋を復活させてほしい	1
クラブハウスがほしい	1
クリーニング店はこれ以上必要ない	1
旧宮塚町住宅の活用を期待している	1
樹木葬を事業化してほしい	1

意見分類	延べ件数
⑦災害に強いまちづくりがすすんでいる	41
防災・景観向上等の観点から無電柱化を進めてほしい	14
防災・減災に力を入れて、災害に強い芦屋に	11
(災害時・訓練時の)緊急放送・防災無線が聞こえない	3
津波対策を強化してほしい	2
浸水対策事業を行ってほしい	2
景観向上目的の無電柱化実施の優先順位を低くすべき	2
土砂災害警戒地域の整備を早急にしてほしい	1
災害・感染時のための施設を整備してほしい	1
災害・感染時のための備品を各施設に設置してほしい	1
民間ボランティアの組織化を	1
芦屋ならではの防災対策を	1
東南海地震による洪水・津波の影響予測情報がほしい	1
あしや防災ネットの公告を公民館の掲示板に貼るべき	1
⑧日常の安全安心が確保されている	52
安全で住みよいまちづくり	9
街灯が少なく、夜間に暗いので明るくしてほしい	6
路上駐車、停車の車を取締ってほしい	6
駅周辺等の違法駐車・駐輪、交通違反の取り締まり、排除	4
防犯設備を増やしてほしい	3
医療機関の整備、連携を充実させてほしい	3
パトロールの強化をしてほしい	2
自動車専用道路を削減してほしい	2
自動車の運転マナーを向上させてほしい	2
市民病院を市内中心部につくってほしい	2
防犯の強化で治安の良いまちづくり	1
防犯のため日中も学校は施錠すべき	1
南芦屋浜の夜間封鎖は不要では	1
警察官の交番駐在時間を長くしてほしい	1
狭隘道路の交通規制を厳しくしてほしい	1
芦屋川駅北側東向い側道の車の往來を制限(速度を含む)してほしい	1
信号機を改善してほしい	1
交通ルール全般の徹底を周知してほしい	1
歩きスマホを禁止する条例を制定してほしい	1
自転車の運転マナーを向上させてほしい	1
免許返納の促進	1
市立芦屋病院に名医を招致してほしい	1
市立芦屋病院の料金改定内容を市報で知らせてほしい	1

意見分類	延べ件数
⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	125
地域間の施設等の配置や整備差の改善	15
植林(花含む)、街路樹育成を含め、緑化を推進してほしい	13
街路樹や下草など適切に剪定、伐採してほしい	11
景観のよいまちを維持・向上してほしい	11
豊かな自然が感じられる住みやすいまちを維持してほしい	8
昔からの落ち着いた雰囲気大切にほしい	8
まち全体(民間含む)のバリアフリーを進めてほしい	7
街角に休憩できる場所(ベンチ・東屋等)を整備してほしい	5
マンション、住宅の老朽化・空き家対策を検討してほしい	5
あまり、近代的に、にぎやかになってほしくない	4
海、山、川、桜の素晴らしい環境を生かしてほしい	3
樹木のある公園や散歩道を増やしてほしい	3
自然が身近にあることが子育てのメリットだと感じる	2
緑が多く落ち着いたまちなみにしてほしい	2
芦屋川に水を流してほしい	2
住宅都市として住みやすいまちにほしい	2
公園を整備してほしい(遊び、コミュニティ機能、トイレ等)	2
公園が整備されている	2
コンパクトシティの推進	2
芦屋川の手入れにはボランティアを使い、いつもきれいな状態にほしい	1
津知公園等は地域の方が管理されていて綺麗ありがたい	1
芦屋川の桜の手入れ、植え替えをしてほしい	1
芦屋川や宮川の維持・水質改善、親水性を高めてほしい	1
緑化事業は後回しでよい	1
害虫対策、剪定費削減のため、公園の植物は減らすべき	1
落ち葉の回収や剪定の対応が早く助かる	1
市有地に雑草が茂っており、適切に管理してほしい	1
景観施策の優先順位が高すぎる	1
まちづくりに関する規制が多いが守られていない	1
デザイン規制により画一的な住宅が増えるのは避けてほしい	1
まちのブランディングを行い、デザインに統一性を感じられるまちにほしい	1
億単位のマンションばかりではなく、一般家庭が住める家をもっとほしいです。	1
工場誘致、パチンコ店は不要	1
広い世代で利用できる施設を存続・活性化させてほしい	1
町に1つ集会所をつかってほしい	1
公共施設や集客施設のトイレを美化・整備してほしい	1
独居高齢者が市営住宅に入居できるようにしてほしい	1

意見分類	延べ件数
⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる	131
公共交通機関を充実させてほしい	18
JR芦屋駅南側の開発・整備を早期に進めてほしい	12
歩道を整備して、安全に歩けるようにしてほしい	10
道路を整備(拡幅, 改善, 舗装, 分離帯設置)してほしい	9
駐輪場を拡充・整備・利便性向上に取り組んでほしい	9
駅にエスカレーター・エレベーターを設置してほしい	6
JR芦屋駅南側の再開発による活性化・利便性向上を期待をしている	6
自転車道路の整備してほしい	5
市内南北の動線を改善してほしい	4
駅前に駐車場の整備, サービスの充実してほしい	4
コミュニティバス・マイクロバスを運行してほしい	4
各駅前にロータリー, 車の乗降場を整備してほしい	3
駅前は玄関口として, 美しく, 安全に整備してほしい	3
阪急芦屋川駅周辺を整備・再開発してほしい	3
インフラの整備・維持に重点をおいてほしい	2
パイプラインが継続できるようにしてほしい	2
JR芦屋駅南側の再開発は芦屋の玄関口にふさわしいものに	2
JR芦屋駅南側の開発は, 子育て世代・働く世代に有用な北側と異なる内容に	2
JR芦屋駅南側の開発に反対	2
JR芦屋駅東口をつくるべき	2
阪神打出駅付近の渋滞の改善してほしい	2
宮川大橋の南の橋を拡幅してほしい	1
道路上の白線や点線が消えかかり車線指示や停止線などがわかりにくい	1
下水管のメンテナンスを定期的に行ってほしい	1
JR芦屋駅周辺開発にはお金をかけて意匠をカッコよくしてほしい	1
駅周辺開発などまちづくり情報を定期的に提供してほしい	1
JR芦屋駅南側の再開発では, 受益が偏らないよう留意を	1
JR芦屋駅南開発で建設される施設は, 親しみのある美しい日本語の名前に	1
再開発中のJR芦屋駅南口に安全なタクシー乗り場を設置してほしい	1
JR芦屋駅南開発には, 芦屋ブランディングの発信拠点となるような施策を	1
老朽化した各鉄道駅を再整備してほしい	1
阪神の駅周辺を活性化してほしい	1
駅を長くして, 土日も快速急行が止まるようにしてほしい	1
阪神芦屋駅に特急・快速が止まらないようになるのは困る	1
鳴尾御影線・山手幹線を有効的に活用した事業計画を	1
踏切の問題を解決してほしい	1
大型バス用の駐車場を整備してほしい	1
自転車専用道を歩行者, サイクリストに認識させるべき	1
老朽化した公共施設(橋, 公園等)の補修してほしい	1
タクシー代の補助制度がほしい	1
自動運転の車を導入してほしい	1
大阪・神戸への交通利便性が高い	1

意見分類	延べ件数
⑪協働の意欲が高まり地域主体のまちづくりが進んでいる	50
市民の意見を聞いてまちづくりを進めてほしい	6
横のつながりがある、助け合いの気持ちがあるまちに	5
よりよいまちづくりのために話し合える場がほしい	4
行政が何をやっているのかあまりよく見えない	4
若い人の意見を積極的に取り入れてほしい	3
市民一人一人の参画が大切	3
まちづくりに関わっていきたい	3
紙配布物の発行部数、カラーページを再検討し、経費を削減すべき	3
高齢者のまちづくりへの参加・活用をすべき	2
芦屋ブランドの価値を利用して住民税を確保するためのマーケティング、情報発信を	2
広報紙の情報をより充実させてほしい	2
行政、住民、教育委員会、学校などとの協働を推進してほしい	1
高齢化により、自治会活動が限界	1
市民一丸となって魅力あるまちづくりを	1
行政と地域が連携できる施策をどれだけ考えられるのか	1
自分でできることは自分でできるように努力する	1
多様な方法で多くの情報発信してほしい	1
広報紙が改良され、楽しみになっている	1
広報紙のデザインを改良し、読みたくなるものにしてほしい	1
市外の人にも芦屋の良いところを積極的に発信してほしい	1
不都合な事態の発生時も隠蔽せずに世間に公表してほしい	1
アンケート実施で市民のまちづくり意識向上につなげる	1
一部の片寄った住民団体の意見ばかりを反映しすぎ	1
市役所職員が地域の会合に参加して地域課題を知り、市政に取り入れてほしい	1
⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	68
税、保険料、公共料金が高すぎる。軽減を	10
無駄な公共工事・政策がないようにしてほしい	9
市議会議員の削減、給料の減額をしてほしい	9
職員数の削減、職員の給料の減額で人件費を調整	8
高い納税額に対するメリットを感じたことがない	5
公共施設の統廃合には利用状況と市民の意見を反映させてほしい	4
偏りなく誰もが満足できる施策を策定してほしい	2
税金を稼ぐまちづくりを考えてほしい	2
公共施設の利用料金が低い	2
経費を含め、負担はやむを得ない	2
公共施設の削減・統廃合に反対	2
市民が有用と考える費用負担を	1
厳しい財政状況が予想される中、早急に大胆な改革が必要	1
2人組で市内のごみを拾う仕事への人件費は不要	1
まちづくりに対して、有識者だけでなく、市民活動家の意見を取り入れるべき	1
ごみ処理や水道など独自施策を考えなくて良いものは効率化を	1
施策目標を達成するための具体的なプログラムを十分に練ってほしい	1
観光地として集客できるようにし、税収増を目指す	1
手続きの簡素化、税控除制度の改変により、寄付や遺贈をしやすくしては	1
市も企業経営手法を取り入れるべき	1
特定の人が利益を得るハードインフラに個人負担を求め、持続可能な収支とすべき	1
市営住宅の必要以上の外構が無駄遣いを感じる	1
老朽化した複合施設を建て替えてほしい	1
公共施設の統廃合で質を高めてほしい	1

意見分類	延べ件数
⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている	21
IoT, ICT化を進めてほしい	6
民間委託を増やし, 必要不可欠な業務のみ行政が担うべき	3
政策実現にスピード感を持たせてほしい	3
手続きの待ち時間が短い, 対応が丁寧	3
今後も柔軟性のある行政を進めてほしい	1
市民サービスを低下させないよう民間委託先の業者を選定してもらいたい	1
効率的な業務推進を	1
苦情を言う住民に対し, できないことはできないと回答してほしい	1
的確な回答を得られないことが多い	1
未婚職員が子どもの施設で勤務し, 将来の自分の子育てに役立ててはどうか	1
その他	42
アンケートについて	17
市長, 市議会, 市議会議員, 選挙について	6
感謝の言葉	4
わからない	4
各施設への要望	4
総合計画について	2
今後に期待する	1
特になし	1
5Gの導入について	1
現状報告	1
健康被害が懸念されているため, 5Gの導入をしないでほしい	1

参考資料

アンケート調査票

芦屋のまちづくりについての市民意識調査

【アンケートご協力をお願い】

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
令和3年度からの10年間のまちづくりの指針となる総合計画の策定に向け、現在の本市の状況や課題等の把握のため、「市民意識調査」を実施いたします。
本調査は、市内にお住まいの18歳以上の中から無作為抽出した3,000人の方を対象としております。ご回答内容は、個人が特定されないよう統計的に処理し、今後の市政運営の基礎資料とするほか、ホームページなどで公表し活用します。
お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいませうようお願いいたします。

令和2年(2020年)3月

芦屋市

【ご回答にあたってのお願い】

◆次の2つの方法からどちらか1つを選んでいただき、**3月31日(火)**までに回答してください。

- 1 アンケート用紙(この冊子)に直接記入し、郵送により回答
- 2 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

1 アンケート用紙(この冊子)で回答

- (1) 封筒の宛名の方がご回答ください。(できるだけご本人がお答えください。ご本人が記入しにくい場合は同居のご家族や介助者の方の代筆をお願いします。)
- (2) 黒のボールペン又は濃い鉛筆でご記入ください。
- (3) お答えは、「1つだけ」「3つ以内」「すべて」などの表記に従って、該当する番号に○印を付けてください。(一部、記述をお願いする設問もあります。)
- (4) ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストにご投函ください。

2 インターネットで回答

- (1) 別紙「インターネットでご回答される方へ」をご覧ください、ご回答ください。

◆この調査資料の利用に当たっては、芦屋市個人情報保護条例の規定に基づき適正に行ないます。

◆この調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

芦屋市 企画部 政策推進課 TEL 0797-38-2127/FAX 0797-31-4841

これは芦屋のまちづくりについてのアンケート調査票です。

ふりがな付きのアンケート調査票が必要な方は、ご連絡ください。

芦屋市 企画部 政策推進課 e-mail:seisakusuisin@city.ashiya.lg.jp

Survey on the Community Development in Ashiya City

If you need a Japanese with *furigana* version of the questionnaire, please contact the office below:

Ashiya City Planning Department The Policy Promotion Section

I. あなた(回答者)ご自身についておたずねします。

- ◆1 あなたの年齢は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

- ◆2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 左記に当てはまらない
-------	-------	---------------

- ◆3 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。校区番号1～10から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

校区番号	町名
1. 奥池地区	奥池町, 奥池南町
2. 山手小学校区 (奥池地区除く)	奥山, 山手町, 山芦屋町, 東芦屋町, 西山町, 三条町, 大原町, 船戸町, 松ノ内町, 月若町, 西芦屋町, 三条南町, 上宮川町, 業平町, 前田町, 清水町
3. 岩園小学校区	六麓荘町, 岩園町, 翠ヶ丘町, 親王塚町, 楠町
4. 朝日ヶ丘小学校区	朝日ヶ丘町, 東山町
5. 精道小学校区	茶屋之町, 大樹町, 公光町, 川西町, 津知町, 竹園町, 精道町, 浜芦屋町, 平田北町, 伊勢町, 松浜町, 平田町
6. 宮川小学校区	打出小槌町, 宮塚町, 若宮町, 宮川町, 浜町, 西藏町, 呉川町
7. 打出浜小学校	春日町, 打出町, 南宮町, 大東町
8. 浜風小学校区	新浜町, 浜風町, 高浜町
9. 潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く)	若葉町, 緑町, 潮見町
10. 南芦屋浜地区	陽光町, 海洋町, 南浜町, 涼風町

II. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

- 問1 次ページの表に示す13の項目は、第5次芦屋市総合計画(令和3年度～令和12年度)の基本構想に掲げる施策の目標です。13項目それぞれについて、芦屋市の現状をどのように感じていますか。①～⑬の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1～5から1つずつ選び、数字に○をつけてください。 ※直感的に選択してください。

施策の目標 (13項目)	芦屋市の現状についての考え				
	満 足	やや 満足	やや 不満	不 満	わ か ら な い
① 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している 【イメージ】家庭環境に応じて子育てできる施設・制度が整備されており、安心して子育てできる。	1	2	3	4	5
② 未来への道を切り拓く力が育っている 【イメージ】時代に応じた質の高い教育を平等に受けることができ、子どもや若者が心身ともに健全に育ち、社会で活躍できる環境が整っている。	1	2	3	4	5
③ 生涯を通じた学びの文化が醸成されている 【イメージ】歴史や芸術・スポーツなど、市民による活動や学びの機会・場が身近にあり、文化的資源が継承され、まちへの愛着の醸成や生活の質の向上に活用されている。	1	2	3	4	5
④ あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる 【イメージ】お互いに多様性を認め助け合うことで、高齢者や障がいを持つ方なども含め誰もが暮らしやすい地域になっている。	1	2	3	4	5
⑤ 健康になるまちづくりが進んでいる 【イメージ】市民が気軽に健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも自分らしく生き生きと過ごすことができる。	1	2	3	4	5
⑥ 良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている 【イメージ】日々を快適に過ごすことができ、芦屋市での暮らしに価値を感じる。	1	2	3	4	5
⑦ 災害に強いまちづくりが進んでいる 【イメージ】まちの防災機能が充実しており、災害発生時には地域で協力し合える。	1	2	3	4	5
⑧ 日常の安全安心が確保されている 【イメージ】犯罪や交通事故が起りにくいまちになっている。また、必要な時に適切な医療を受けられる。	1	2	3	4	5
⑨ 住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている 【イメージ】美しい緑と良好なまちなみの景観が保たれ、公園や公共施設などの公共空間が活用されている。	1	2	3	4	5
⑩ 持続可能なインフラ整備が進んでいる 【イメージ】道路や橋・上下水道・ごみ処理施設など生活に欠かせない施設・設備が整備されている。	1	2	3	4	5
⑪ 協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる 【イメージ】市民が自分のまちに関わりたいと思い、地域主体での課題解決に向けた取り組みが行われている。	1	2	3	4	5
⑫ 人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている 【イメージ】今後、厳しい財政運営が予測される中で、長期的な視点に立った経営が行われている。	1	2	3	4	5
⑬ 急速な社会変化に対応できる組織になっている 【イメージ】職員が専門的な知識を持ち、地域や団体等とともにまちづくりを行う信頼できる組織になっている。	1	2	3	4	5

問2 問1にある13の施策目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後特に力を入れて取り組むべきと思われる番号を問1の表の中から3つ以内で選んで、下記に数字をご記入ください。また、理由やご意見をお聞かせください。

力を入れるべき施策目標 (①~⑬の番号を記入)	選ばれた理由やご意見 (困っていること、今後期待されること、施策に対するアイデアなど)

問3 芦屋市の市政の現状をどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。 ※直感的に選択してください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. とてもうまくいっている | 2. まあうまくいっている |
| 3. あまりうまくいっていない | 4. うまくいっていない |

Ⅲ. お住まいの地域での生活や住みやすさについておたずねします。

問4 あなたは、(転勤等による転出予定の有無に関わらず)芦屋市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の他の場所で住み続けたい |
| 3. いずれ市外に引っ越したい | 4. その他 |

問5 あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---------------|------------|
| 1. よく参加している | 2. とくとき参加している | 3. 参加していない |
|-------------|---------------|------------|

問6 あなたは、日常的に近所の子ともと接する機会がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 一緒に地域活動等をすることがある | 2. 会話をすることがある |
| 3. あいさつをすることがある | 4. 全くない |

問7 あなたは、家族や親族以外で、日々の生活の中で困りごとが発生したときに相談できる人(友人、知人、民生委員等)や場所が身近にありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問8 あなたは、お住まいの地域のまちなみやまちなかの緑の景観について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 良い 2. どちらかといえば良い 3. どちらかといえば悪い 4. 悪い

問9 あなたは、まちなかの緑を守り・育てる活動にどれくらいの頻度で参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 月1回以上 2. 年数回程度 3. 年1回程度 4. 年1回未満 5. 参加していない

問10 あなたは、市内の公園をどれくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 月1回以上 2. 年数回程度 3. 年1回程度 4. 年1回未満 5. 利用していない

問11 地震や津波、大雨、暴風など、自然災害の発生に対する日頃からの備えについてお聞きします。次の中から、できていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

1. 芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある
2. あしや防災ネットに登録している
3. 芦屋市の防災SNSをフォローしている
4. 緊急告知ラジオを所持している
5. 家具の転倒防止対策をしている
6. 家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている（知っている）
7. 災害時の持ち出し袋を用意している
8. 3日以上以上の食料備蓄をしている
9. 自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している
10. 避難行動を始めるきっかけを決めている
11. 地域の防災訓練に参加している

問12 地球温暖化防止に向けた取り組みについてお聞きします。次の中から、できていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

1. 買い物には、マイバッグを持っていく
2. 冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする
3. 不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなどの節電
4. 省エネ製品を選んで買う
5. 自動車の利用を控え、公共交通機関を利用する

問13 あなたは、徒歩、自転車、自家用車、公共交通などの手段に関わらず、市内の移動について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 便利 2. どちらかといえば便利 3. どちらかといえば不便 4. 不便

問 14 あなたは、家事や育児など夫婦間での分担についてどのようにお考えですか。<A理想>と<B現実>それぞれについて、①～③の項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んで、数字に○をつけてください。

<A理想> 全員がお答えください。

	理 想			
	主に自分	同程度・適宜分担	主に配偶者	わからない
① 生活費の負担	1	2	3	4
② 家事	1	2	3	4
③ 育児・子育て	1	2	3	4

<B現実> 配偶者のいる方（事実婚を含む）がお答えください。
また、③は該当する方のみお答えください。

	現 実			
	主に自分	同程度・適宜分担	主に配偶者	わからない
① 生活費の負担	1	2	3	4
② 家事	1	2	3	4
③ 育児・子育て	1	2	3	4

問 15 あなたは、市役所への届け出などの手続きについてどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 利用しやすい | 2. どちらかといえば利用しやすい |
| 3. どちらかといえば利用しにくい | 4. 利用しにくい |
| 5. わからない | |

IV. 健康づくりについておたずねします。

問 16 あなたは、ウォーキングやジョギング、スポーツ教室での活動など、運動の習慣がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1回以上 | 3. 月1回以上 |
| 4. 月1回未満 | 5. 運動習慣がない | |

問 17 あなたは、ご自身の体の状況を把握するために、健康診査・健康診断をどれくらいの頻度で受けていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------------|------------|-----------|
| 1. 年1回以上 | 2. 2年に1回程度 | 3. 2年に1回未満 | 4. 受けていない |
|----------|------------|------------|-----------|

問 18 適正体重 (BMI 値 18.5~25) の維持についてお聞きします。あなたの身長及び体重をお答えください。

身長 () cm 体重 () kg

※BMI 値 = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

V. 文化的なふれあいや学びについておたずねします。

問 19 あなたは、次の文化的資源をご存知ですか。また、利用・見学したことはありますか。①~⑥の各項目について、1~3から1つずつ選んで、数字に○をつけてください。

	現 状		
	知っていて、 利用・見学し たことがある	知っているが、 利用・見学した ことはない	知らない
① 会下山遺跡 【国指定史跡・三条町】	1	2	3
② 旧山邑家住宅 (ヨドコウ迎賓館) 【国指定重要文化財・山手町】	1	2	3
③ 芦屋仏教会館 【国登録有形文化財・前田町】	1	2	3
④ 旧芦屋郵便局電話事務室 (芦屋モノリス) 【国登録有形文化財・大榎町】	1	2	3
⑤ 旧松山家住宅松濤館 (芦屋市立図書館打出分室) 【国登録有形文化財・打出小穂町】	1	2	3
⑥ 旧芦屋市宮宮塚町住宅 【宮塚町】	1	2	3

問 20 あなたは、映画・音楽・美術・読書・スポーツ等の文化に触れる体験のため、どれくらいの頻度で外出していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 月1回以上 2. 年数回程度 3. 年1回程度 4. 年1回未満 5. 外出していない

問 21 あなたは、知識・技術の習得など、自分の学びのため、学習会・セミナーへの参加などの機会がどれくらいの頻度でありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 月1回以上 2. 年数回程度 3. 年1回程度 4. 年1回未満 5. 参加していない

VI. これからの公共施設等についておたずねします。

本市では、公共施設等の老朽化対策が大きな課題であり、維持管理や更新に大きな財政負担が予想されています。人口減少社会においても持続可能な行政サービスを提供するために、公共施設等の効率的な維持管理を行うと同時に、市民の皆さまと合意に努めながら統廃合等による施設の最適配置を進める考えです。

問 22 あなたはどの程度、芦屋市の公共施設を利用していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 半年に数回 5. 年に数回 6. 利用しない

問 23 今後、存続する公共施設について、維持・管理に必要な費用は、利用者の負担を更に高めるべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対 5. 反対

問 24 統廃合や機能の複合化・多機能化による公共施設の削減についてお考えをお聞きます。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 削減を積極的に進めるべきである 2. 削減はやむを得ない
3. 現在の量を維持すべきである 4. わからない

問 25 統廃合による公共施設の最適配置を進めるにあたり、どのような手法が適切だと思いますか。次の中からすべて選んで、数字に○をつけてください。

1. 削減率を設定し、公共施設の絶対量を減らす
2. 地域に密着した施設は、地域団体等が保有し維持管理を行う
3. 庁舎、学校等の大型施設を活用し複合化・多機能化を図ることで、施設数を減らす
4. 行政による施設の保有にこだわらず民間活力を積極的に導入し、公共サービスの提供を行う
5. その他（具体的に)

VII. まちづくり全般についておたずねします。

問 26 今後の芦屋市のまちづくり全般について、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、3月31日（火）までにポストにご投函ください。
(切手は不要です。また、お名前・ご住所を返信用封筒にご記入いただく必要はありません。)